資料2

高齢者要望等実態調査

概要報告書

（平成25年度実施）

佐賀中部広域連合

【第6期】第1回策定委員会資料

〈目　次〉

Ⅰ　調査の概要

1　調査目的……1
2　調査概要……1
3　回収結果……1
4　調査対象……2
5　調査の方法等……3
6　地域包括支援センターごとの回収状況……4

Ⅱ　回答者の基本属性

1　性別・年齢構成……6
2　認定状況……6
3　住宅の状況……6
4　世帯の構成……6

Ⅲ　調査結果の概要

1　機能……7
2　日常生活……8
3　健康・疾病……9

Ⅳ　評価項目別の結果

1　機能……10
(1) 運動器……10
(2) 閉じこもり予防……12
(3) 転倒……14
(4) 栄養……16
(5) 口腔……18
(6) 認知……20
(7) うつ予防……24
(8) 二次予防対象者①……26
(9) 二次予防対象者②……28
2　日常生活……30
(1) 手段的自立度(IADL)……30
(2) 生活機能総合評価……32
(3) 日常生活動作(ADL)……34

3　社会参加……36
(1) 知的能動性……36
(2) 社会的役割……38

Ⅴ　健康・疾病

1　疾病……40
(1) 高血圧……40
(2) 脳卒中……42
(3) 心臓病……44
(4) 糖尿病……46
(5) 筋骨格系疾患……48
(6) がん……50
2　自分の健康感……52

Ⅵ　介護

1　介護・介助状態になった原因……54
(1) 脳卒中……54
(2) 認知症……56
(3) 骨折等……58
2　介護の状況……60
(1) 介護の必要性……60
(2) 介護者（主にどなたの介護・介助をうけているか）……62
(3) 利用している在宅サービス……64
(4) 介護・介助をする上で困っていること【要支援者・要介護者のみ】……66
(5) もっと介護のサービスを利用したいが、できない状況【要支援者・要介護者のみ】……68

Ⅶ　普段の生活

1　自分だけの力で普段の生活が難しくなった場合の住まい……70
2　将来の生活を安心して営む時に必要な支援……72
3　現在お住まいの住居で使いにくいところ……74
4　日用品の買い物をしたいときほしい援助……76
5　通院したいときほしい援助……78

Ⅷ　介護予防【一般高齢者・二次予防対象者のみ】

1　生きがいがある生活を送るために必要な気持ち……80
2　生きがいがある生活を送るために、参加したいもの……82
3　参加するために必要なところ……84

Ⅸ　災害時の対応【要支援者・要介護者のみ】

1　火災等が起きた場合の避難の仕方……86
2　台風が近づいた場合の対応……88
3　台風などの災害で避難が必要な場合の場所……90
4　台風などの災害で避難が必要な場合の避難の仕方……92

Ⅹ　資　料　編

○用語説明……94
○資料説明……95

Ⅰ　調査の概要

１　調査目的

介護保険事業運営の基本計画となる「介護保険事業計画」は、介護保険法により３年ごとに見直すこととされており、また、市町村高齢者福祉施策の基本計画である「高齢者福祉計画」についても、介護保険事業計画との整合性を図る必要があることから、同時期に見直すこととなっている。この調査は、日常生活圏域（地域包括支援センター）における高齢者の地域生活の課題を探り、それらの課題を踏まえた次期計画を策定することが求められている。課題の抽出調査及びデータの分析手法等については、国のモデル事業による調査結果を基本にして、第６期介護保険事業計画（平成27年度～29年度）の適切な作成に向けた指針に係る基礎情報を得ることを目的として、佐賀中部広域連合下において統一内容で実施した。

２　調査概要

(1) 調査地域

佐賀中部広域連合を構成する、佐賀市、多久市、小城市、神埼市、吉野ヶ里町の４市１町
※なお、この調査は佐賀県介護保険制度推進協議会を構成する、佐賀中部広域連合、鳥栖地区広域市町村圏組合、杵藤地区広域市町村圏組合、唐津市、伊万里市、玄海町、有田町の７保険者の20市町で、同じ調査票（高齢者要望等実態調査）を使っておこなった。

(2) 調査対象者　　**65歳以上の高齢者（要支援・要介護認定者を含む。）**

(3) 調査票配布数　　**15,132人（佐賀中部広域連合を構成する4市1町）**

(4) 調査の内容

①家族・生活状況　　②運動・閉じこもり
③転倒　　④口腔・栄養
⑤認知機能　　⑥日常生活
⑦社会参加　　⑧健康　　⑨介護

(5) 調査方法

一般高齢者は郵送による配布・回収、在宅要支援者は地域包括支援センター（おたっしゃ本舗）職員、在宅要介護者は介護支援専門員、施設入所者は施設の職員が訪問調査を実施。

(6) 調査基準日　　**平成25年10月1日**（調査期間　平成25年10月1日～平成25年11月30日）

３　回収結果

(1) 調査票配布数　　**15,132人（佐賀中部広域連合を構成する4市1町）**

(2) 有効回答数　　**9,978人**

(3) 有効回答率　　**65.9%（配布数に対する有効回答数の割合）**

４　調査対象

（住民登録・介護認定抽出の基準日：平成２５年８月３０日）

対象者区分		抽　出　条　件
A	在宅要支援高齢者 サービス利用者 要支援１or２	第１号被保険者資格有り（住所地特例者を除く。） 認定満了日 H25.9.30 以降（区分変更申請中を除く。） 平成 25 年 4～6 月に施設・居住サービスなし 平成 25 年 6 月に居宅サービス利用あり
B	在宅要介護高齢者 サービス利用者 要介護１～５	第１号被保険者資格有り（住所地特例者を除く。） 認定満了日 H25.9.30 以降（区分変更申請中を除く。） 平成 25 年 4～6 月に施設・居住サービスなし 平成 25 年 6 月に居宅サービス利用あり
C	施設入所高齢者 要支援１or２ 要介護１～５	第１号被保険者資格有り（住所地特例者を除く。） 認定満了日 H25.9.30 以降（区分変更申請中を除く。） 平成 25 年 4～6 月に施設・居住サービスあり 平成 25 年 4～6 月に居宅サービスなし （施設：介護３施設、認知症グループホーム、特定施設）
Ｄ１	在宅要支援高齢者 サービス未利用者 要支援１or２	第１号被保険者資格有り（住所地特例者を除く。） 認定開始日 H25.6.30 以前 認定満了日 H25.9.30 以降（区分変更申請中を除く。） 給付実績・償還払いが過去１年以内に全くない
Ｄ２	在宅要介護高齢者 サービス未利用者 要介護１～５	第１号被保険者資格有り（住所地特例者を除く。） 認定開始日 H25.6.30 以前 認定満了日 H25.9.30 以降（区分変更申請中を除く。） 給付実績・償還払いが過去１年以内に全くない
E	一般高齢者	第１号被保険者資格有り（住所地特例者を除く。） 特定高齢者の区分なし 過去に一度も認定無し

５　調査の方法等

（ケアマネ登録事業者抽出の基準日：平成２５年８月３０日））

対象者区分		抽出率	調　査　方　法
A	在宅要支援高齢者 サービス利用者 要支援１or２	50%	佐賀中部広域連合にケアマネ登録している事業者による訪問調査（地域包括支援センターが委託している場合は、委託先事業者） （地域密着型小規模多機能事業者が平成 25 年８月 30 日で登録がある場合は、当該小規模多機能事業者）
B	在宅要介護高齢者 サービス利用者 要介護１～５	50%	広域連合にケアマネ登録している事業者による訪問調査 （地域密着型小規模多機能事業者が平成 25 年８月 30 日で登録がある場合は、当該小規模多機能事業者）
C	施設入所高齢者 要支援１or２ 要介護１～５	50%	平成 25 年 10 月の給付実績がある居住系サービス事業者（介護３施設、認知症ＧＨ、特定施設）による訪問調査
Ｄ１	在宅要支援高齢者 サービス未利用者 要支援１or２	100%	郵便による送付・回収
Ｄ２	在宅要介護高齢者 サービス未利用者 要介護１～５	100%	
E	一般高齢者	12%	

６　地域包括支援センターの圏域ごとの回収状況

	調査種別	配布数	介護サービス未利用者（左記の内訳）	回収数	回収率	有効回答数	有効回答率
佐賀中部広域連合全体	一般高齢者	8,043		4,638	57.7%	4,625	57.5%
	在宅要支援高齢者	2,464	1,149	1,925	53.3%	1,812	73.5%
	在宅要介護高齢者	3,175	725	2,690	69.0%	2,332	73.4%
	施設入所高齢者	1,450		1,441	99.4%	1,208	83.3%
	合計	15,132		10,694	70.7%	9,977	65.9%
おたっしゃ本舗　佐賀（佐賀市地域包括支援センター）	一般高齢者	385		239	62.1%	239	62.1%
	在宅要支援高齢者	122	59	98	54.1%	98	80.3%
	在宅要介護高齢者	153	36	126	66.7%	109	71.2%
	施設入所高齢者	69		67	97.1%	59	85.5%
	合計	729		530	72.7%	505	69.3%
おたっしゃ本舗　城南（佐賀市城南地域包括支援センター）	一般高齢者	490		276	56.3%	276	56.3%
	在宅要支援高齢者	154	73	118	52.0%	117	76.0%
	在宅要介護高齢者	206	57	162	61.6%	141	68.4%
	施設入所高齢者	88		85	96.6%	72	81.8%
	合計	938		641	68.3%	606	64.6%
おたっしゃ本舗　昭栄（佐賀市昭栄地域包括支援センター）	一般高齢者	541		327	60.4%	327	60.4%
	在宅要支援高齢者	175	87	141	53.8%	134	76.6%
	在宅要介護高齢者	214	50	169	64.0%	151	70.6%
	施設入所高齢者	97		96	99.0%	79	81.4%
	合計	1,027		733	71.4%	691	67.3%
おたっしゃ本舗　城東（佐賀市城東地域包括支援センター）	一般高齢者	535		314	58.7%	313	58.5%
	在宅要支援高齢者	159	72	124	53.7%	118	74.2%
	在宅要介護高齢者	216	53	166	61.7%	148	68.5%
	施設入所高齢者	96		95	99.0%	86	89.6%
	合計	1,006		699	69.5%	665	66.1%
おたっしゃ本舗　城西（佐賀市城西地域包括支援センター）	一般高齢者	405		246	60.7%	244	60.2%
	在宅要支援高齢者	134	68	108	53.5%	106	79.1%
	在宅要介護高齢者	165	42	112	54.1%	102	61.8%
	施設入所高齢者	73		73	100.0%	57	78.1%
	合計	777		539	69.4%	509	65.5%
おたっしゃ本舗　城北（佐賀市城北地域包括支援センター）	一般高齢者	516		297	57.6%	297	57.6%
	在宅要支援高齢者	159	74	115	49.4%	109	68.6%
	在宅要介護高齢者	199	42	155	64.3%	132	66.3%
	施設入所高齢者	93		92	98.9%	79	84.9%
	合計	967		659	68.1%	617	63.8%
おたっしゃ本舗　金泉（佐賀市金泉地域包括支援センター）	一般高齢者	241		134	55.6%	134	55.6%
	在宅要支援高齢者	65	26	54	59.3%	49	75.4%
	在宅要介護高齢者	91	17	80	74.1%	67	73.6%
	施設入所高齢者	44		38	86.4%	32	72.7%
	合計	441		306	69.4%	282	63.9%
おたっしゃ本舗　鍋島（佐賀市鍋島地域包括支援センター）	一般高齢者	375		218	58.1%	216	57.6%
	在宅要支援高齢者	112	52	88	53.7%	84	75.0%
	在宅要介護高齢者	139	25	113	68.9%	106	76.3%
	施設入所高齢者	68		65	95.6%	55	80.9%
	合計	694		484	69.7%	461	66.4%
おたっしゃ本舗　諸富・蓮池（佐賀市諸富・蓮池地域包括支援センター）	一般高齢者	347		196	56.5%	195	56.2%
	在宅要支援高齢者	105	48	83	54.2%	79	75.2%
	在宅要介護高齢者	139	33	112	65.1%	99	71.2%
	施設入所高齢者	63		63	100.0%	43	68.3%
	合計	654		454	69.4%	416	63.6%
おたっしゃ本舗　大和（佐賀市大和地域包括支援センター）	一般高齢者	498		295	59.2%	295	59.2%
	在宅要支援高齢者	143	62	112	54.6%	109	76.2%
	在宅要介護高齢者	188	36	149	66.5%	128	68.1%
	施設入所高齢者	90		90	100.0%	78	86.7%
	合計	919		646	70.3%	610	66.4%
おたっしゃ本舗　富士（佐賀市富士地域包括支援センター）	一般高齢者	140		70	50.0%	70	50.0%
	在宅要支援高齢者	42	19	32	52.5%	29	69.0%
	在宅要介護高齢者	54	11	43	66.2%	33	61.1%
	施設入所高齢者	25		25	100.0%	18	72.0%
	合計	261		170	65.1%	150	57.5%

	調査種別	配布数	介護サービス未利用者（左記の内訳）	回収数	回収率	有効回答数	有効回答率
おたっしゃ本舗　三瀬（佐賀市三瀬地域包括支援センター）	一般高齢者	43		27	62.8%	27	62.8%
	在宅要支援高齢者	11	4	7	46.7%	6	54.5%
	在宅要介護高齢者	15	2	6	35.3%	5	33.3%
	施設入所高齢者	8		8	100.0%	8	100.0%
	合計	77		48	62.3%	46	59.7%
おたっしゃ本舗　川副（佐賀市川副地区地域包括支援センター）	一般高齢者	461		248	53.8%	247	53.6%
	在宅要支援高齢者	147	72	110	50.2%	104	70.7%
	在宅要介護高齢者	184	44	142	62.3%	128	69.6%
	施設入所高齢者	83		83	100.0%	70	84.3%
	合計	875		583	66.6%	549	62.7%
おたっしゃ本舗　東与賀（佐賀市東与賀地域包括支援センター）	一般高齢者	173		83	48.0%	83	48.0%
	在宅要支援高齢者	53	25	38	48.7%	36	67.9%
	在宅要介護高齢者	77	24	56	55.4%	47	61.0%
	施設入所高齢者	31		31	100.0%	30	96.8%
	合計	334		208	62.3%	196	58.7%
おたっしゃ本舗　久保田（佐賀市久保田地域包括支援センター）	一般高齢者	176		106	60.2%	105	59.7%
	在宅要支援高齢者	58	29	45	51.7%	38	65.5%
	在宅要介護高齢者	73	19	55	59.8%	41	56.2%
	施設入所高齢者	32		32	100.0%	20	62.5%
	合計	339		238	70.2%	204	60.2%
おたっしゃ本舗　多久（多久市地域包括支援センター）	一般高齢者	570		327	57.4%	327	57.4%
	在宅要支援高齢者	170	77	128	51.8%	122	71.8%
	在宅要介護高齢者	217	43	186	71.5%	158	72.8%
	施設入所高齢者	103		103	100.0%	78	75.7%
	合計	1,060		744	70.2%	685	64.6%
おたっしゃ本舗　小城北（小城市北部地域包括支援センター）	一般高齢者	630		386	61.3%	385	61.1%
	在宅要支援高齢者	200	97	157	52.9%	143	71.5%
	在宅要介護高齢者	243	51	204	69.4%	178	73.3%
	施設入所高齢者	114		113	99.1%	100	87.7%
	合計	1,187		860	72.5%	806	67.9%
おたっしゃ本舗　小城南（小城市南部地域包括支援センター）	一般高齢者	397		231	58.2%	231	58.2%
	在宅要支援高齢者	128	63	95	49.7%	83	64.8%
	在宅要介護高齢者	161	40	115	57.2%	101	62.7%
	施設入所高齢者	72		71	98.6%	65	90.3%
	合計	758		512	67.5%	480	63.3%
おたっしゃ本舗　神埼（神埼市地域包括支援センター）	一般高齢者	445		244	54.8%	244	54.8%
	在宅要支援高齢者	128	55	109	59.6%	98	76.6%
	在宅要介護高齢者	181	46	146	64.3%	128	70.7%
	施設入所高齢者	80		79	98.8%	63	78.8%
	合計	834		578	69.3%	533	63.9%
おたっしゃ本舗　神埼北（神埼市北部地域包括支援センター）	一般高齢者	58		33	56.9%	32	55.2%
	在宅要支援高齢者	18	8	10	38.5%	10	55.6%
	在宅要介護高齢者	22	4	12	46.2%	11	50.0%
	施設入所高齢者	11		11	100.0%	11	100.0%
	合計	109		66	60.6%	64	58.7%
おたっしゃ本舗　神埼南（神埼市南部地域包括支援センター）	一般高齢者	300		174	58.0%	173	57.7%
	在宅要支援高齢者	78	29	64	59.8%	62	79.5%
	在宅要介護高齢者	113	22	100	74.1%	82	72.6%
	施設入所高齢者	54		53	98.1%	45	83.3%
	合計	545		391	71.7%	362	66.4%
おたっしゃ本舗　吉野ヶ里（吉野ヶ里町地域包括支援センター）	一般高齢者	317		167	52.7%	165	52.1%
	在宅要支援高齢者	102	50	75	49.3%	66	64.7%
	在宅要介護高齢者	125	28	87	56.9%	69	55.2%
	施設入所高齢者	57		57	100.0%	54	94.7%
	合計	601		386	64.2%	354	58.9%
地域包括支援センター不明	一般高齢者			0		0	
	在宅要支援高齢者			14		12	
	在宅要介護高齢者			194		168	
	施設入所高齢者			11		6	
	合計			219		186	

※本文中の地域包括支援センターの表現は、おたっしゃ本舗　佐賀　（佐賀市地域包括支援センター）の場合、**佐賀**と表示します。

※地域包括支援センターごとに有効回答数を表示した場合、本文中の有効回答数と合致しません。

Ⅱ　回答者の基本属性

1　性別・年齢構成

（単位：人）

性　別	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	総数
男性	21.1% 714	20.3% 688	18.7% 632	19.4% 658	20.5% 696	100.0% 3,388
女性	13.0% 855	13.2% 869	16.3% 1,072	20.7% 1,366	36.8% 2,428	100.0% 6,590
総　数	15.7% 1,569	15.6% 1,557	17.1% 1,704	20.3% 2,024	31.3% 3,124	100.0% 9,978

2　認定状況

（単位：人）

性　別	非認定者	認定者									無回答	総数
			要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	無回答		
男性	59.1% 2,002	40.1% 1,359	7.5% 254	6.5% 221	9.9% 335	5.6% 191	5.9% 201	2.8% 96	1.8% 61	0.2% 6	0.8% 27	100.0% 3,388
女性	38.9% 2,566	60.4% 3,978	11.7% 774	8.8% 577	14.0% 920	8.6% 564	7.3% 483	5.6% 366	4.5% 294	0.1% 9	0.7% 46	100.0% 6,590
総数	45.8% 4,568	53.5% 5,337	19.2% 1,028	14.9% 798	23.4% 1,255	14.1% 755	12.8% 684	8.6% 462	6.6% 355	0.3% 15	0.7% 73	100.0% 9,978

3　住宅の状況

（単位：人）

性　別	持家	借家･借間	その他	無回答	総数
男性	80.7% 2,734	7.5% 255	9.6% 326	2.2% 73	100.0% 3,388
女性	71.8% 4,733	7.4% 486	18.1% 1,191	2.7% 180	100.0% 6,590
総数	74.8% 7,467	7.4% 741	15.2% 1,517	2.5% 253	100.0% 9,978

4　世帯の構成

（単位：人）

性　別	一人暮らし	配偶者と二人暮らし	配偶者以外と二人暮らし	同居（三人以上）	その他	無回答	総数
男性	9.2% 313	27.8% 941	2.6% 88	34.9% 1,183	9.1% 310	16.3% 553	100.0% 3,388
女性	18.2% 1,200	11.9% 786	7.6% 503	31.7% 2,091	18.5% 1,219	12.0% 791	100.0% 6,590
総数	15.2% 1,513	17.3% 1,727	5.9% 591	32.8% 3,274	15.3% 1,529	13.5% 1,344	100.0% 9,978

Ⅲ　調査結果の概要

※ 今回の分析は、厚生労働省が示した、国モデル事業の分析手法に準拠しています。

１　機能

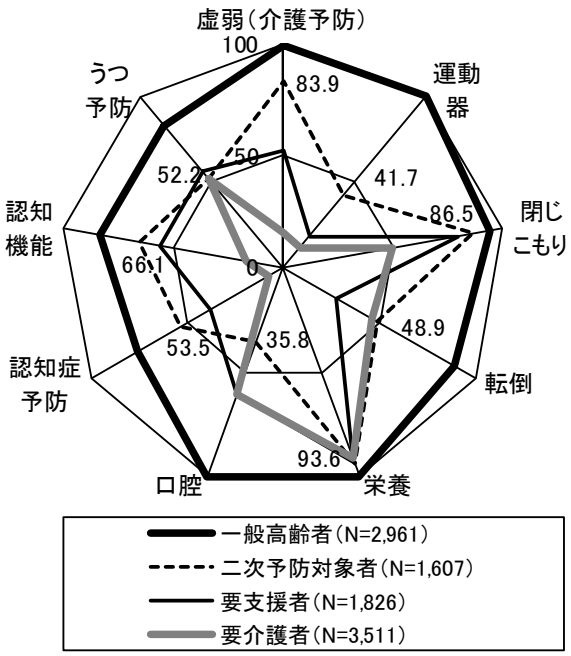
・項目別評価結果

生活機能について、運動器は、一般高齢者と他の二次予防対象者・要支援者・要介護者とで大きくリスクの差が見られる。

栄養や閉じこもり予防については、一般高齢者から要介護者まで、あまりリスクの差は見られない。

また、認知症予防、認知機能、うつ予防については、一般高齢者の中にもリスクがある者が相当数いることがわかる。要介護者では、運動器、認知症予防、認知機能でリスクが高い。

図表　生活機能（非該当・リスクなしの割合）



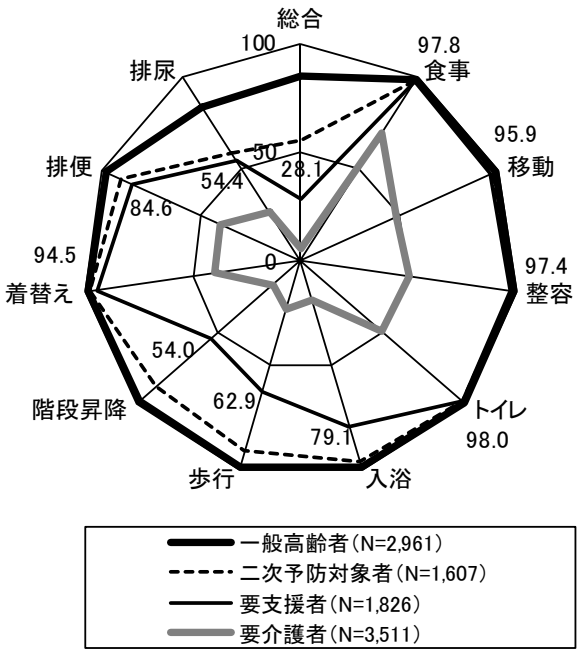
２　日常生活

・日常生活動作

日常生活動作をみると、食事、移動、整容、トイレ、着替えについては、要介護者以外のほとんどの人が自立できているが、要介護者ではかなり低くなっている。特に、階段昇降や入浴、歩行などについては、一般高齢者と要介護者では大きな差が見られる。

なお、評価は日常生活動作（ＡＤＬ）（資料編　用語説明※2、資料説明（注3）参照以下同じ）を用いている。

図表　ADL（自立者の割合）



図表　ADL（自立者の割合）

（単位：%）

	総合	食事	ベッドでの移動	整容	トイレ	入浴	歩行	階段昇降	着替え	排便	排尿
一般高齢者（N=2,961）	84.7	99.2	98.6	99.2	99.1	99.0	98.9	98.1	99.0	97.9	84.3
二次予防対象者（N=1,607）	55.0	98.4	97.0	98.1	98.0	96.1	90.7	87.9	97.5	90.3	59.0
要支援者（N=1,826）	28.1	97.8	95.9	97.4	98.0	79.1	62.9	54.0	94.5	84.6	54.4
要介護者（N=3,511）	5.2	69.6	48.8	50.9	49.9	18.6	23.3	16.8	39.8	40.2	26.2

※総合は、全てに該当する人の割合

３　健康・疾病

（1）現在治療中、または後遺症のある病気

現在治療中、または後遺症のある病気の状況をみると、要介護状態の原因となる脳卒中、心臓病、筋骨格の病気、外傷、認知症では、認定者で割合が高く、非認定者との差が大きい。

脳卒中や認知症などは要介護者で割合が最も高くなっており、筋骨格系の病気は要支援者で割合が最も高い。

要介護のレベルによって、現在治療中、または後遺症のある病気も異なっている。

図表　現在治療中、または後遺症のある病気の状況

（単位：％）

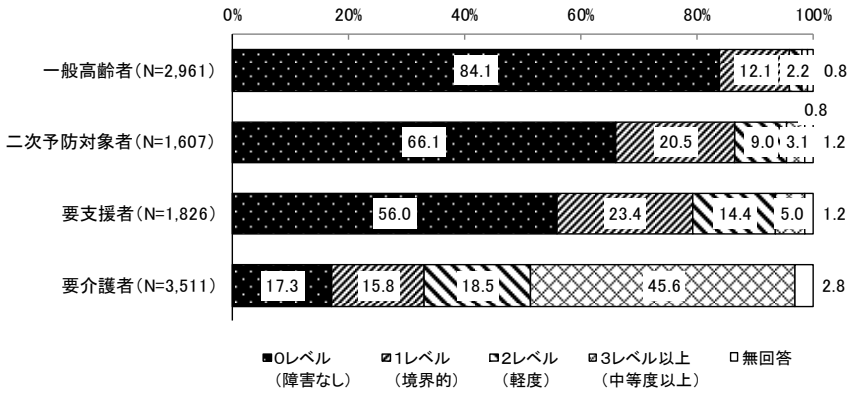
現在治療中、または後遺症のある病気	非認定者		認定者	
	一般高齢者	二次予防対象者	要支援者	要介護者
高血圧	40.5	45.6	48.4	36.8
脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	2.5	4.9	11.6	22.4
心臓病	9.1	13.5	20.2	19.4
糖尿病	10.6	14.1	13.4	12.0
高脂血症（脂質異常）	11.1	11.6	7.9	5.7
呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）	4.2	7.9	7.9	6.6
胃腸・肝臓・胆のうの病気	9.8	15.8	13.5	10.5
腎臓・前立腺の病気	7.6	9.4	6.7	7.3
筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）	9.9	21.5	35.8	15.6
外傷（転倒・骨折等）	1.4	5.5	9.8	8.5
がん（悪性新生物）	3.2	4.9	4.0	3.8
血液・免疫の病気	1.2	2.5	2.0	1.6
うつ病	0.8	1.9	3.0	3.8
認知症（アルツハイマー病等）	0.2	1.2	9.0	36.6
パーキンソン病	0.1	0.5	2.5	3.5
目の病気	20.6	31.7	26.8	12.6
耳の病気	4.2	7.3	6.1	2.8

(2) 認知機能の障害程度

理解力、判断力、計算力といった認知機能に、どの程度の障害が見られるかを判断するための指標であるＣＰＳ（資料編　用語説明※4、資料説明（注4）参照以下同じ）で、認知機能の障害程度区分の分布をみてみると、認知機能の障害あり（１レベル以上）と評価される者の割合が最も高いのは要介護認定者で（79.9％）、次いで要支援認定者（42.8％）、二次予防対象者（32.6％）、一般高齢者（15.1％）の順となっている。

ＣＰＳで認知症の行動・心理症状がみられるのは３レベル以上といわれており、その割合は、要介護認定者で45.6％、要支援認定者5.0％、二次予防対象者3.1％になっている。

図表　認知機能の障害程度別割合（CPS）



Ⅳ　評価項目別の結果

１　機能

(1)運動器

筋肉が衰えていることから、活動が不活発になり、転倒などから寝たきりを招くおそれがあるため、生活機能評価（体や精神の働きのほか、日常生活の動作や家事、家庭の役割のこと）のために用いる基本チェックリスト(資料編　用語説明※1、資料説明(注1)参照以下同じ)の項目等の下記の設問内容を設定し、運動器の機能について評価を行った。

【佐賀中部広域連合の現状】

性別でみると、男性41.8%、女性61.8%で女性の該当者割合が20ポイント高い。認定状況別では、要介護者が86.7%で割合が最も高く、次いで要支援者81.7%、二次予防対象者58.3%となっており、二次予防対象者でも該当者割合が半数を超えている。

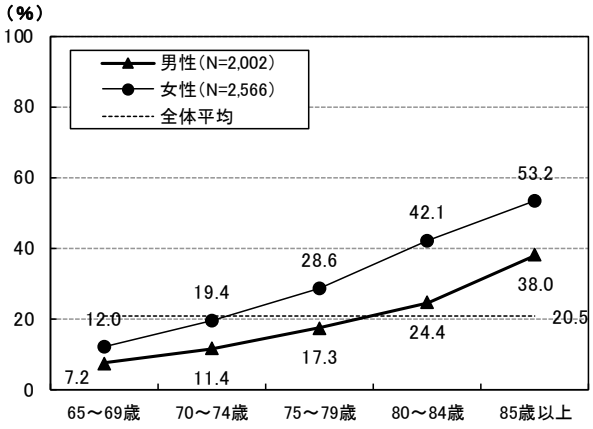
【佐賀中部内の圏域の現状】

圏域別では、多久58.6%、東与賀58.2%、川副57.0%をはじめ、いずれも半数を超えているが、神埼北のみ47.7%と５割を切っている。

【佐賀中部の回答状況】

評価の基礎になった設問に対する回答結果を比較してみると、認定者の該当率が80%を超える設問が２問（問２-Ｑ１・Ｑ２）、非認定者の非該当率が70%を超える設問が３問（問２-Ｑ２・Ｑ３、問３-Ｑ１）となっている。

図表　該当者割合(性･年齢階級別、認定者･不明を除く)



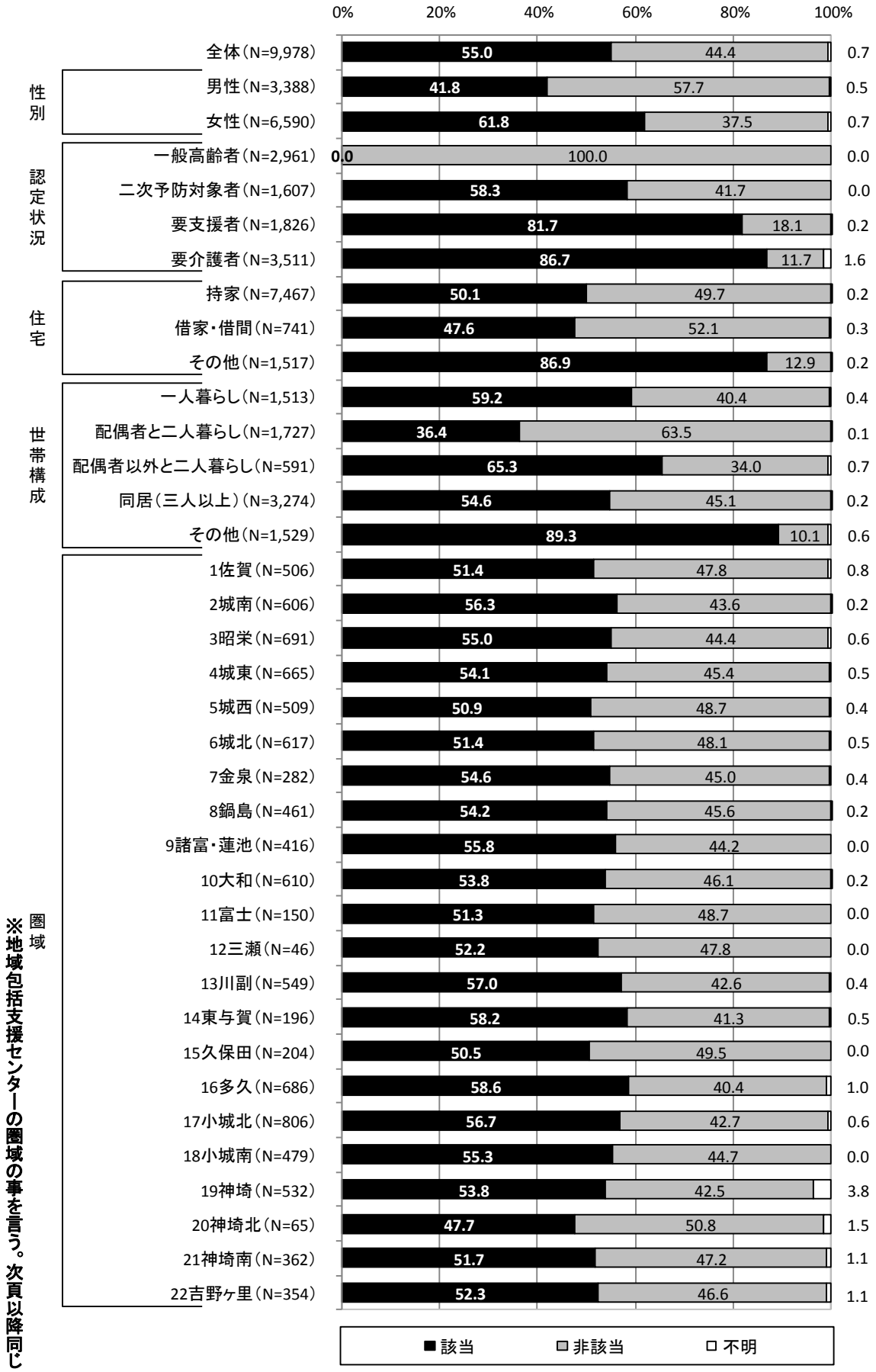
※5問中3つ以上回答が該当者(リスク有り)

（単位：%）

	設問内容(該当する回答)	非認定者(N=4,568)		認定者(N=5,337)		※非認定者の非該当率
		一般高齢者(N=2,961)	二次予防対象者(N=1,607)	要支援者(N=1,826)	要介護者(N=3,511)	
問2－Q1	階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか【いいえ】	37.1		91.1		62.9
		22.2	64.0	88.6	92.4	
問2－Q2	いすに座った状態から何もつかまらずに立ちあがっていますか【いいえ】	18.2		85.8		81.8
		4.0	44.2	81.3	88.1	
問2－Q3	15分位続けて歩いていますか【いいえ】	18.9		76.9		81.1
		8.7	37.3	62.2	84.6	
問3－Q1	この1年間に転んだことがありますか【はい】	22.8		41.4		77.2
		11.6	43.6	44.2	39.9	
問3－Q2	転倒に対する不安は大きいですか【はい】	45.2		79.9		54.8
		27.9	76.4	89.5	74.7	

※無回答は除いて算出している

図表　運動器の評価についてリスクありの該当者・非該当者



(2)閉じこもり予防

買物や散歩、通院等の外出の機会が減ることから、閉じこもりになるおそれがあるために、基本チェックリストの項目により評価を行い、また、他の要素も調査するため、下記の設問内容を設定している。

【佐賀中部広域連合の現状】

性別でみると、男性17.3%、女性25.9%で女性の方が8.6ポイント該当者割合が高い。認定状況別では、要介護者が47.9%で割合が最も高く、次いで要支援者18.5%、二次予防対象者11.9%、一般高齢者2.4%と認定状況に応じた割合となっている。

【佐賀中部内の圏域の現状】

圏域別では、三瀬28.3%、城南27.4%で該当者割合が他圏域よりやや高く、神埼が17.7%で最も低く２割を下回っている。

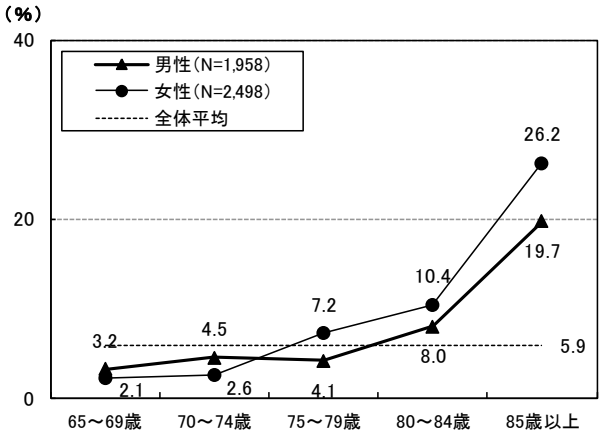
【佐賀中部の回答状況】

認定者を除く全体で5.9%となっており、女性の該当割合が男性より高く、男女ともに年齢が上がるほど該当割合が高くなっている。

評価の基礎になった設問に対する回答結果を非認定者と認定者で比較してみると、認定者の該当率は38.7%、非認定者の非該当率は94.1%となっている。

外出目的別では、買物と散歩で認定者と非認定者の差が大きくなっている一方、病院・医院では差が小さい。

図表　該当者割合（性・年齢階級別、認定者・不明を除く）

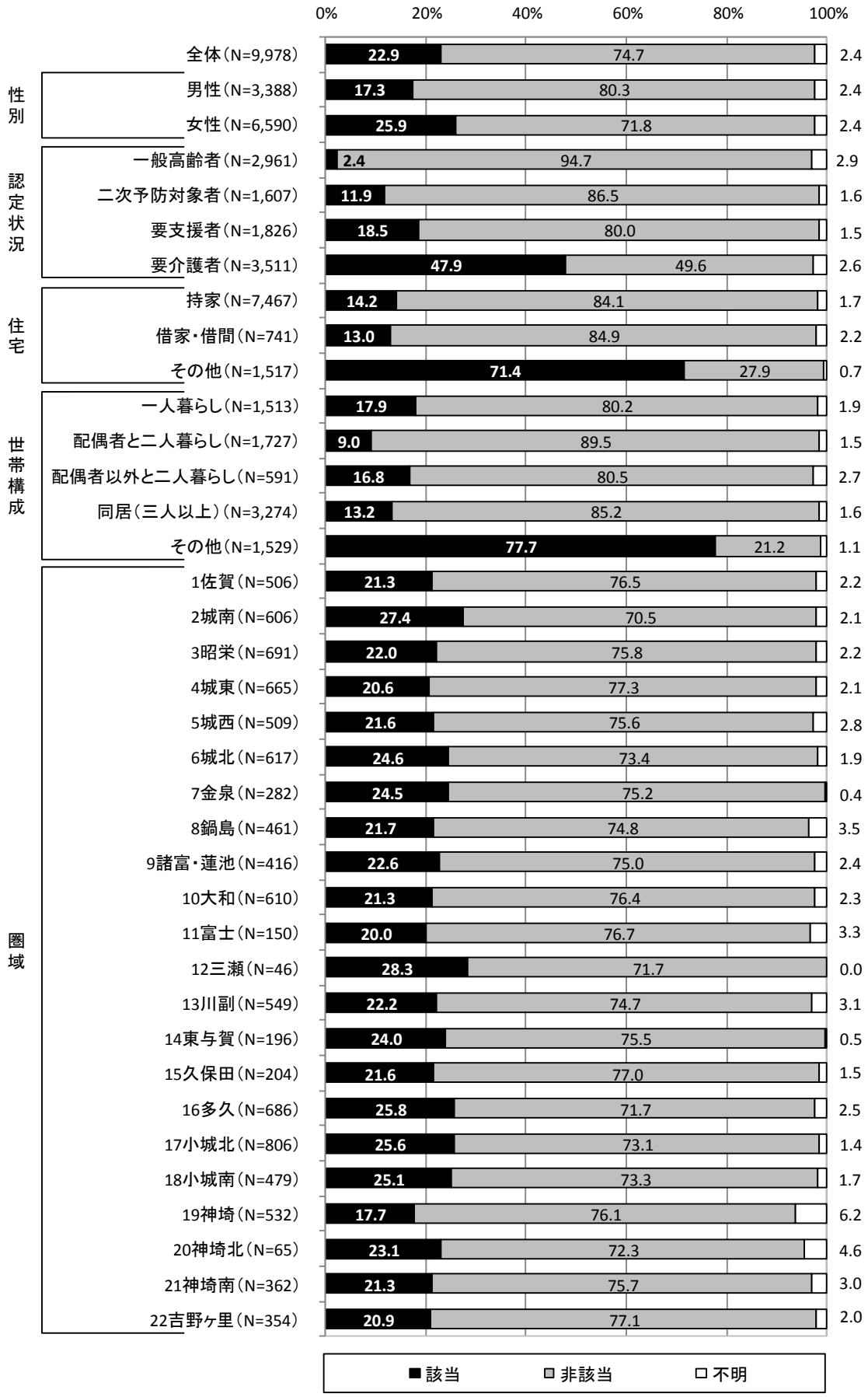


※1問中1つ回答が該当者（リスク有り）

（単位：%）

	設問内容（該当する回答）	非認定者（N=4,568）		認定者（N=5,337）		※非認定者の非該当率
		一般高齢者（N=2,961）	二次予防対象者（N=1,607）	要支援者（N=1,826）	要介護者（N=3,511）	
問2－Q5	週に1回以上は外出していますか	5.9		38.7		94.1
	【いいえ】	2.4	12.1	18.8	49.1	
＜関連設問＞						
問2－Q4	5m以上歩けますか【いいえ】	2.0		33.7		98.0
		0.3	5.1	10.0	46.1	
問2－Q6	昨年と比べて外出の回数が減っていますか【はい】	25.2		45.5		74.8
		14.6	44.6	56.3	39.7	
問2－Q8	買物、散歩で外出する頻度はどのくらいですか A買物の場合【週1日未満】	8.4		75.4		91.6
		5.7	13.6	54.0	87.3	
問2－Q8	買物、散歩で外出する頻度はどのくらいですか B散歩の場合【週1日未満】	20.9		74.5		79.1
		15.7	31.3	58.5	82.7	
問8－Q6－1	現在、病院・医院（診療所、クリニック）に通院していますか。 その頻度は次のどれですか。【週1回以上】	11.1		16.0		88.9
		8.0	16.3	20.4	12.7	

図表　閉じこもりの評価についてリスクありの該当者・非該当者



(3) 転倒

基本チェックリストの項目を利用し運動器の評価分析を行なうことに加え、転倒リスクについても別に評価することになった。内容としては、転倒経験（基本チェックリストと重複）、背中の形状の変化、杖の使用、歩行速度、薬の多剤服用の有無となっている。

評価における各設問に対する配点は下の図表のとおりであり、転倒経験が５点、その他が各２点で、13点満点のスコアとして評価した。

問番号及び設問	配点と選択肢	
問３　Ｑ１．この１年間に転んだことがありますか	5:「1.はい」	0:「2.いいえ」
問３　Ｑ３．背中が丸くなってきましたか	2:「1.はい」	0:「2.いいえ」
問３　Ｑ４．以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか	2:「1.はい」	0:「2.いいえ」
問３　Ｑ５．つえを使っていますか	2:「1.はい」	0:「2.いいえ」
問８　Ｑ５．現在、医師の処方した薬を何種類飲んでいますか	2:「5.5種類以上」	0:1～4種類または「6. 飲んでいない」

※最高リスク得点は１３点で、６点以上でリスクあり

【佐賀中部広域連合の現状】

性別でみると、男性37.5%、女性46.2%で女性の方が8.7ポイント該当者割合が高い。認定状況別では、要支援者が71.9%で割合が最も高く、次いで要介護者52.3%、二次予防対象者51.1%、一般高齢者11.1%となっており、要支援者の該当者割合が高い。

【佐賀中部内の圏域の現状】

圏域別では、富士54.0%で該当者割合が５割を超え最も高く、三瀬は34.8%と最も低い。

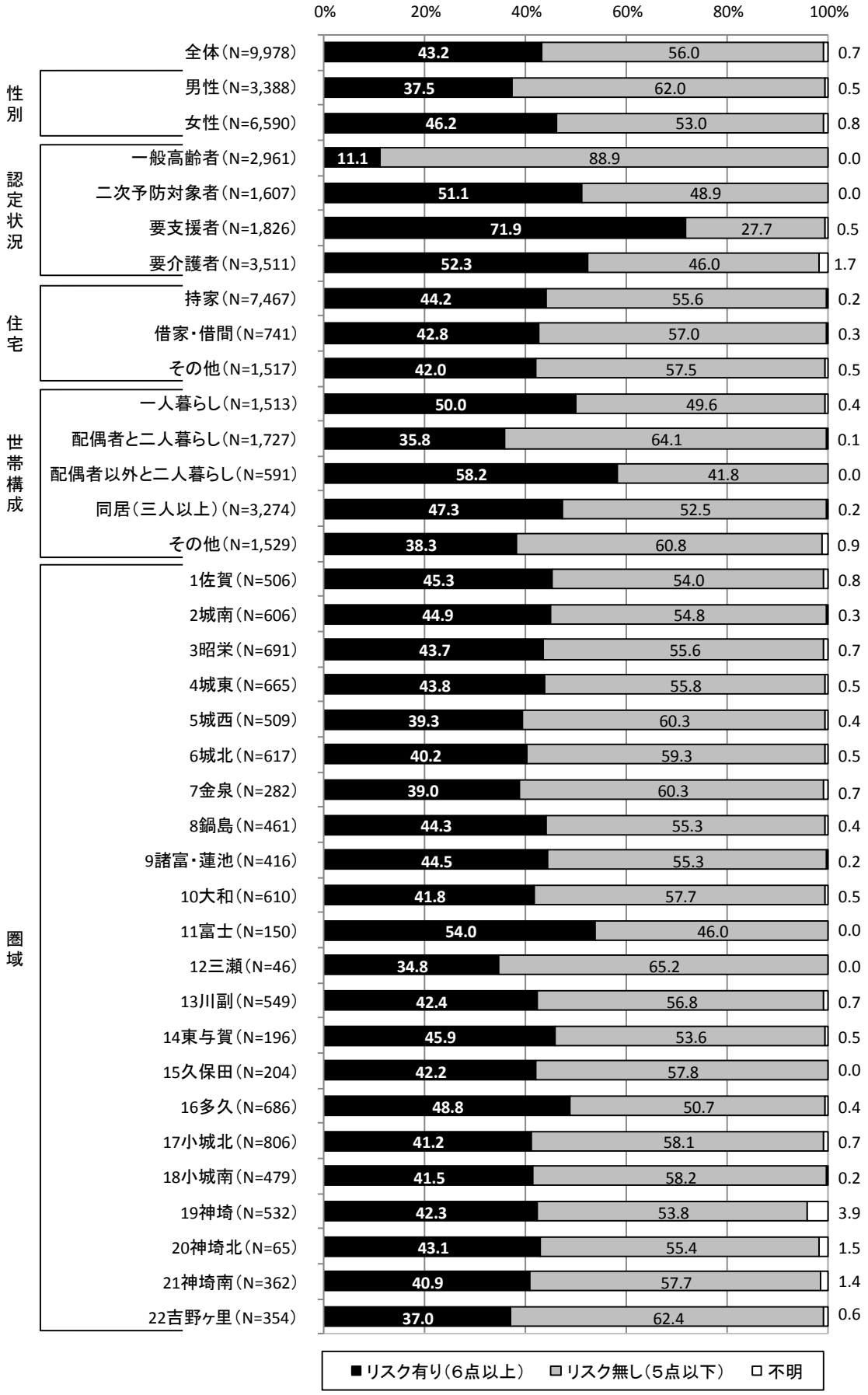
【佐賀中部の回答状況】

評価の基礎になった設問に対する回答結果をみると、認定者の該当率が70%を超える設問が１問（問３-Ｑ４）、非認定者の非該当率が60%を超える設問が４問（問３-Ｑ１・Ｑ３・Ｑ５、問８-Ｑ５）ある。

（単位：%）

	設問内容（該当する回答）	非認定者（N=4,568）		認定者（N=5,337）		※非認定者の非該当率
		一般高齢者（N=2,961）	二次予防対象者（N=1,607）	要支援者（N=1,826）	要介護者（N=3,511）	
問3－Q1	この1年間に転んだことがありますか【はい】	22.8		41.4		77.2
		11.6	43.6	44.2	39.9	
問3－Q3	背中が丸くなってきましたか【はい】	32.2		60.1		67.8
		23.2	49.1	63.7	58.2	
問3－Q4	以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか【はい】	57.7		73.5		42.3
		44.0	83.0	85.7	66.5	
問3－Q5	つえを使っていますか【はい】	7.7		43.0		92.3
		2.6	17.0	63.9	31.6	
問8－Q5	現在、医師の処方した薬を何種類飲んでいますか【5種類以上】	23.7		52.7		76.3
		17.8	33.3	52.1	53.0	

図表　転倒の評価についてリスクありの該当者・非該当者



(4) 栄養

低栄養になると、筋力が衰え病気にかかりやすくなったり衰弱しやすくなるため、基本チェックリストの項目を利用し栄養状況について評価を行った。また、他の要素も調査するため、下記の設問内容を設定している。

【佐賀中部広域連合の現状】

性別でみると、男性、女性とも3.8%で該当者割合は同じである。認定状況別では、二次予防対象者が5.7%、要支援者5.5%、要介護者5.4%となっており、二次予防対象者の割合がやや高い。

【佐賀中部内の圏域の現状】

圏域別では、鍋島6.3%、城西5.3%で該当者割合がやや高い。

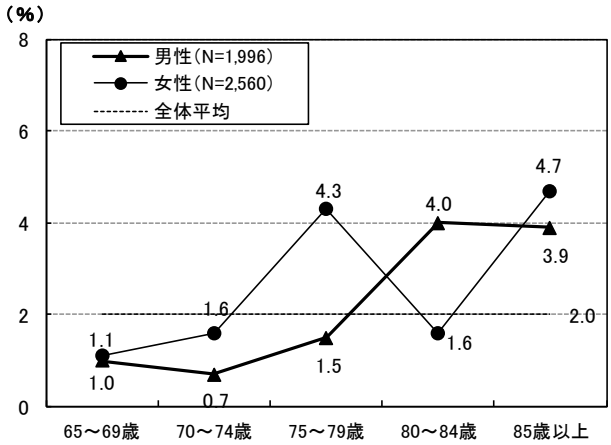
【佐賀中部の回答状況】

認定者を除く全体で2.0%が該当者となっており、該当者割合は他の項目に比べて非常に低い。

評価の基礎になった設問に対する回答結果を認定状況別に比較してみると、各設問における認定者の該当率は低いものの、非認定者に比べると１問（問４-Ｑ２）でかなり高くなっている。

関連する設問の食事動作については、認定の有無等の状況が回答状況と比例している。

図表　該当者割合（性･年齢階級別、認定者･不明を除く）

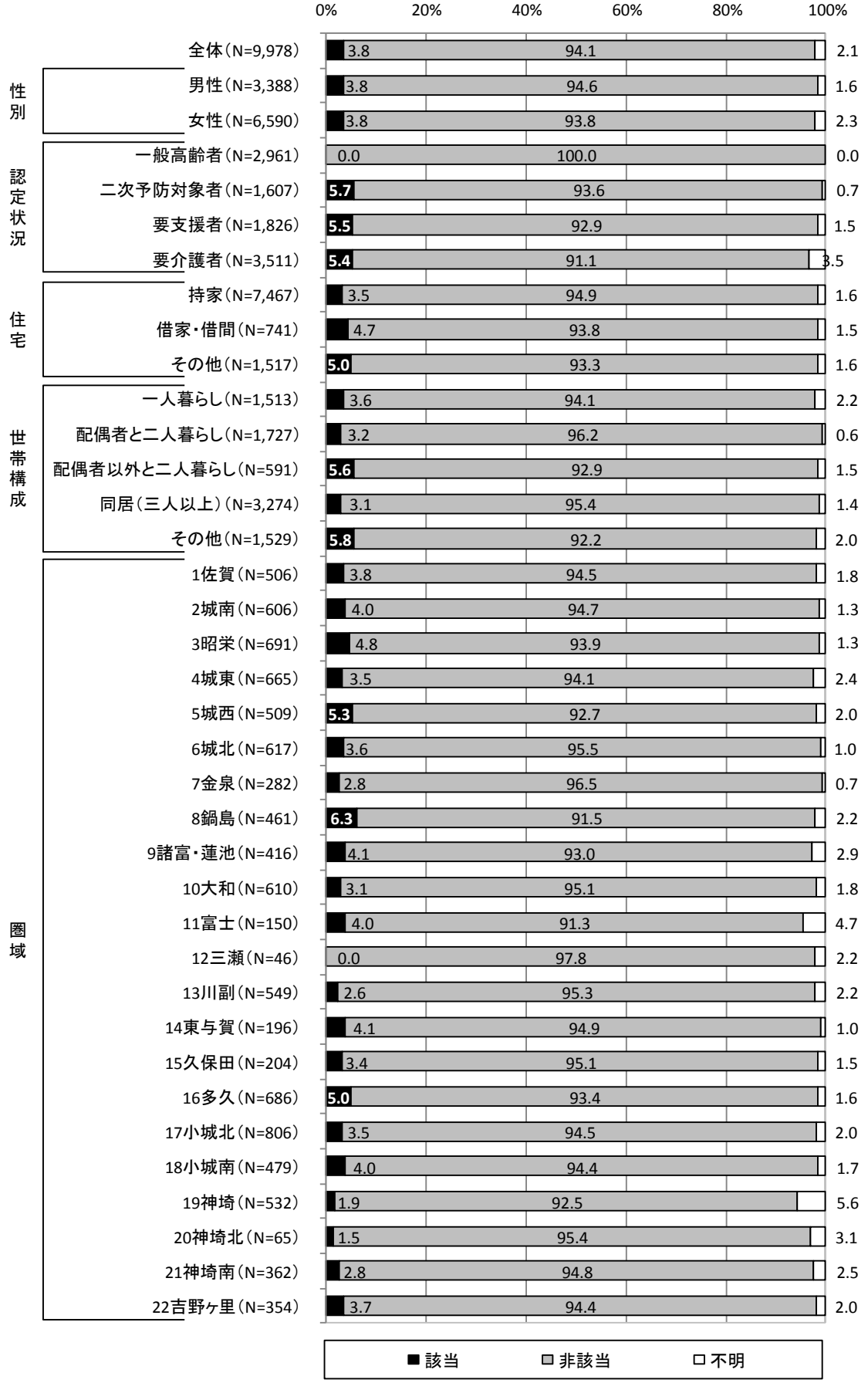


※2問中2つ回答が該当者（リスク有り）

（単位：%）

	設問内容（該当する回答）	非認定者（N=4,568）		認定者（N=5,337）		※非認定者の非該当率
		一般高齢者（N=2,961）	二次予防対象者（N=1,607）	要支援者（N=1,826）	要介護者（N=3,511）	
問4－Q1	6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか【はい】	15.2		22.3		84.8
		10.1	24.8	26.3	20.2	
問4－Q2	身長、体重（BMI＝体重／（身長×身長）＜18.5）	7.9		23.9		92.1
		5.8	11.8	18.3	27.0	
＜関連設問＞						
問6－Q6	食事は自分で食べることができますか【「一部介助があればできる」または「できない」】	0.4		19.5		99.6
		0.0	1.1	1.7	28.9	

図表　栄養の評価についてリスクありの該当者・非該当者



(5) 口腔

口腔機能が低下すると、食べたり飲み込んだりしにくくなり、低栄養や肺炎など全身の健康状態が悪化するため、基本チェックリストの項目を利用し、口腔機能について分析を行った。また、他の要素も調査するため、下記の設問内容を設定している。

【佐賀中部広域連合の現状】

性別でみると、男性29.3%、女性30.4%で該当者割合がほぼ同じである。認定状況別では、二次予防対象者が64.1%で割合が最も高く、次いで要支援者38.5%、要介護者35.8%となっており、二次予防対象者の割合がかなり高い。

【佐賀中部内の圏域の現状】

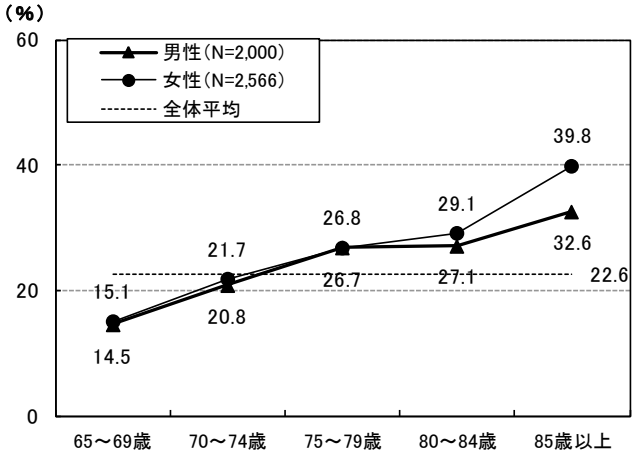
圏域別では、三瀬45.7%、小城南38.6%で他圏域よりやや高くなっている。

【佐賀中部の回答状況】

認定者を除く全体の該当者割合は22.6%となっており、年齢が上がるほどその割合は高くなっている。男女差は比較的小さいが、年齢が上がるほどその差が大きくなっている。

評価の基礎になった設問に対する回答結果を認定者と比較してみると、各設問における認定者の該当率は35.6%～46.0%、非認定者の非該当率は69.2%～77.3%となっている。

図表　該当者割合（性･年齢階級別、認定者･不明を除く）



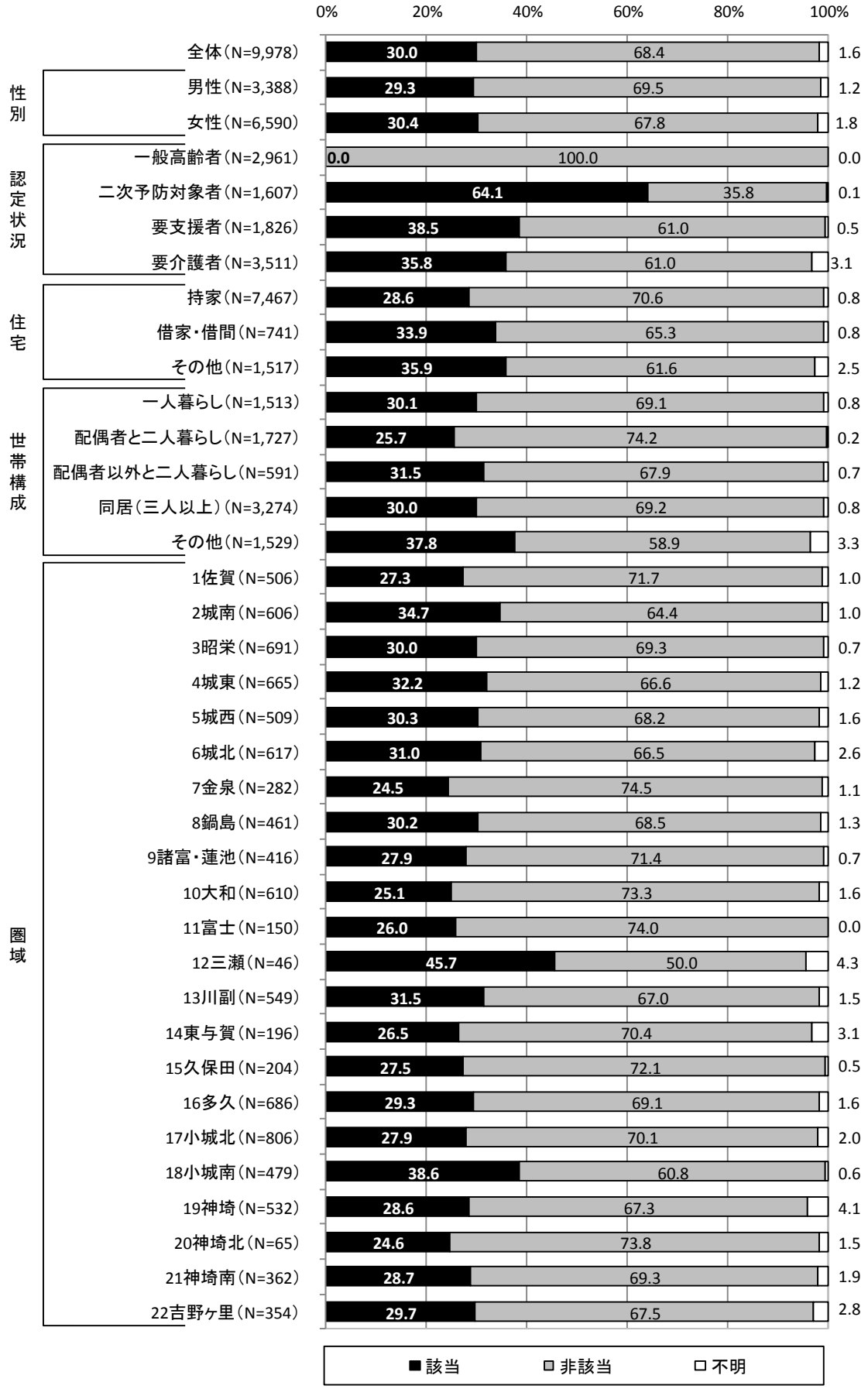
関連する設問についてみると、歯科受診（健診）の状況は、問４-Ｑ６・Ｑ７については、認定の有無等の状況が回答状況と比例している。

※3問中2つ以上回答が該当者（リスク有り）

（単位：%）

	設問内容（該当する回答）	非認定者（N=4,568）		認定者（N=5,337）		※非認定者の非該当率
		一般高齢者（N=2,961）	二次予防対象者（N=1,607）	要支援者（N=1,826）	要介護者（N=3,511）	
問4－Q3	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか【はい】	30.8		46.0		69.2
		15.0	60.0	47.0	45.4	
問4－Q4	お茶や汁物等を飲んだときにむせることがありますか【はい】	22.7		39.4		77.3
		8.4	49.0	34.6	42.0	
問4－Q5	口の渇きが気になりますか【はい】	27.1		35.6		72.9
		10.6	57.7	41.5	32.4	
＜関連設問＞						
問4－Q6	歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか【いいえ】	7.1		11.9		92.9
		6.4	8.4	9.3	13.3	
問4－Q7	定期的に歯科受診（健診を含む）をしていますか【いいえ】	53.8		74.5		46.2
		51.5	58.1	71.3	76.3	

図表　口腔の評価についてリスクありの該当者・非該当者



(6) 認知

忘れ物や物忘れが多くなり、いわゆる認知症になると、日常生活に支障をきたすことになるため、基本チェックリストの項目を利用し評価を行った。また、他の要素も調査するため、下記の設問内容を設定している。

【佐賀中部広域連合の現状】

性別でみると、男性52.7%、女性60.4%で女性の方が7.7ポイント該当者割合が高くなっている。認定状況別では、要介護者が89.9%で割合が最も高く、次いで要支援者61.5%、二次予防対象者46.0%、一般高齢者24.4%と認定状況に応じた割合となっている。

【佐賀中部内の圏域の現状】

圏域別では、神埼北63.1%、川副60.1%で比較的高い。

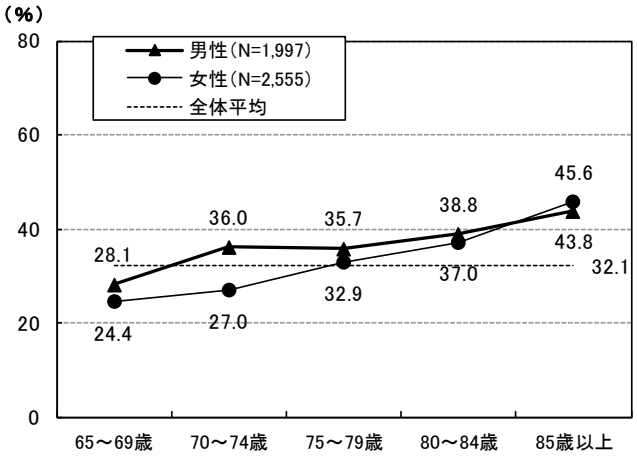
【佐賀中部の回答状況】

認定者を除く全体で32.1%となっており、概ね年齢が上がるほど該当者割合が高くなっている。

設問に対する回答結果を認定者と比較してみると、認定者の該当率は41.9%～62.2%、非認定者の非該当率は85.8%～91.5%であり、要支援と要介護の認定者で該当率に大きな差があることが特徴的になっている。

関連する設問で、介護・介助が必要になった原因や現在治療中、または後遺症のある病気での認知症については、認定者と非認定者で大きな差が出ており、特に要介護認定者が高くなっている。

図表　該当者割合（性・年齢階級別、認定者・不明を除く）

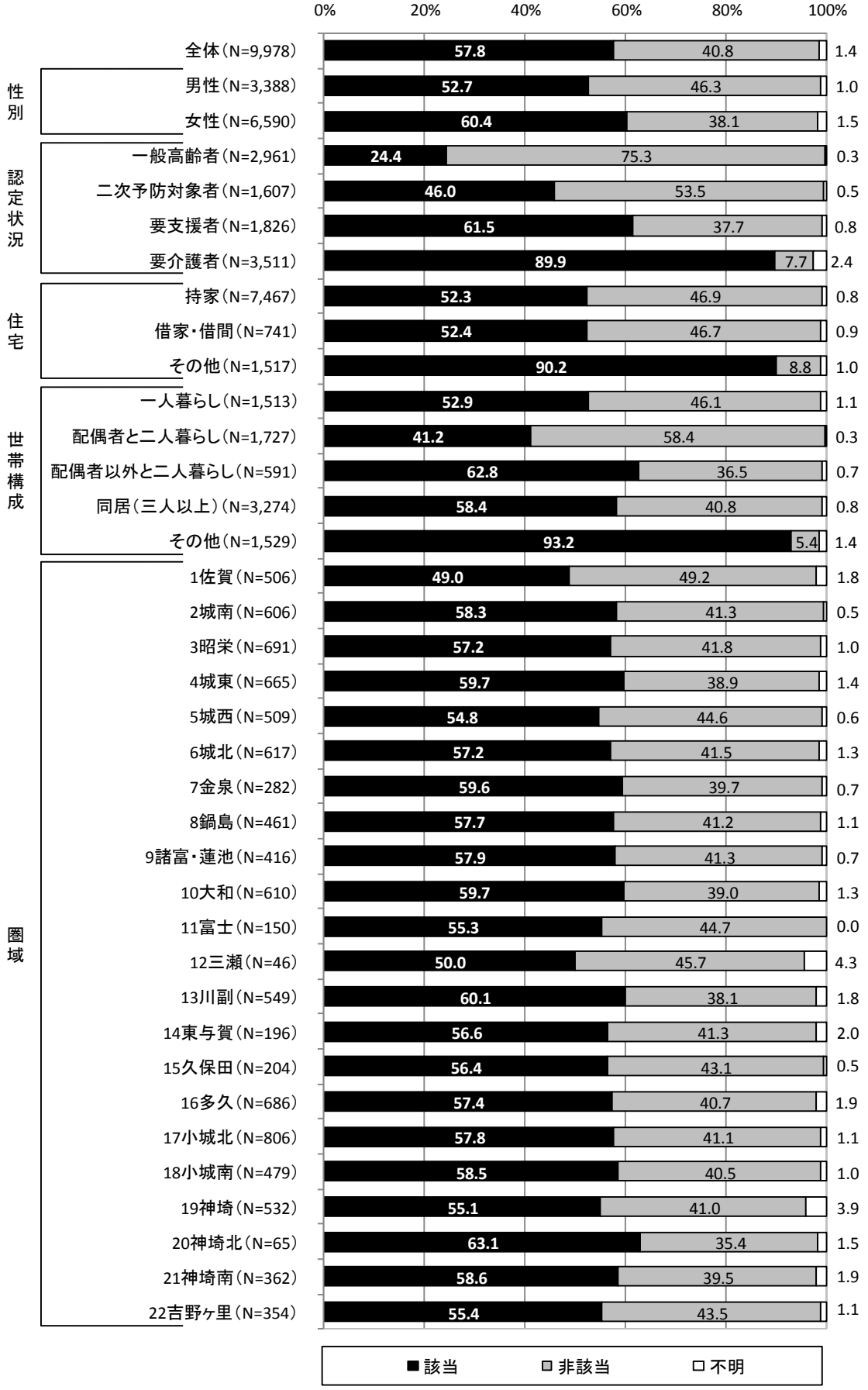


※3問中1つ以上回答が該当者（リスク有り）

（単位：%）

	設問内容（該当する回答）	非認定者（N=4,568）		認定者（N=5,337）		※非認定者の非該当率
		一般高齢者（N=2,961）	二次予防対象者（N=1,607）	要支援者（N=1,826）	要介護者（N=3,511）	
問5－Q1	周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあると言われますか【はい】	14.2		41.9		85.8
		8.8	24.3	32.3	47.1	
問5－Q2	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか【いいえ】	8.5		62.2		91.5
		6.7	12.0	29.0	79.7	
問5－Q3	今日が何月何日かわからないときがありますか【はい】	20.6		61.5		79.4
		14.0	32.8	42.2	71.7	
＜関連設問＞						
問1－Q2－1	介護・介助が必要になった主な原因は何ですか【認知症】	11.0		35.8		89.0
		12.7	10.5	12.0	45.8	
問8－Q4	現在治療中、または後遺症のある病気はありますか【認知症】	0.6		28.2		99.4
		0.3	1.3	9.2	38.3	

図表　認知症予防の評価についてリスクありの該当者・非該当者



①認知機能障害程度（ＣＰＳ）

認知症予防を図るために認知機能の障害程度の指標として有用とされるＣＰＳ（Cognitive Performance Scale）に準じた設問を設定しており、内容的には要介護認定調査の主治医意見書欄にある内容である。

本来は観察者によって評価されることにより客観的な指標となるものであり、今回は自記式の調査ではあるが、比較的簡易に認知機能の障害程度の評価が可能であることから、調査票に盛り込まれている。設問に対する回答内容により、０レベル（障害なし）から６レベル（最重度の障害がある）までの評価が可能となっている。

【佐賀中部広域連合の現状】

性別でみると、男性41.9%、女性48.0%で女性の方が6.1ポイント該当者割合が高い。認定状況別では、要介護者が79.9%で割合が最も高く、次いで要支援者42.8%、二次予防対象者32.7%、一般高齢者15.1%と認定状況に応じた割合となっている。

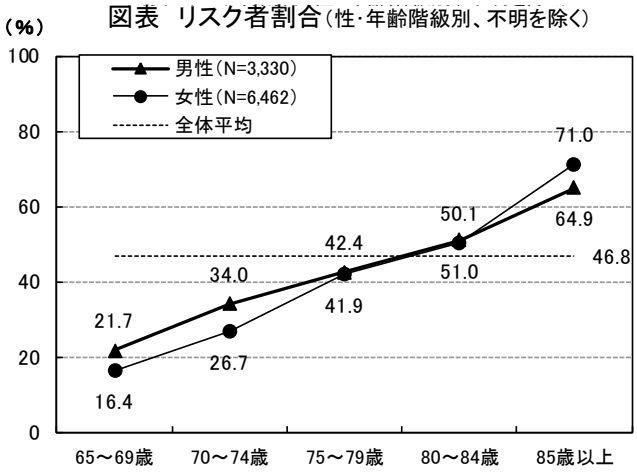
【佐賀中部内の圏域の現状】

圏域別では、金泉50.4%、川副50.1%、小城南50.1%でやや高く、他圏域はすべて４割台となっている。

【佐賀中部の回答状況】

設問に対する回答結果を認定状況別に比較してみると、認定者の該当率が30%超えている設問が３問（問５-Ｑ４・Ｑ５・Ｑ６）、非認定者の非該当率が90%を超えている設問が２問となっている。全設問で要介護認定者と要支援認定者で該当率に大きな差がみられる。

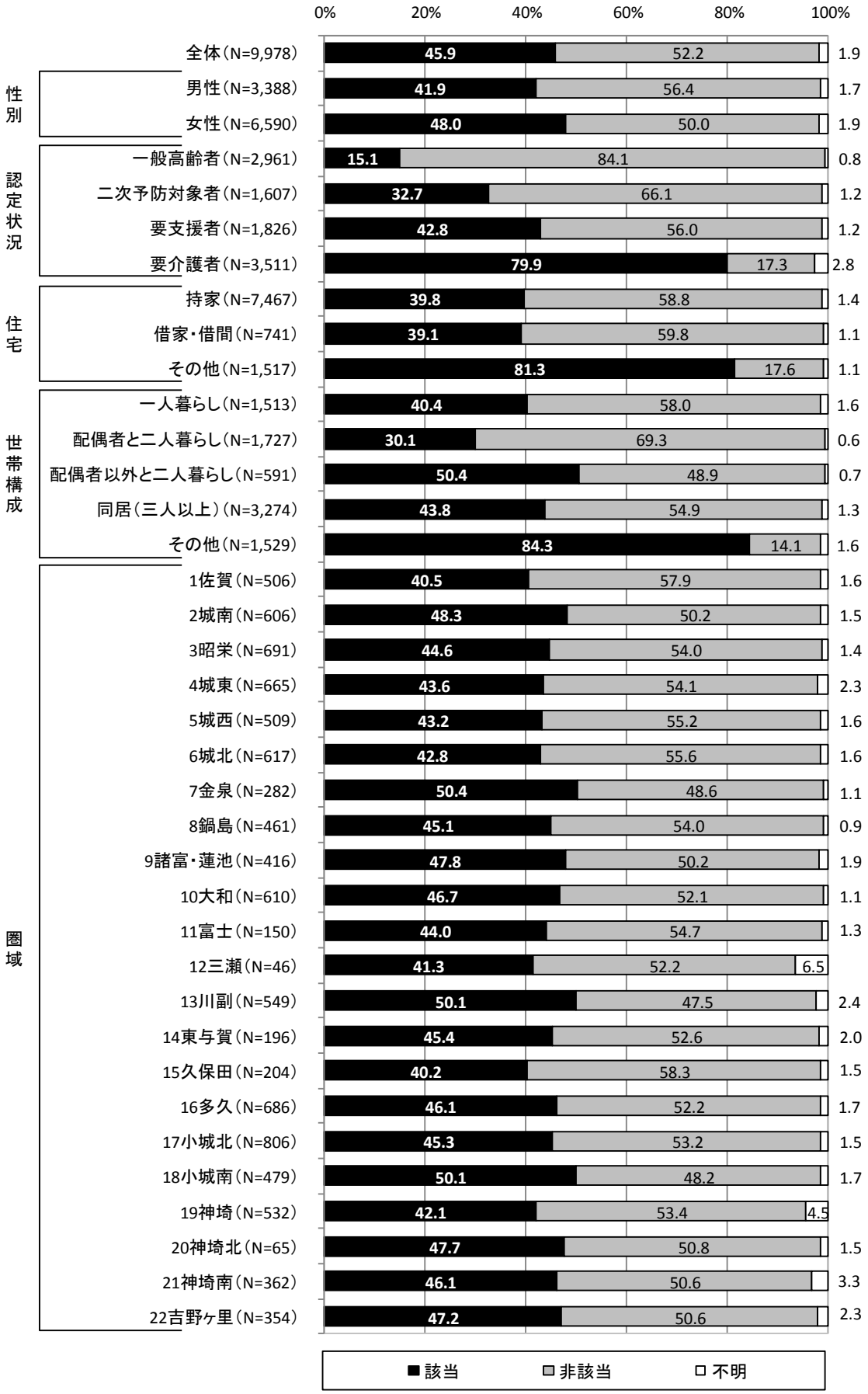
図表　リスク者割合（性･年齢階級別、不明を除く）



（単位：%）

	設問内容（該当する回答）	非認定者（N=4,568）		認定者（N=5,337）		※非認定者の非該当率
		一般高齢者（N=2,961）	二次予防対象者（N=1,607）	要支援者（N=1,826）	要介護者（N=3,511）	
問５－Ｑ４	５分前のことが思い出せますか【いいえ】	10.3		41.9		89.7
		8.1	14.3	20.4	53.3	
問５－Ｑ５	その日の活動（食事をする、衣服を選ぶなど）を自分で判断できますか【「いくらか困難であるが、できる」～「ほとんど判断できない」】	7.3		56.0		92.7
		3.5	14.2	24.2	72.7	
問５－Ｑ６	人に自分の考えをうまく伝えられますか【「いくらか困難であるが、伝えられる」～「ほとんど伝えられない」】	11.5		49.8		88.5
		6.7	20.4	24.1	63.4	
問６－Ｑ６	食事は自分で食べることができますか【「一部介助（おかずを切ってもらうなど）があればできる」または「できない」】	0.4		19.5		99.6
		0.0	1.1	1.7	28.9	

図表　認知機能障害程度の評価についてリスクありの該当者・非該当者



(7) うつ予防

高齢者特有の身体の変調や人付き合いなどの不和から心の健康を害し、精神の働きがうまくいかないなど、うつをきたす場合があるため、基本チェックリストの項目を利用し評価を行った。また、他の要素も調査するため、下記の設問内容を設定している。

【佐賀中部広域連合の現状】

性別でみると、男性31.8%、女性32.3%でほぼ同じである。認定状況別では、二次予防対象者が44.7%で割合が最も高く、次いで要支援者41.5%、要介護者36.7%、一般高齢者14.0%であり、非認定者の二次予防対象者が認定者の要介護者や要支援者より該当者割合がやや高くなっている。

【佐賀中部内の圏域の現状】

圏域別では、鍋島36.2%で該当者割合がやや高く、三瀬21.7%が最も低くなっている。

【佐賀中部の回答状況】

設問に対する回答結果をみると、認定者の該当率は27.9%～40.2%、非認定者の非該当率は75.5%～88.8%となっている。一般高齢者と二次予防対象者で該当率に比較的大きな差があることが特徴的になっている。

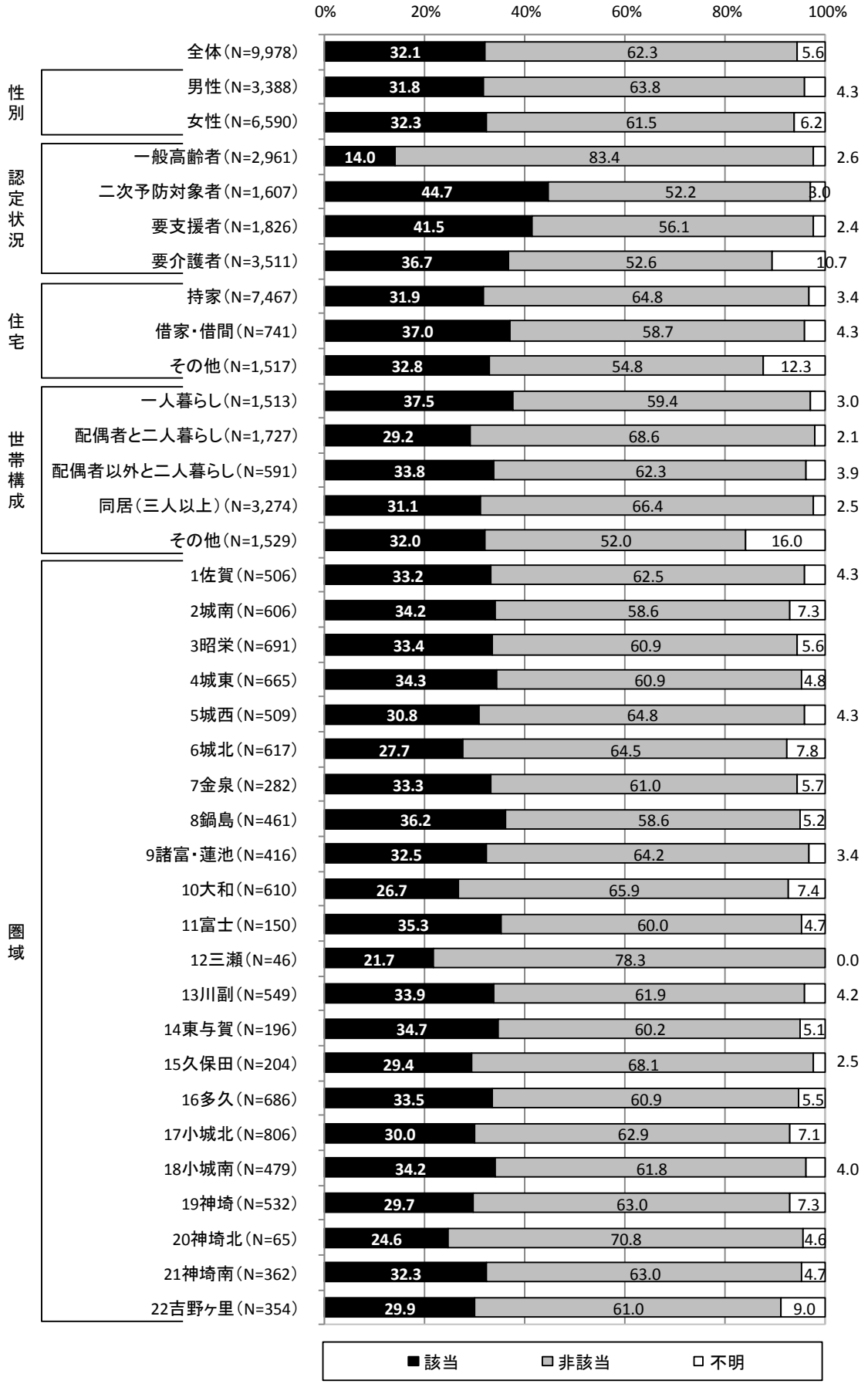
関連する設問として主観的健康感についてみると、認定者では「（あまり）健康でない」との回答が42.5%、非認定者で「（とても・まあまあ）健康である」との回答が82.6%となっている。

※5問中2つ以上回答が該当者（リスク有り）

（単位：%）

	設問内容（該当する回答）	非認定者（N=4,568）		認定者（N=5,337）		※非認定者の非該当率
		一般高齢者（N=2,961）	二次予防対象者（N=1,607）	要支援者（N=1,826）	要介護者（N=3,511）	
問8－Q10	（ここ2週間）毎日の生活に充実感がない【はい】	21.5		30.2		78.5
		15.7	32.5	28.9	30.9	
問8－Q11	（ここ2週間）これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった【はい】	11.2		27.9		88.8
		5.7	21.6	26.7	28.6	
問8－Q12	（ここ2週間）以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じられる【はい】	22.2		40.2		77.8
		11.4	42.6	41.2	39.6	
問8－Q13	（ここ2週間）自分が役に立つ人間だと思えない【はい】	18.6		28.6		81.4
		12.1	30.5	26.5	29.8	
問8－Q14	（ここ2週間）わけもなく疲れたような感じがする【はい】	24.5		33.3		75.5
		14.0	44.1	36.5	31.6	
＜関連設問＞						
問8－Q1	普段、ご自分で健康だと思いますか【「あまり健康でない」または「健康でない」】	17.4		42.5		82.6
		9.0	33.0	44.6	41.4	

図表　うつ予防の対象者


0%
20%
40%
60%
80%
100%
全体（N=9,978） 32.1 62.3 5.6
性別
男性（N=3,388） 31.8 63.8 4.3
女性（N=6,590） 32.3 61.5 6.2
認定状況
一般高齢者（N=2,961） 14.0 83.4 2.6
二次予防対象者（N=1,607） 44.7 52.2 3.0
要支援者（N=1,826） 41.5 56.1 2.4
要介護者（N=3,511） 36.7 52.6 10.7
住宅
持家（N=7,467） 31.9 64.8 3.4
借家・借間（N=741） 37.0 58.7 4.3
その他（N=1,517） 32.8 54.8 12.3
世帯構成
一人暮らし（N=1,513） 37.5 59.4 3.0
配偶者と二人暮らし（N=1,727） 29.2 68.6 2.1
配偶者以外と二人暮らし（N=591） 33.8 62.3 3.9
同居（三人以上）（N=3,274） 31.1 66.4 2.5
その他（N=1,529） 32.0 52.0 16.0
圏域
1佐賀（N=506） 33.2 62.5 4.3
2城南（N=606） 34.2 58.6 7.3
3昭栄（N=691） 33.4 60.9 5.6
4城東（N=665） 34.3 60.9 4.8
5城西（N=509） 30.8 64.8 4.3
6城北（N=617） 27.7 64.5 7.8
7金泉（N=282） 33.3 61.0 5.7
8鍋島（N=461） 36.2 58.6 5.2
9諸富・蓮池（N=416） 32.5 64.2 3.4
10大和（N=610） 26.7 65.9 7.4
11富士（N=150） 35.3 60.0 4.7
12三瀬（N=46） 21.7 78.3 0.0
13川副（N=549） 33.9 61.9 4.2
14東与賀（N=196） 34.7 60.2 5.1
15久保田（N=204） 29.4 68.1 2.5
16多久（N=686） 33.5 60.9 5.5
17小城北（N=806） 30.0 62.9 7.1
18小城南（N=479） 34.2 61.8 4.0
19神埼（N=532） 29.7 63.0 7.3
20神埼北（N=65） 24.6 70.8 4.6
21神埼南（N=362） 32.3 63.0 4.7
22吉野ヶ里（N=354） 29.9 61.0 9.0
■該当
□非該当
□不明

(8) 二次予防対象者①

基本チェックリストにおいて、うつ予防に関する５項目を除いた20項目中、10項目以上が該当した場合、二次予防対象者となる。生活機能の低下を防ぐため、何らかの介護予防が必要なものについて評価を行った。

【佐賀中部広域連合の現状】

性別でみると、男性31.6%、女性45.3%で女性の方が該当者割合が13.7ポイント高い。認定状況別では、要介護者が83.3%で割合が最も高く、次いで要支援者47.4%、二次予防対象者16.1%と認定状況に応じた割合となっている。

【佐賀中部内の圏域の現状】

圏域別では、小城北43.5%、多久43.0%、小城南43.0%で該当者割合がやや高く、佐賀34.4%で該当者割合が低い。

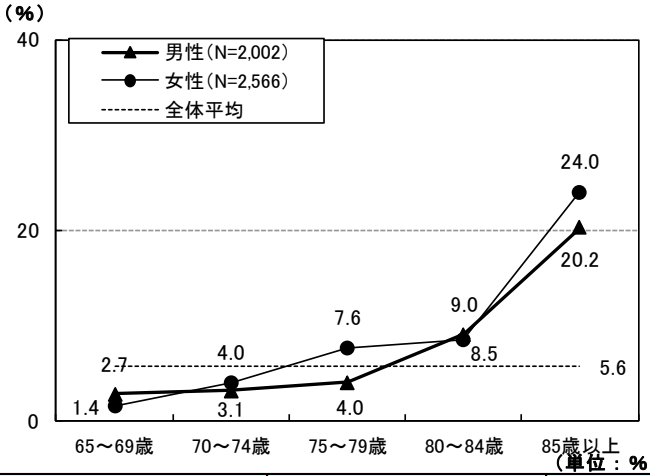
【佐賀中部の回答状況】

認定者を除く全体で5.6%であり、年齢とともに高くなっている。

また、20項目のうち、他の評価項目に含まれない５項目についてそれぞれの回答結果をみてみると、一般高齢者、二次予防対象者、要支援認定者、要介護認定者で該当率に顕著な差がみられる。

認定者の該当率は70.9%～89.0%、非認定者の非該当率は66.6%～85.0%である。

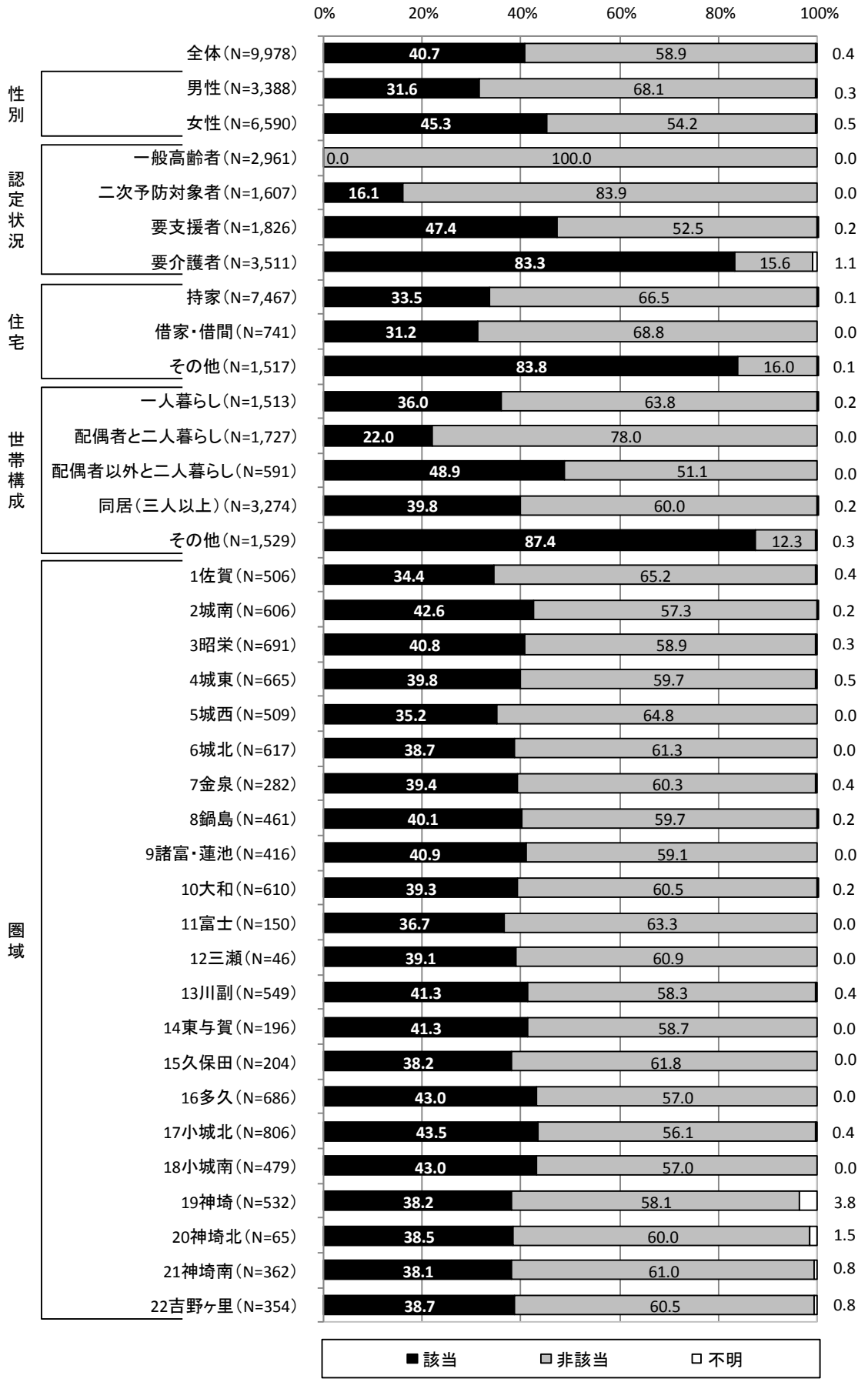
図表 該当者割合（性・年齢階級別、認定者・不明を除く）



（単位：%）

	設問内容（該当する回答）	非認定者（N=4,568）		認定者（N=5,337）		※非認定者の非該当率
		一般高齢者（N=2,961）	二次予防対象者（N=1,607）	要支援者（N=1,826）	要介護者（N=3,511）	
問6－Q1	バスや電車で一人で外出していますか（自家用車でもかまいません）【「できるけどしていない」または「できない」】	15.9		89.0		84.1
		9.9	26.9	73.4	97.2	
問6－Q2	日用品の買物をしていますか【「できるけどしていない」または「できない」】	15.2		83.5		84.8
		11.0	23.0	62.0	94.8	
問6－Q5	預貯金の出し入れをしていますか【「できるけどしていない」または「できない」】	16.0		78.1		84.0
		12.9	21.7	48.2	93.8	
問7－Q5	友人の家を訪ねていますか【いいえ】	33.4		87.4		66.6
		26.9	45.5	74.2	94.4	
問7－Q6	家族や友人の相談にのっていますか【いいえ】	15.0		70.9		85.0
		9.8	24.6	48.2	82.9	

図表　二次予防対象者①


0%
20%
40%
60%
80%
100%
全体（N=9,978） 40.7 58.9 0.4
性別
男性（N=3,388） 31.6 68.1 0.3
女性（N=6,590） 45.3 54.2 0.5
認定状況
一般高齢者（N=2,961） 0.0 100.0 0.0
二次予防対象者（N=1,607） 16.1 83.9 0.0
要支援者（N=1,826） 47.4 52.5 0.2
要介護者（N=3,511） 83.3 15.6 1.1
住宅
持家（N=7,467） 33.5 66.5 0.1
借家・借間（N=741） 31.2 68.8 0.0
その他（N=1,517） 83.8 16.0 0.1
世帯構成
一人暮らし（N=1,513） 36.0 63.8 0.2
配偶者と二人暮らし（N=1,727） 22.0 78.0 0.0
配偶者以外と二人暮らし（N=591） 48.9 51.1 0.0
同居（三人以上）（N=3,274） 39.8 60.0 0.2
その他（N=1,529） 87.4 12.3 0.3
圏域
1佐賀（N=506） 34.4 65.2 0.4
2城南（N=606） 42.6 57.3 0.2
3昭栄（N=691） 40.8 58.9 0.3
4城東（N=665） 39.8 59.7 0.5
5城西（N=509） 35.2 64.8 0.0
6城北（N=617） 38.7 61.3 0.0
7金泉（N=282） 39.4 60.3 0.4
8鍋島（N=461） 40.1 59.7 0.2
9諸富・蓮池（N=416） 40.9 59.1 0.0
10大和（N=610） 39.3 60.5 0.2
11富士（N=150） 36.7 63.3 0.0
12三瀬（N=46） 39.1 60.9 0.0
13川副（N=549） 41.3 58.3 0.4
14東与賀（N=196） 41.3 58.7 0.0
15久保田（N=204） 38.2 61.8 0.0
16多久（N=686） 43.0 57.0 0.0
17小城北（N=806） 43.5 56.1 0.4
18小城南（N=479） 43.0 57.0 0.0
19神埼（N=532） 38.2 58.1 3.8
20神埼北（N=65） 38.5 60.0 1.5
21神埼南（N=362） 38.1 61.0 0.8
22吉野ヶ里（N=354） 38.7 60.5 0.8
■該当
□非該当
□不明

(9) 二次予防対象者②

前述以外に、基本チェックリストにおいて、運動機能、栄養改善、口腔機能のそれぞれで該当した場合も、二次予防対象者となる。生活機能の低下を防ぐために、二次予防対象者の状況を調べた。

【佐賀中部広域連合の現状】

性別でみると、男性53.8%、女性70.5%で女性の方が該当者割合が16.7ポイント高い。住宅の所有関係ではほとんど違いはないが、世帯構成別では配偶者と二人暮らしで二次予防対象者が少ない。

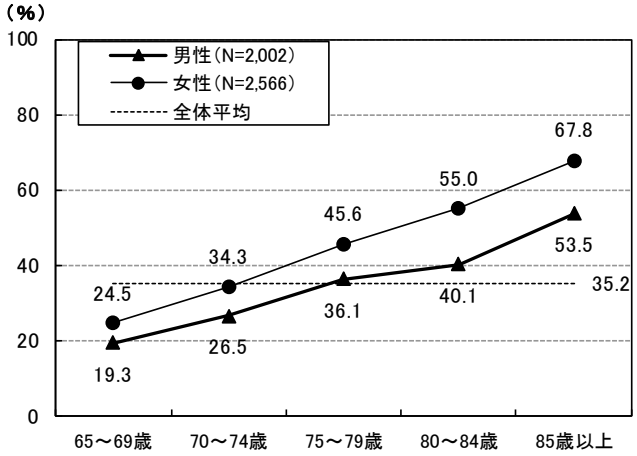
【佐賀中部内の圏域の現状】

圏域別では、川副66.8%、小城北66.7%、多久66.6%で該当者割合がやや高く、神埼北58.5%で該当者割合が低い。

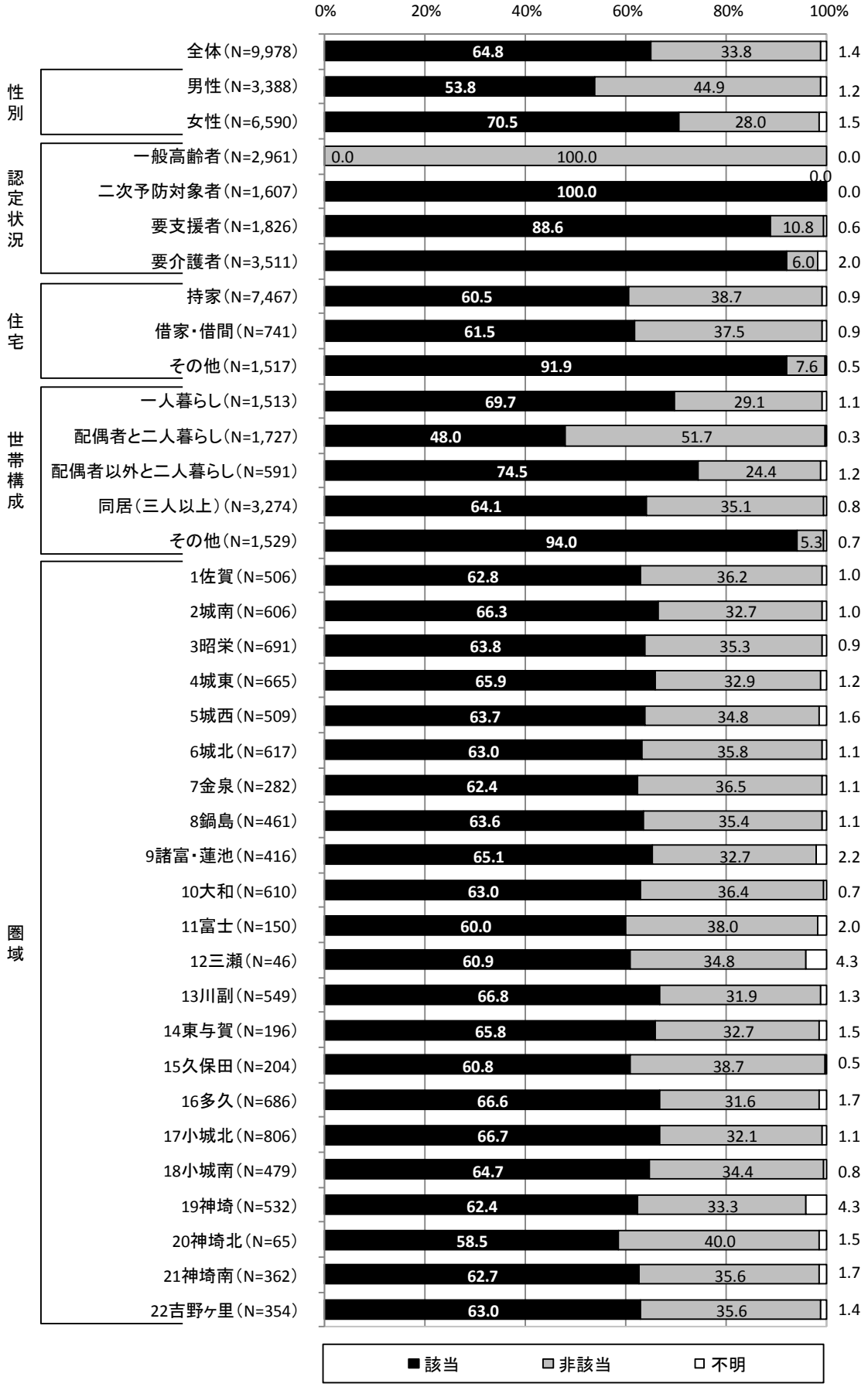
【佐賀中部の回答状況】

認定者を除く全体で35.2%で、女性の方が高く、年齢が上がるほどその差が開く傾向がみられる。

図表　該当者割合（性･年齢階級別、認定者･不明を除く）



図表　二次予防対象者②


0%
20%
40%
60%
80%
100%
全体（N=9,978） 64.8 33.8 1.4
性別
男性（N=3,388） 53.8 44.9 1.2
女性（N=6,590） 70.5 28.0 1.5
認定状況
一般高齢者（N=2,961） 0.0 100.0 0.0
二次予防対象者（N=1,607） 100.0 0.0 0.0
要支援者（N=1,826） 88.6 10.8 0.6
要介護者（N=3,511） 6.0 2.0
住宅
持家（N=7,467） 60.5 38.7 0.9
借家・借間（N=741） 61.5 37.5 0.9
その他（N=1,517） 91.9 7.6 0.5
世帯構成
一人暮らし（N=1,513） 69.7 29.1 1.1
配偶者と二人暮らし（N=1,727） 48.0 51.7 0.3
配偶者以外と二人暮らし（N=591） 74.5 24.4 1.2
同居（三人以上）（N=3,274） 64.1 35.1 0.8
その他（N=1,529） 94.0 5.3 0.7
圏域
1佐賀（N=506） 62.8 36.2 1.0
2城南（N=606） 66.3 32.7 1.0
3昭栄（N=691） 63.8 35.3 0.9
4城東（N=665） 65.9 32.9 1.2
5城西（N=509） 63.7 34.8 1.6
6城北（N=617） 63.0 35.8 1.1
7金泉（N=282） 62.4 36.5 1.1
8鍋島（N=461） 63.6 35.4 1.1
9諸富・蓮池（N=416） 65.1 32.7 2.2
10大和（N=610） 63.0 36.4 0.7
11富士（N=150） 60.0 38.0 2.0
12三瀬（N=46） 60.9 34.8 4.3
13川副（N=549） 66.8 31.9 1.3
14東与賀（N=196） 65.8 32.7 1.5
15久保田（N=204） 60.8 38.7 0.5
16多久（N=686） 66.6 31.6 1.7
17小城北（N=806） 66.7 32.1 1.1
18小城南（N=479） 64.7 34.4 0.8
19神埼（N=532） 62.4 33.3 4.3
20神埼北（N=65） 58.5 40.0 1.5
21神埼南（N=362） 62.7 35.6 1.7
22吉野ヶ里（N=354） 63.0 35.6 1.4
■該当
□非該当
□不明

２　日常生活

(1) 手段的自立度（ＩＡＤＬ）

本調査では、高齢者の比較的高次の生活機能を評価することができる老研式活動能力指標(資料編　用語説明※3、資料説明(注2)参照以下同じ)に準じた設問が設けられている（問６-Ｑ１～Ｑ５、問７-Ｑ１～Ｑ８）。

このうち、手段的自立度（ＩＡＤＬ）については、各設問に「できるし、している」または「できるけどしていない」と回答した場合を１点として、５点満点で評価し、５点を「高い」、４点を「やや低い」、３点以下を「低い」として評価している。

【佐賀中部広域連合の現状】

性別でみると、評価の「高い」割合が男性49.9%、女性42.3%で、女性の方が7.6ポイント高い。認定状況別では、一般高齢者86.4%、二次予防対象者75.4%、要支援者31.0%、要介護者3.2%の順となっている。住宅別では、持家51.9%、借家54.0%となっている。世帯構成別では、配偶者と二人暮らし64.7%、一人暮らし51.1%、同居（三人以上）44.3%、配偶者以外と二人暮らし39.8%の順となっている。

【佐賀中部内の圏域の現状】

圏域別では、「高い」割合が三瀬54.3%で最も高く、東与賀と神埼南は39.8%で低い。

【佐賀中部の回答状況】

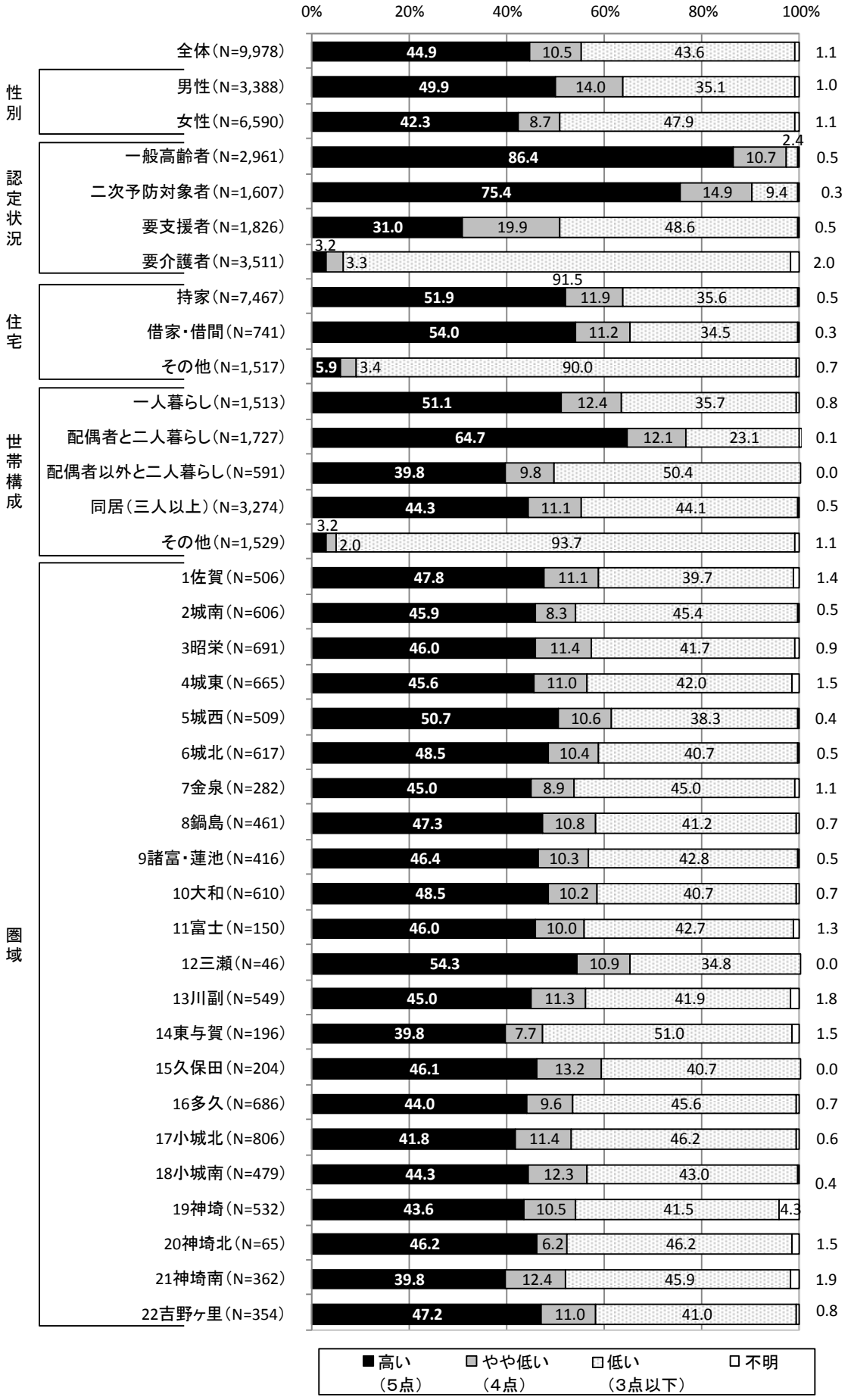
評価の基礎となっている５項目についてそれぞれの回答結果をみてみると、非認定者（一般高齢者及び二次予防対象者）と要支援認定者、要介護認定者でその回答結果に顕著な差がみられる。

非認定者の割合（カウント率）は91.8%～98.0%、認定者のカウント率は19.6%～39.6%である。

（単位：%）

	設問内容(該当する回答)	非認定者(N=4,568)		認定者(N=5,337)		※非認定者と認定者の差
		一般高齢者(N=2,961)	二次予防対象者(N=1,607)	要支援者(N=1,826)	要介護者(N=3,511)	
問6－Q1	バスや電車で一人で外出していますか(自家用車でもかまいません)【「できるし、している」または「できるけどしていない」】	95.6		19.6		76.0
		98.7	89.7	44.1	6.7	
問6－Q2	日用品の買物をしていますか【「できるし、している」または「できるけどしていない」】	97.9		30.5		67.4
		0.3	5.4	38.1	86.0	
問6－Q3	自分で食事の用意をしていますか【「できるし、している」または「できるけどしていない」】	91.8		27.8		64.0
		93.6	88.5	59.0	11.3	
問6－Q4	請求書の支払いをしていますか【「できるし、している」または「できるけどしていない」】	98.0		39.6		58.4
		99.2	95.9	79.5	18.7	
問6－Q5	預貯金の出し入れをしていますか【「できるし、している」または「できるけどしていない」】	97.1		36.7		60.4
		98.7	94.1	74.7	16.6	

図表　手段的自立度（IADL）の評価



(2) 生活機能総合評価

前記の手段的自立度に、知的能動性、社会的役割を加えた老研式活動能力指標13項目での評価結果は、以下のとおりとなっている。評価は、13点満点で評価し、11点以上を「高い」、９、10点を「やや低い」、８点以下を「低い」として評価している。

【佐賀中部広域連合の現状】

性別でみると、評価が「高い」割合は男性49.2%、女性38.7%で男性の方が10.5ポイント高い。認定状況別では、一般高齢者86.9%、二次予防対象者67.9%、要支援者24.5%、要介護者2.4%の順となっている。住宅別では、持家50.0%、借家41.4%となっている。世帯構成別では、配偶者と二人暮らし62.9%、同居（三人以上）43.8%、一人暮らし41.6%、配偶者以外と二人暮らし34.5%の順となっている。

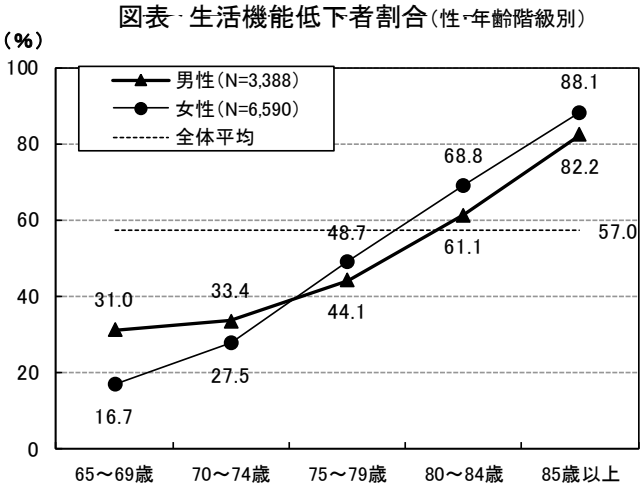
【佐賀中部内の圏域の現状】

圏域別では、評価が「高い」割合は三瀬52.2%が５割を超えて最も高く、東与賀37.2%、多久38.9%、金泉39.0%でやや低くなっている。

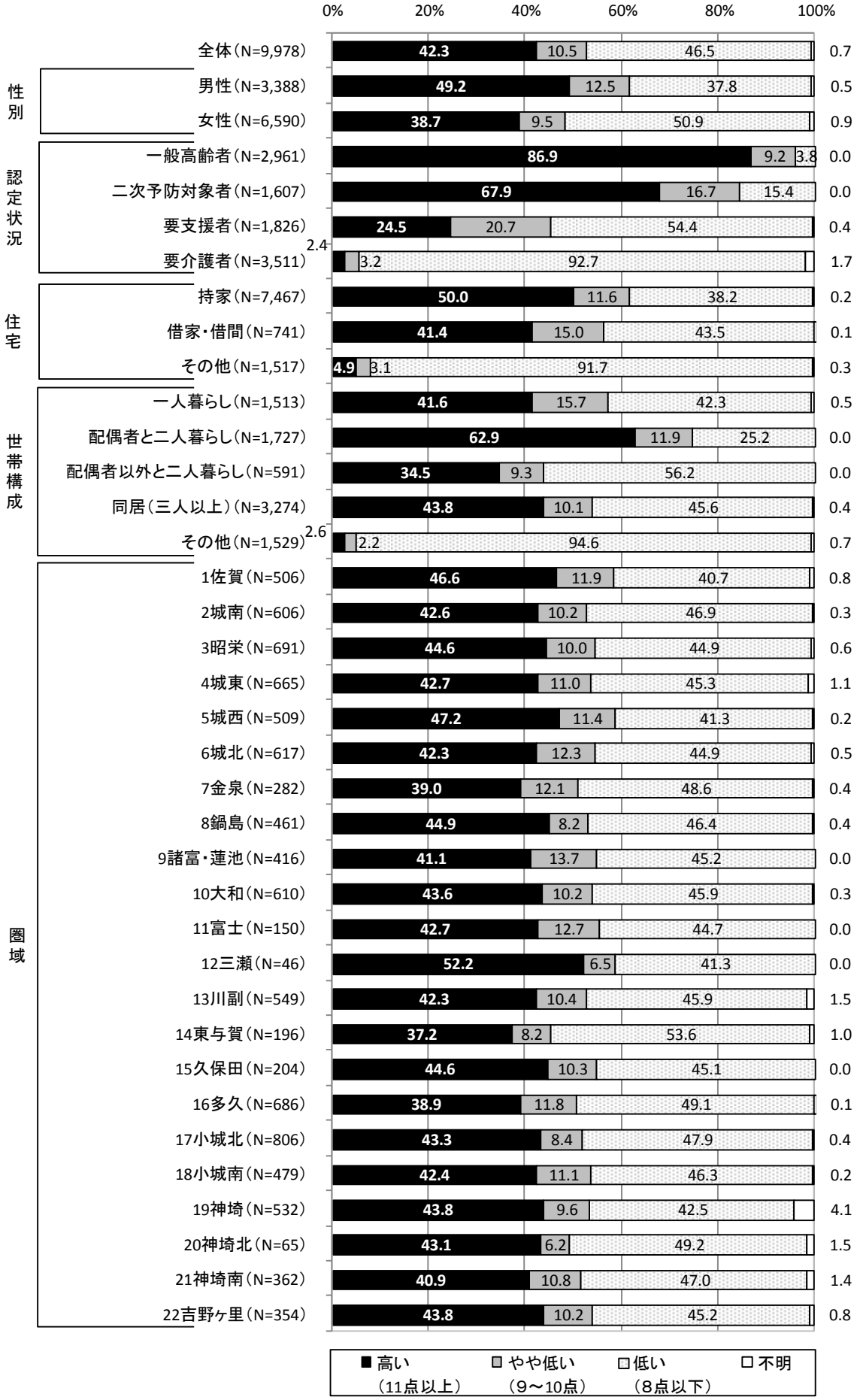
【佐賀中部の回答状況】

手段的自立度に、知的能動性、社会的役割を加えた老研式活動能力指標13項目での評価での10点以下を低下者とした結果をみると、70歳代前半までは男性の方が低下者割合が高くなっているが、70歳代後半以降は逆に女性のほうがその割合が高くなっている。

図表 生活機能低下者割合（性・年齢階級別）



図表　生活機能総合評価


0%
20%
40%
60%
80%
100%
全体（N=9,978） 42.3 10.5 46.5 0.7
性別
男性（N=3,388） 49.2 12.5 37.8 0.5
女性（N=6,590） 38.7 9.5 50.9 0.9
認定状況
一般高齢者（N=2,961） 86.9 9.2 3.8 0.0
二次予防対象者（N=1,607） 67.9 16.7 15.4 0.0
要支援者（N=1,826） 24.5 20.7 54.4 0.4
要介護者（N=3,511） 2.4 3.2 92.7 1.7
住宅
持家（N=7,467） 50.0 11.6 38.2 0.2
借家・借間（N=741） 41.4 15.0 43.5 0.1
その他（N=1,517） 4.9 3.1 91.7 0.3
世帯構成
一人暮らし（N=1,513） 41.6 15.7 42.3 0.5
配偶者と二人暮らし（N=1,727） 62.9 11.9 25.2 0.0
配偶者以外と二人暮らし（N=591） 34.5 9.3 56.2 0.0
同居（三人以上）（N=3,274） 43.8 10.1 45.6 0.4
その他（N=1,529） 2.6 2.2 94.6 0.7
圏域
1佐賀（N=506） 46.6 11.9 40.7 0.8
2城南（N=606） 42.6 10.2 46.9 0.3
3昭栄（N=691） 44.6 10.0 44.9 0.6
4城東（N=665） 42.7 11.0 45.3 1.1
5城西（N=509） 47.2 11.4 41.3 0.2
6城北（N=617） 42.3 12.3 44.9 0.5
7金泉（N=282） 39.0 12.1 48.6 0.4
8鍋島（N=461） 44.9 8.2 46.4 0.4
9諸富・蓮池（N=416） 41.1 13.7 45.2 0.0
10大和（N=610） 43.6 10.2 45.9 0.3
11富士（N=150） 42.7 12.7 44.7 0.0
12三瀬（N=46） 52.2 6.5 41.3 0.0
13川副（N=549） 42.3 10.4 45.9 1.5
14東与賀（N=196） 37.2 8.2 53.6 1.0
15久保田（N=204） 44.6 10.3 45.1 0.0
16多久（N=686） 38.9 11.8 49.1 0.1
17小城北（N=806） 43.3 8.4 47.9 0.4
18小城南（N=479） 42.4 11.1 46.3 0.2
19神埼（N=532） 43.8 9.6 42.5 4.1
20神埼北（N=65） 43.1 6.2 49.2 1.5
21神埼南（N=362） 40.9 10.8 47.0 1.4
22吉野ヶ里（N=354） 43.8 10.2 45.2 0.8
■高い（11点以上）
■やや低い（9～10点）
□低い（8点以下）
□不明

(3) 日常生活動作（ＡＤＬ）

今回の調査では、日常生活動作（ＡＤＬ）に関する設問が項目として含まれている。内容としては、食事、ベッドでの移動、整容、トイレ動作、入浴、歩行、階段昇降、着替え、排便、排尿の10項目(資料編　資料説明(注5)参照以下同じ)で、（問６-Ｑ６～Ｑ16）、ＡＤＬ評価指標として広く用いられているバーセルインデックス(資料編　用語説明※6参照以下同じ)に準じた設問内容となっている。

各設問の配点は、自立を５～15点とし10項目の合計が100点満点となるよう評価しており、100点を「完全自立」、65～95点「一部介助」、45～60点「起居移動中心介助」、40点以下「介助」としている。

【佐賀中部広域連合の現状】

性別でみると、「完全自立」の割合は、男性51.9%、女性33.4%で男性の方が18.5ポイント高い。認定状況別では、「完全自立」割合が最も高いのは一般高齢者82.0%で、次いで二次予防対象者52.0%、要支援者27.2%、要介護者5.0%の順となっている。世帯構成別では、配偶者と二人暮らし60.3%、同居（三人以上）41.8%、一人暮らし38.5%、配偶者以外と二人暮らし30.5%の順である。

【佐賀中部内の圏域の現状】

圏域別では、「完全自立」は城西46.8%、久保田46.6%、三瀬45.7%が高くなっている。逆に小城北36.4%、多久37.0%はやや低くなっている。

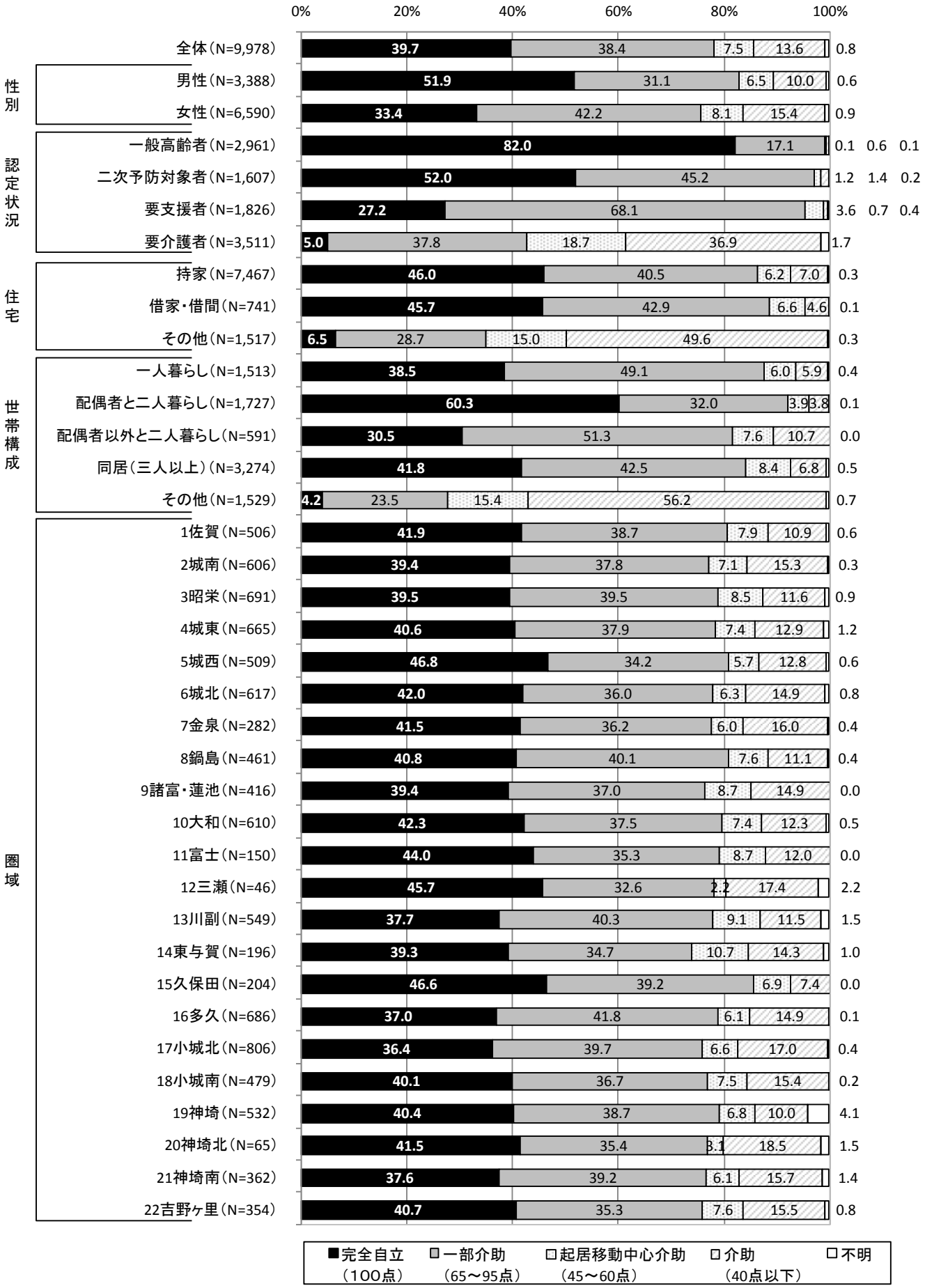
【佐賀中部の回答状況】

自立の割合の差が大きいのは、階段昇降、歩行、入浴など、比較的差が小さいのは食事、座位、整容、トイレ動作、ベッドでの移動になっている。比較的軽度の要支援認定者について自立の割合をみると、階段昇降54.5%、排尿55.2%、歩行63.7%などで低くなっており、高齢者ではこうした動作から機能低下が始まっていることがうかがえる。

（単位：%）

	設問内容(該当する回答)	非認定者(N=4,568)		認定者(N=5,337)		※非認定者と認定者の差
		一般高齢者(N=2,961)	二次予防対象者(N=1,607)	要支援者(N=1,826)	要介護者(N=3,511)	
問6－Q6	食事は自分で食べることができますか【できる】	99.6		80.5		19.1
		100.0	98.9	98.3	71.1	
問6－Q7	寝床に入るとき、何らかの介助を受けますか【受けない】	99.2		66.0		33.2
		99.8	98.1	96.9	49.8	
問6－Q8	座っていることができますか【できる】	95.4		66.7		28.7
		98.1	90.4	87.2	55.9	
問6－Q9	自分で洗面や歯磨きができますか【できる】	99.6		67.9		31.7
		100.0	98.9	98.0	52.0	
問6－Q10	自分でトイレができますか【できる】	99.6		67.5		32.1
		100.0	98.8	98.7	51.0	
問6－Q11	自分で入浴ができますか【できる】	99.0		39.9		59.1
		100.0	97.4	79.9	19.0	
問6－Q12	50m以上歩けますか【できる】	97.2		37.5		59.7
		99.8	92.3	63.7	23.8	
問6－Q13	階段を昇り降りできますか【できる】	95.7		30.1		65.6
		99.2	89.1	54.5	17.2	
問6－Q14	自分で着替えができますか【できる】	99.4		59.4		40.0
		100.0	98.4	95.4	40.6	
問6－Q15	大便の失敗がありますか【ない】	96.0		56.6		39.4
		98.7	91.0	85.2	41.5	
問6－Q16	尿もれや尿失禁がありますか【ない】	77.0		36.9		40.1
		85.7	60.8	55.2	27.1	

図表　日常生活動作（ADL）の評価



３　社会参加

(1) 知的能動性

老研式活動能力指標には、高齢者の知的活動に関する設問が４問設けられ、「知的能動性」として尺度化されている（問７-Ｑ１～Ｑ４）。

評価は、各設問に「はい」と回答した場合を１点として、４点満点の４点を「高い」、３点を「やや低い」、２点以下を「低い」と評価している。（資料編　用語説明※5参照以下同じ）

【佐賀中部広域連合の現状】

性別でみると、評価が「高い」割合は、男性48.2%、女性36.6%で男性の方が11.6ポイント高い。認定状況別では、一般高齢者77.0%、二次予防対象者59.3%、要支援者32.5%、要介護者5.6%の順で低くなっている。住宅別では、持家48.0%、借家38.1%となっている。世帯構成別では、配偶者と二人暮らし61.1%、同居（三人以上）41.6%、一人暮らし40.3%、配偶者以外と二人暮らし33.0%の順となっている。

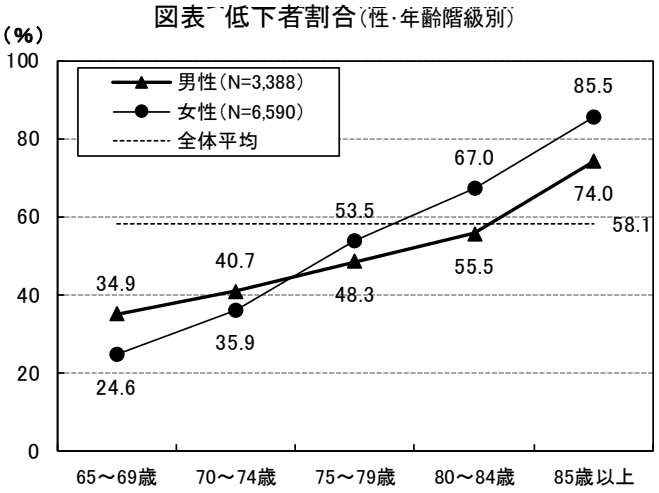
【佐賀中部内の圏域の現状】

圏域別では、佐賀48.4%で高く、小城南35.1%、東与賀35.7%で低くなっている。

【佐賀中部の回答状況】

「知的能動性」の尺度で３点以下を低下者とした評価結果をみると、70歳代前半までは男性のほうが低下者割合が高くなっているものの、70歳代後半以上では逆に女性のほうが高くなっている。また評価の基礎となっている４項目についてそれぞれの回答結果をみてみると、問７-Ｑ４を除いて一般高齢者、二次予防対象者、要支援認定者、要介護認定者でその回答結果に顕著な差がみられる。

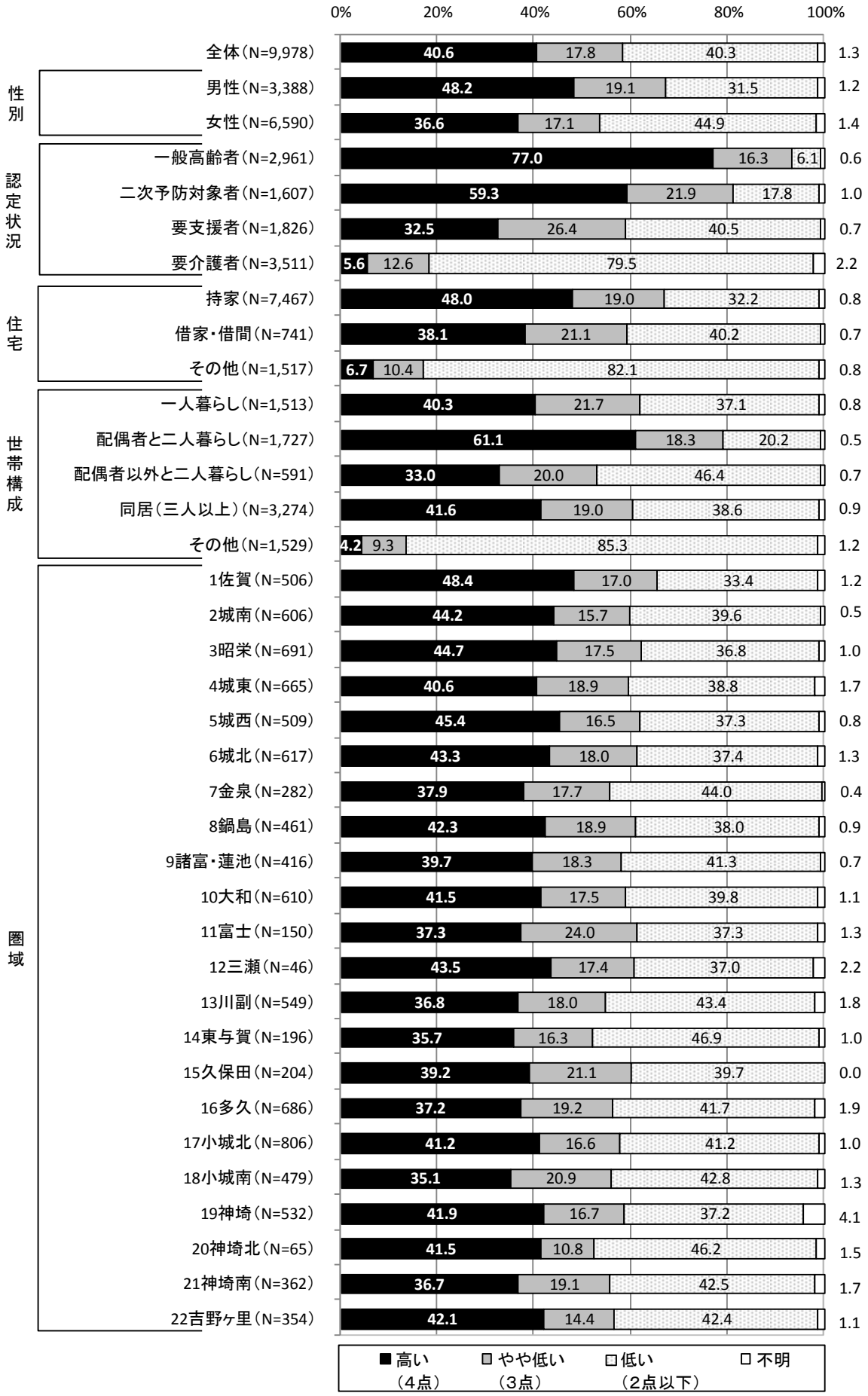
図表　低下者割合（性・年齢階級別）



（単位：%）

	設問内容（該当する回答）	非認定者（N=4,568）		認定者（N=5,337）		※非認定者の非該当率
		一般高齢者（N=2,961）	二次予防対象者（N=1,607）	要支援者（N=1,826）	要介護者（N=3,511）	
問7－Q1	年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか【はい】	92.2		27.3		7.8
		96.1	85.0	56.2	12.0	
問7－Q2	新聞を読んでいますか【はい】	92.0		49.1		8.0
		94.8	86.8	75.5	35.2	
問7－Q3	本や雑誌を読んでいますか【はい】	80.8		35.2		19.2
		85.5	72.0	53.9	25.4	
問7－Q4	健康についての記事や番組に関心がありますか【はい】	93.4		52.8		6.6
		95.1	90.2	80.7	37.8	

図表　老研式活動能力指標による知的能動性の評価



(2) 社会的役割

老研式活動能力指標には、高齢者の社会活動に関する設問が４問設けられ、「社会的役割」として尺度化されている（問７-Ｑ５・Ｑ６・Ｑ７・Ｑ８）。

評価は、知的能動性と同様に４点満点で評価し、４点を「高い」、３点を「やや低い」、２点以下を「低い」と評価している。

【佐賀中部広域連合の現状】

性別でみると、評価が「高い」割合は男性34.1%、女性27.9%で男性の方が6.2ポイント高い。認定状況別では、一般高齢者65.1%、二次予防対象者44.3%、要支援者14.3%、要介護者2.2%の順となっている。住宅別では、持家35.9%、借家25.5%となっている。世帯構成別では、配偶者と二人暮らし43.7%、同居（三人以上）32.3%、一人暮らし26.9%、配偶者以外と二人暮らし23.0%の順となっている。

【佐賀中部内の圏域の現状】

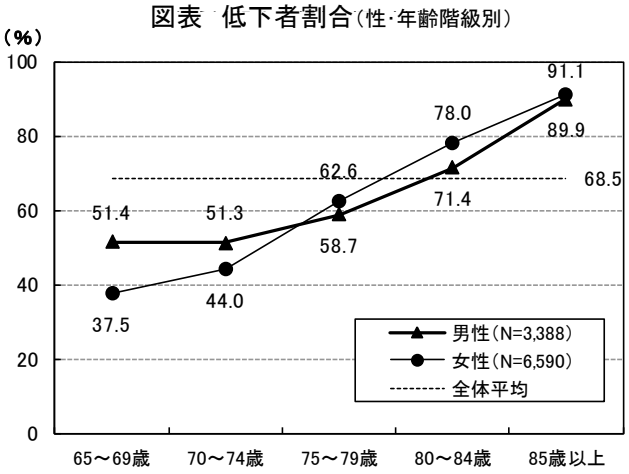
圏域別では、評価が「高い」割合は神埼北40.0%、三瀬39.1%で高くなっている。

【佐賀中部の回答状況】

「社会的役割」の尺度で３点以下を低下者とした評価結果をみると、70歳代前半までは男性の方が低下者割合が高くなっているものの、70歳代後半以降では逆に女性の方が高くなっている。

評価の基礎となっている４項目の回答結果をみてみると、知的能動性と同様、一般高齢者、二次予防対象者、要支援認定者、要介護認定者でその回答結果に顕著な差がみられる。

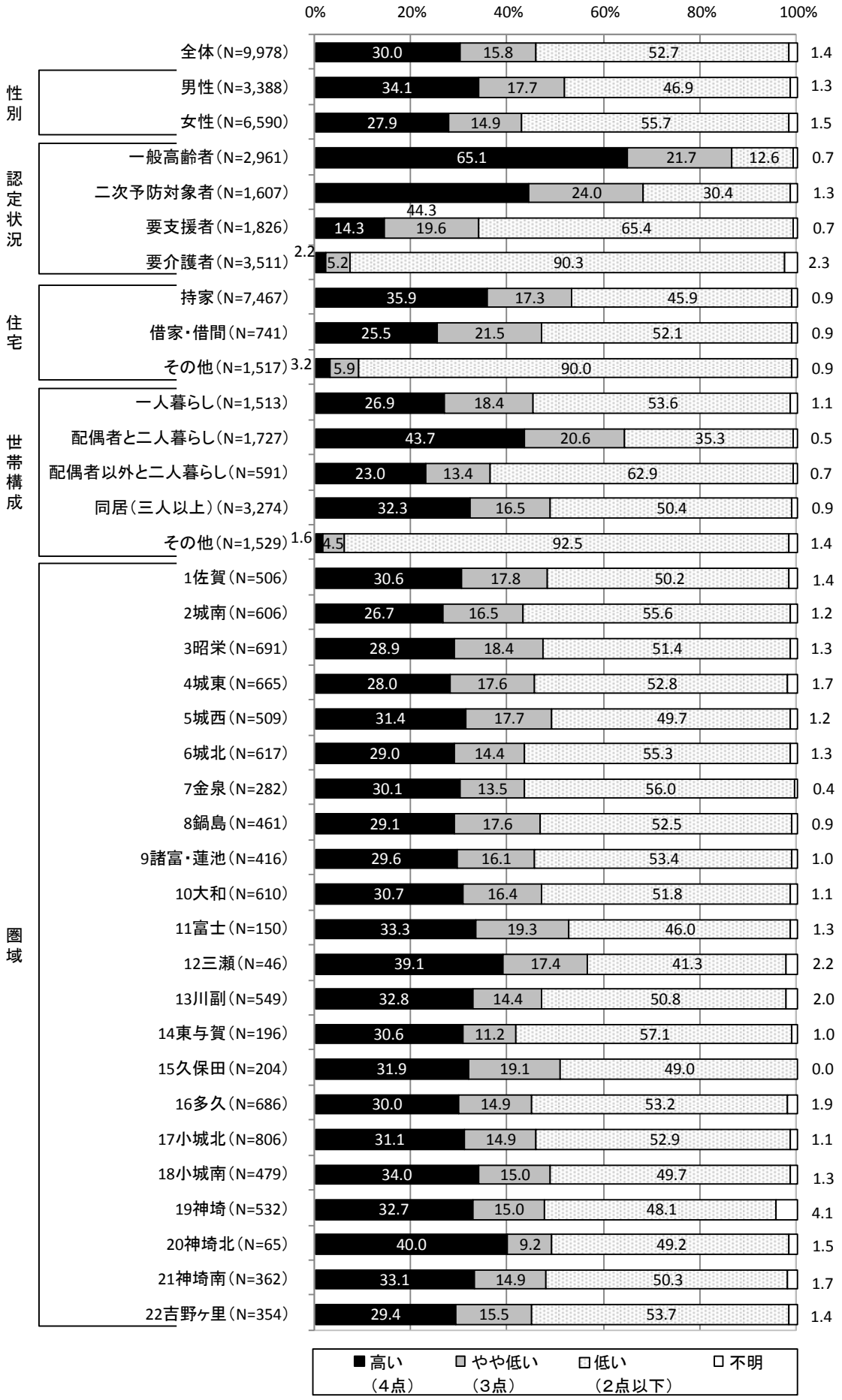
図表　低下者割合（性･年齢階級別）



（単位：%）

	設問内容（該当する回答）	非認定者（N=4,568）		認定者（N=5,337）		※非認定者と認定者の差
		一般高齢者（N=2,961）	二次予防対象者（N=1,607）	要支援者（N=1,826）	要介護者（N=3,511）	
問7－Q5	友人の家を訪ねていますか【はい】	66.6		12.6		54.0
		73.1	54.5	25.8	5.6	
問7－Q6	家族や友人の相談にのっていますか【はい】	85.0		29.1		55.9
		90.2	75.4	51.8	17.1	
問7－Q7	病人を見舞うことができますか【はい】	95.3		26.4		68.9
		98.5	89.2	49.4	14.2	
問7－Q8	若い人に自分から話しかけることがありますか【はい】	85.0		49.1		35.9
		89.3	77.0	61.2	42.6	

図表　老研式活動能力指標による社会的役割の評価



Ⅴ　健康・疾病

１　疾病

(1)高血圧

【佐賀中部広域連合の現状】

性別でみると、男性40.6%、女性41.8%でほとんど変わらない。認定状況別では、要支援者48.4%、二次予防対象者45.6%、一般高齢者40.5%、要介護者36.8%の順になっており、認定状況とは違った傾向となっている。住宅別では、持家42.9%、借家40.2%となっている。世帯構成別では、同居（三人以上）44.7%、配偶者以外と二人暮らし44.2%、一人暮らし41.2%、配偶者と二人暮らし39.8%の順となっている。

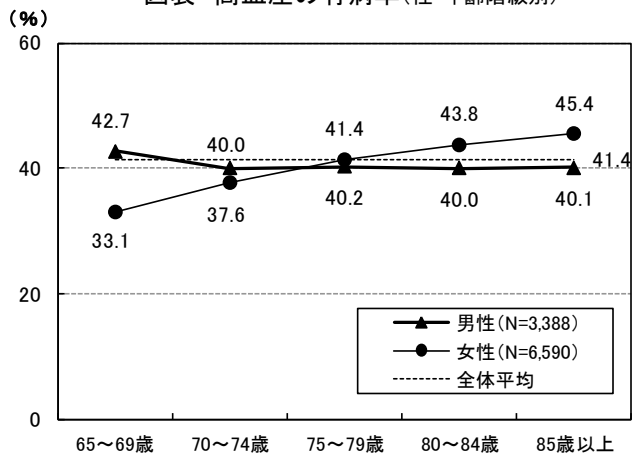
【佐賀中部内の圏域の現状】

圏域別では、三瀬54.3%、富士53.3%で該当者割合が高くなっている。

【佐賀中部の回答状況】

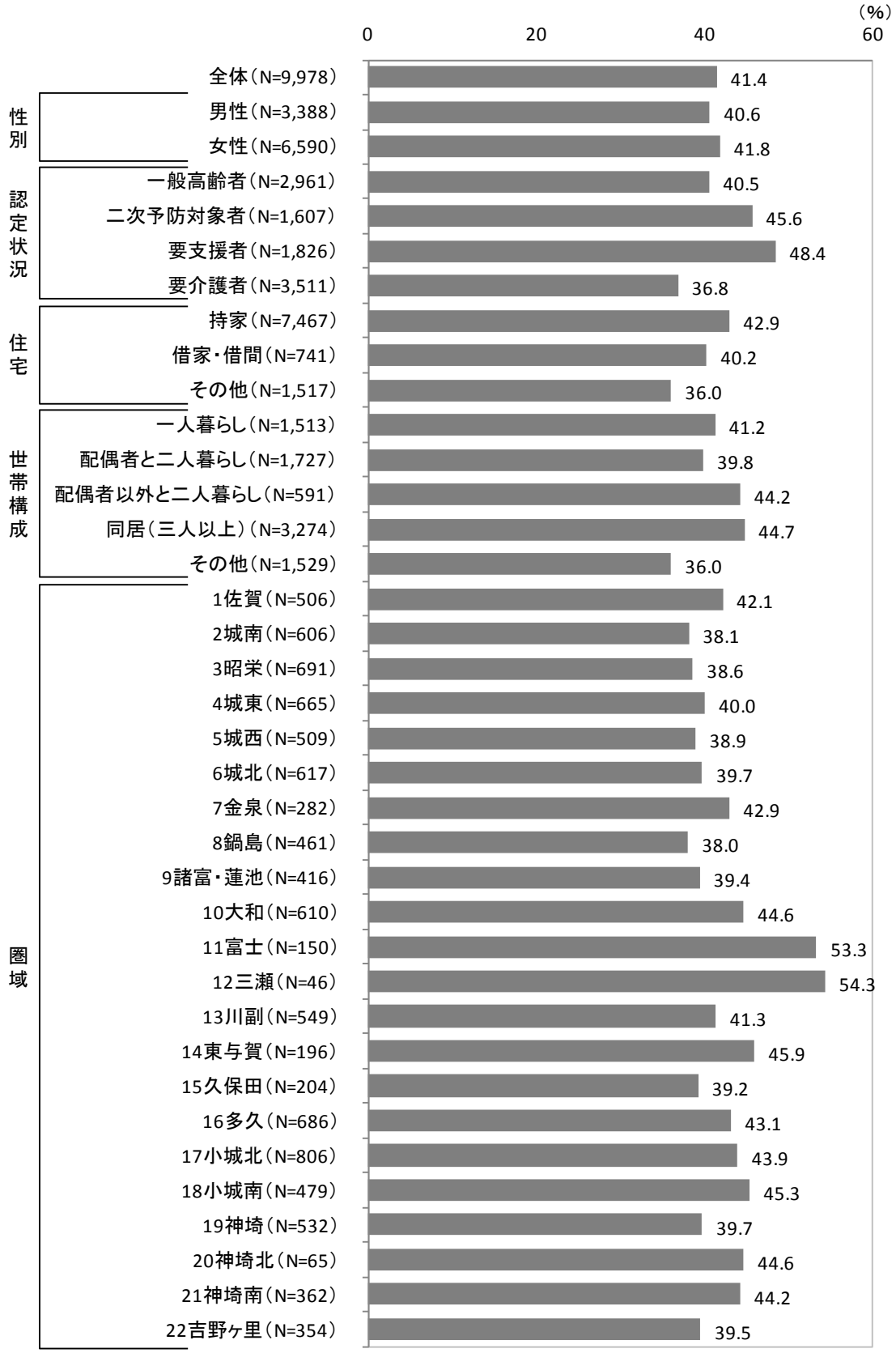
現在治療中・または後遺症がある病気で最も割合が多い「高血圧」について、現在治療中とする割合(有病率)は、全体で41.4%となっており、男性は年代を通じてほぼ40%台であるが、女性は年齢が高いほど多くなっている。

図表 高血圧の有病率(性･年齢階級別)



※有病率:現在治療中とする割合

図表　現在治療中とする病気（高血圧）



(2)脳卒中

【佐賀中部広域連合の現状】

性別でみると、男性14.5%、女性10.1%で男性の方が該当者割合が4.4ポイント高い。認定状況別では、要介護者22.4%、要支援者11.6%、二次予防対象者4.9%、一般高齢者2.5%の順で認定者の割合が高くなっている。住宅別では、持家9.5%、借家10.4%となっている。世帯構成別では、同居（三人以上）10.0%、配偶者と二人暮らし9.7%、配偶者以外と二人暮らし9.1%、一人暮らし8.1%の順となっている。

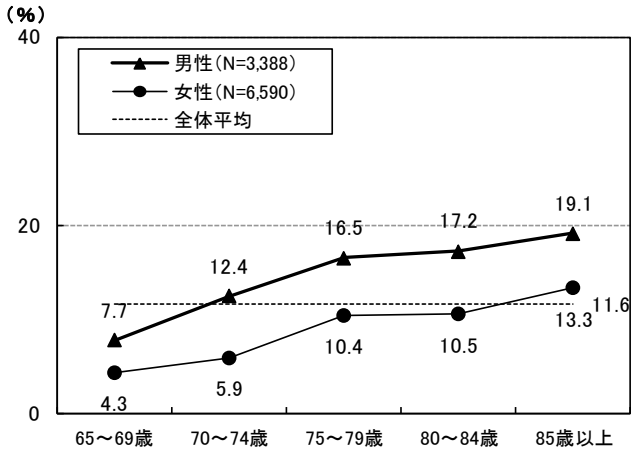
【佐賀中部内の圏域の現状】

圏域別では、三瀬15.2%、城南14.9%で該当者割合が高く、逆に、神埼8.5%、昭栄9.3%、久保田9.3%で低い。

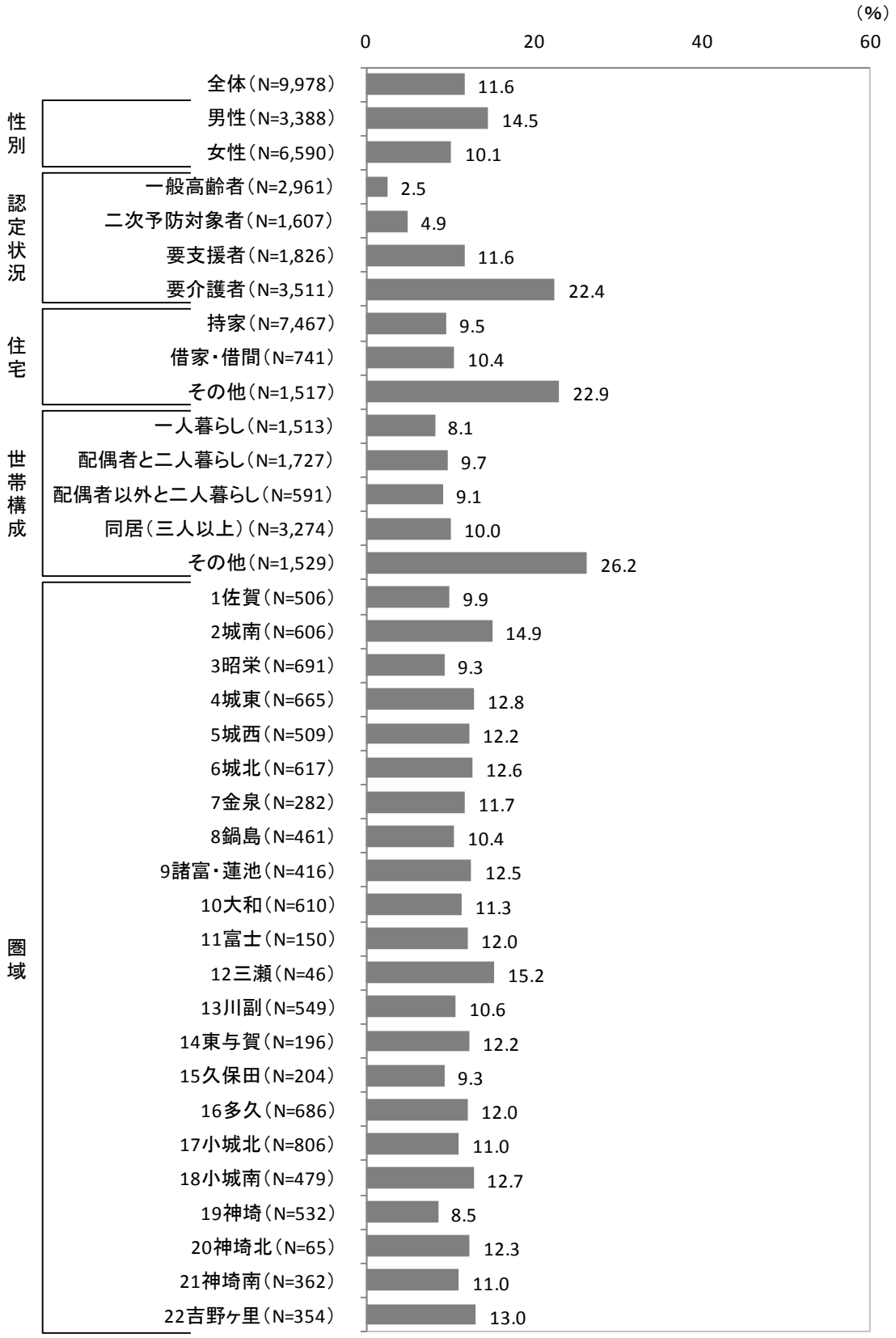
【佐賀中部の回答状況】

要介護の主な原因にもなる「脳卒中」について、現在治療中・または後遺症がある割合(有病率)は、全体で11.6%で年齢が高くなるほど多くなっており、女性より男性で高くなっている。

図表 脳卒中の有病率(性・年齢階級別)



図表　現在治療中とする病気（脳卒中）



(3) 心臓病

【佐賀中部広域連合の現状】

性別でみると、男性16.5%、女性14.9%で男性の方が1.6ポイント高い。認定状況別では、要支援者20.2%、要介護者19.4%、二次予防対象者13.5%、一般高齢者9.1%の順で高くなっている。住宅別では、持家15.1%、借家15.2%とほとんど変わらない。世帯構成別では、配偶者以外と二人暮らし17.6%、同居（三人以上）15.7%、一人暮らし15.1%、配偶者と二人暮らし13.9%の順となっている。

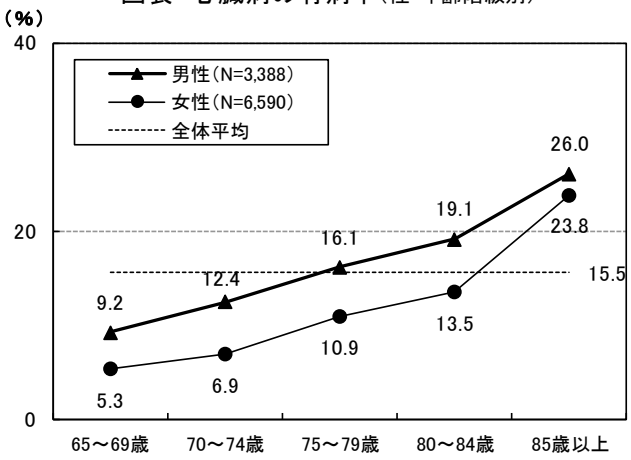
【佐賀中部内の圏域の現状】

圏域別では、城南18.0%、神埼17.9%、富士17.3%、城東17.1%が高く、三瀬8.7%が他と比べて低い。

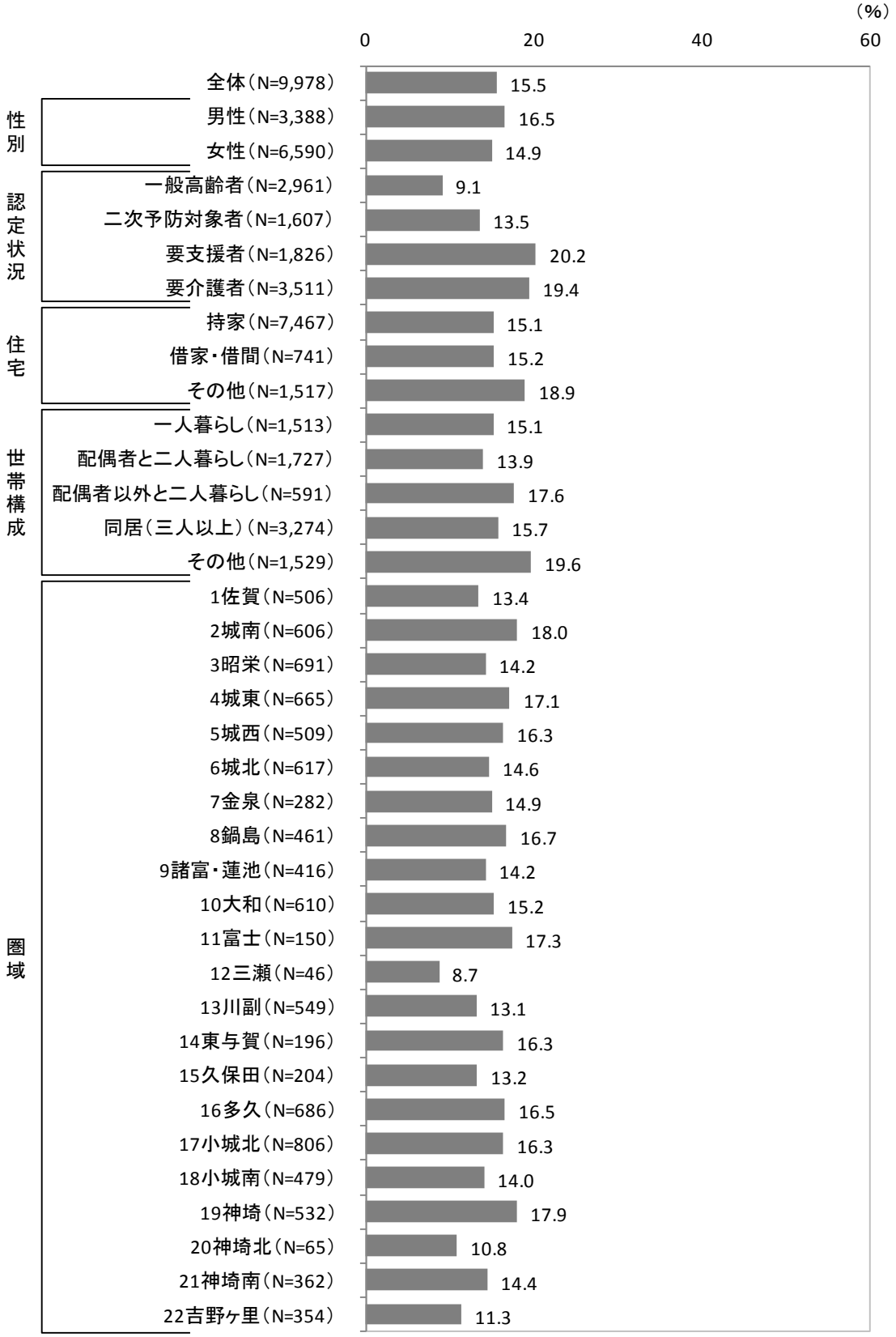
【佐賀中部の回答状況】

内蔵疾患で要介護の原因ともなる「心臓病」についてみると、現在治療中・または後遺症がある割合(有病率)は全体で15.5%で年齢が上がるほど多くなっている。どの年代でも女性より男性で多くなっている。

図表―心臓病の有病率(性・年齢階級別)



図表　現在治療中とする病気（心臓病）



(4) 糖尿病

【佐賀中部広域連合の現状】

性別でみると、男性16.8%、女性9.8%で男性の方が該当者割合が7.0ポイント高い。認定状況別では、二次予防対象者14.1%、要支援者13.4%、要介護者12.0%、一般高齢者10.6%の順で高くなっている。住宅別では、借家14.4%、持家12.2%となっている。世帯構成別では、配偶者と二人暮らし14.4%、同居（三人以上）12.7%、配偶者以外と二人暮らし11.0%、一人暮らし10.6%の順となっている。

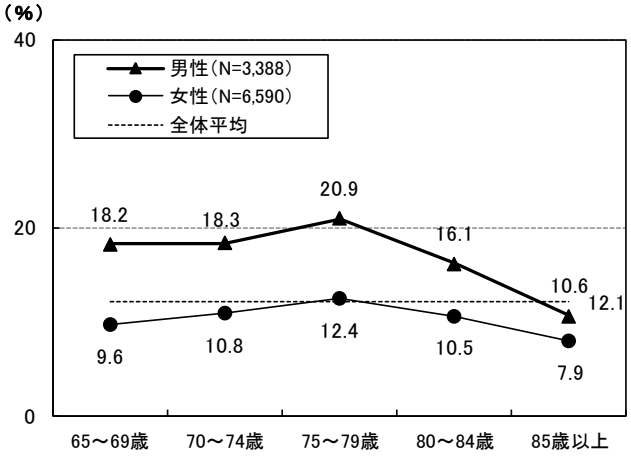
【佐賀中部内の圏域の現状】

圏域別では、三瀬19.6%で特に高く、久保田と小城南が9.8%と１割を下回っている。

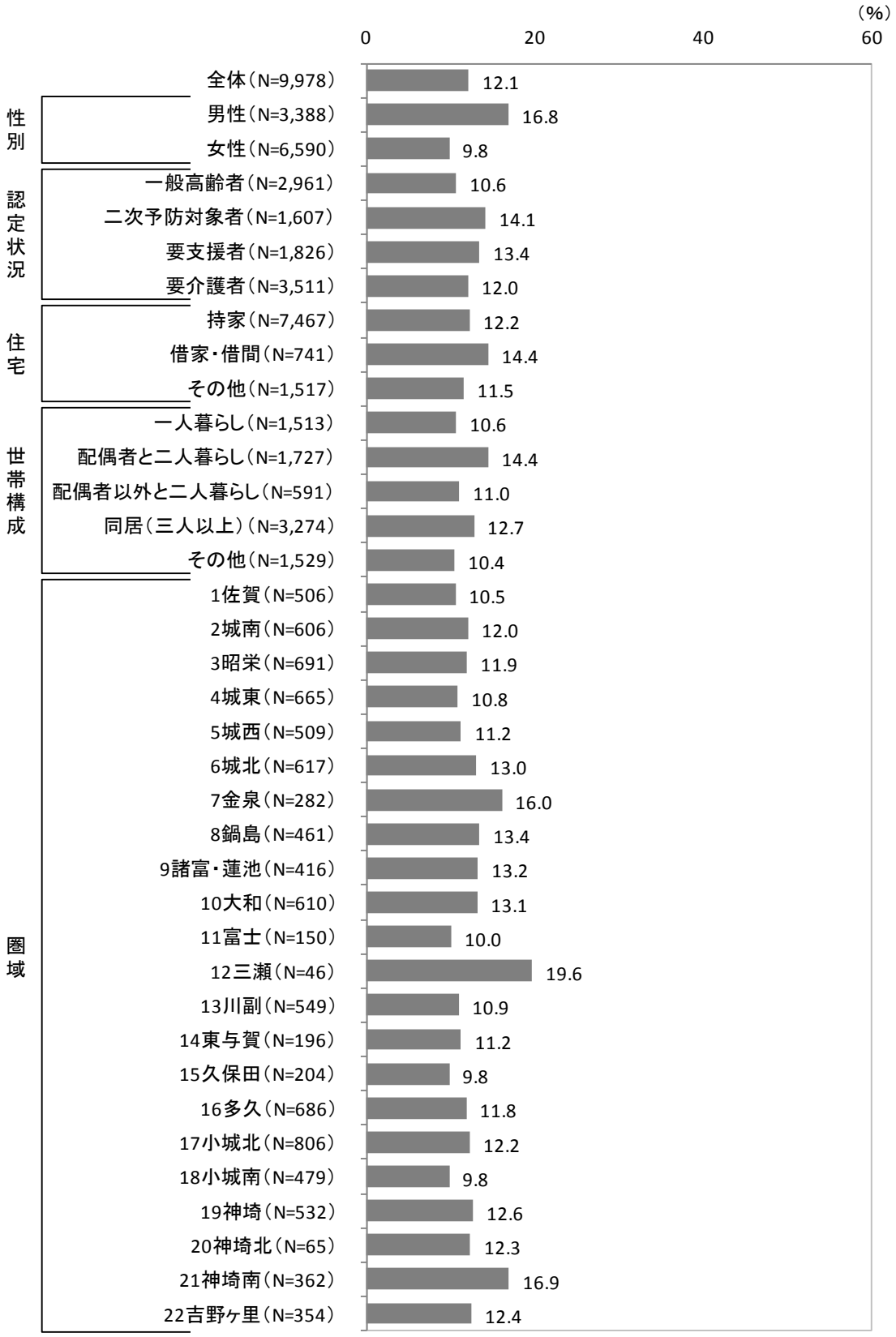
【佐賀中部の回答状況】

内蔵疾患で要介護の原因にもなる「糖尿病」についてみると、現在治療中・または後遺症がある割合(有病率)は全体で12.1%となっており、やはり女性より男性で多くなっている。年齢別にみると、男性、女性とも70歳代後半を境に減っていく傾向がみられる。

図表 糖尿病の有病率(性･年齢階級別)



図表　現在治療中とする病気（糖尿病）



(5)筋骨格系疾患

【佐賀中部広域連合の現状】

性別でみると、男性8.6%、女性23.6%で女性の方が15ポイント高く、性別での差が大きい。認定状況別では、要支援者35.8%、二次予防対象者21.5%、要介護者15.6%、一般高齢者9.9%の順になっており、要支援者の割合が特に高い。住宅別では、持家19.5%、借家17.8%となっている。世帯構成別では、一人暮らし25.8%、配偶者以外と二人暮らし25.7%、同居（三人以上）19.8%、配偶者と二人暮らし14.3%の順となっている。

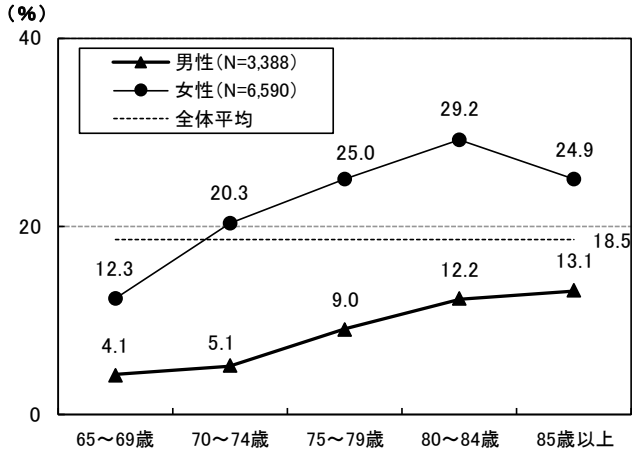
【佐賀中部内の圏域の現状】

圏域別では、佐賀23.1%、川副21.3%、吉野ヶ里21.2%で高い。

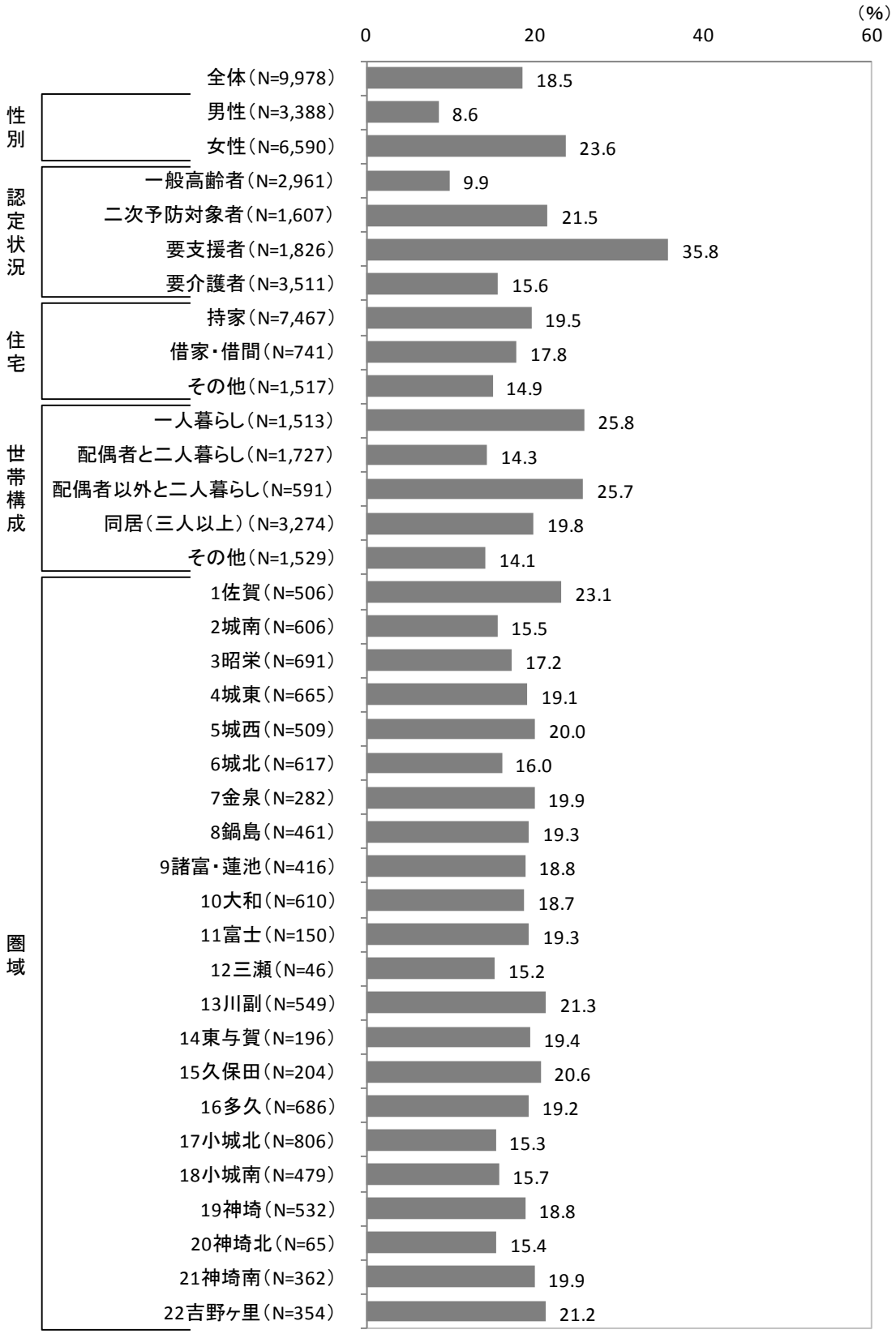
【佐賀中部の回答状況】

要介護の原因にもなる関節リウマチを含む「筋骨格系」疾患の現在治療中・または後遺症がある割合(有病率)をみると、全体では18.5%となっている。男性より女性で、また年齢が上がるほど高くなっているが、女性は80歳代前半がピークになっている。

図表 筋骨格系疾患の有病率(性・年齢階級別)



図表　現在治療中とする病気（筋骨格系疾患）



(6)がん

【佐賀中部広域連合の現状】

性別でみると、男性5.5%、女性2.9%で男性の方が2.6ポイント高い。認定状況別では、二次予防対象者4.9%、要支援者4.0%、要介護者3.8%、一般高齢者3.2%の順になっている。住宅別では、持家3.8%、借家4.5%となっている。世帯構成別では、配偶者と二人暮らし5.1%、一人暮らし4.6%、同居（三人以上）3.6%、配偶者以外と二人暮らし2.5%の順となっている。

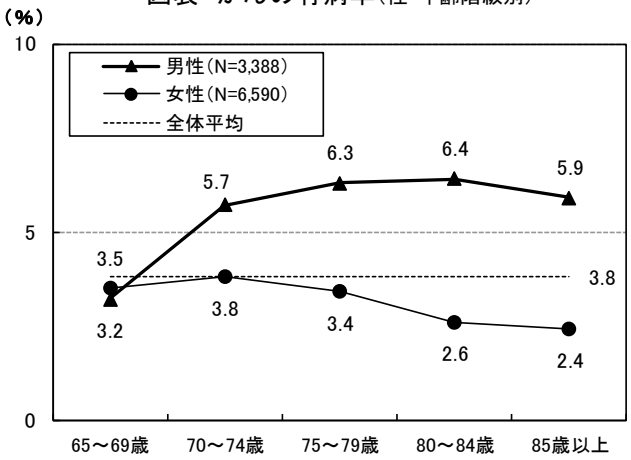
【佐賀中部内の圏域の現状】

圏域別では、久保田7.4%、城東5.6%、城北5.5%で該当者割合が高い。

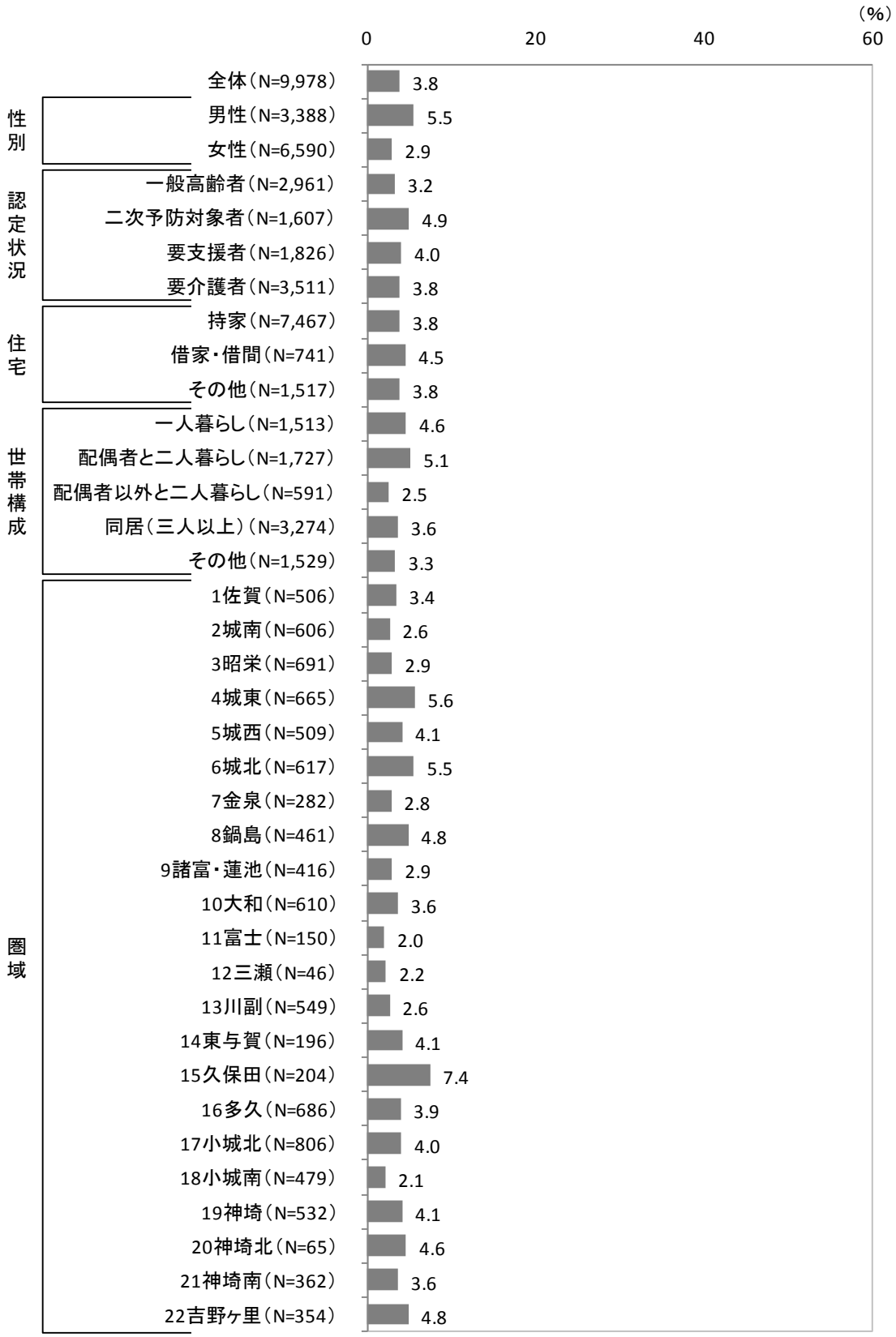
【佐賀中部の回答状況】

要介護の原因にもなる「がん（新生物）」の現在治療中・または後遺症がある割合(有病率)をみると、全体で3.8%となっており、女性より男性に多く、また男性は80歳代前半、女性は70歳代前半で有病率が最も高くなっている。

図表-がんの有病率(性・年齢階級別)



図表　現在治療中とする病気（がん）



２　自分の健康感

●主観的健康感とは、高齢者が日常生活をおくる上での健康感「（とても・まあまあ）健康から（あまり）健康でない」を調査したもので、ＱＯＬ（生活の質）の指標ともなっている。問８-Ｑ１で「（とても・まあまあ）健康」とする肯定的回答を「健康群」、「（あまり）健康でない」とする否定的回答を「不健康群」として評価した。

【佐賀中部広域連合の現状】

「とても健康」と回答した割合を性別でみると、男性9.6%、女性7.9%で男性の方が1.7ポイント高い。認定状況別では、一般高齢者16.8%、要介護者6.8%、二次予防対象者4.0%、要支援者2.5%の順になっており、要介護者で比較的割合が高くなっている。住宅別では、持家8.8%、借家8.2%となっている。世帯構成別では、配偶者と二人暮らし9.4%、同居（三人以上）8.8%、一人暮らし8.3%、配偶者以外と二人暮らし7.1%の順となっている。

【佐賀中部内の圏域の現状】

圏域別では、久保田13.7%、城北11.2%、城西10.0%で「とても健康」とする割合が高い。三瀬では「（とても・まあまあ）健康」とする肯定的回答である「健康群」が低くなっている。

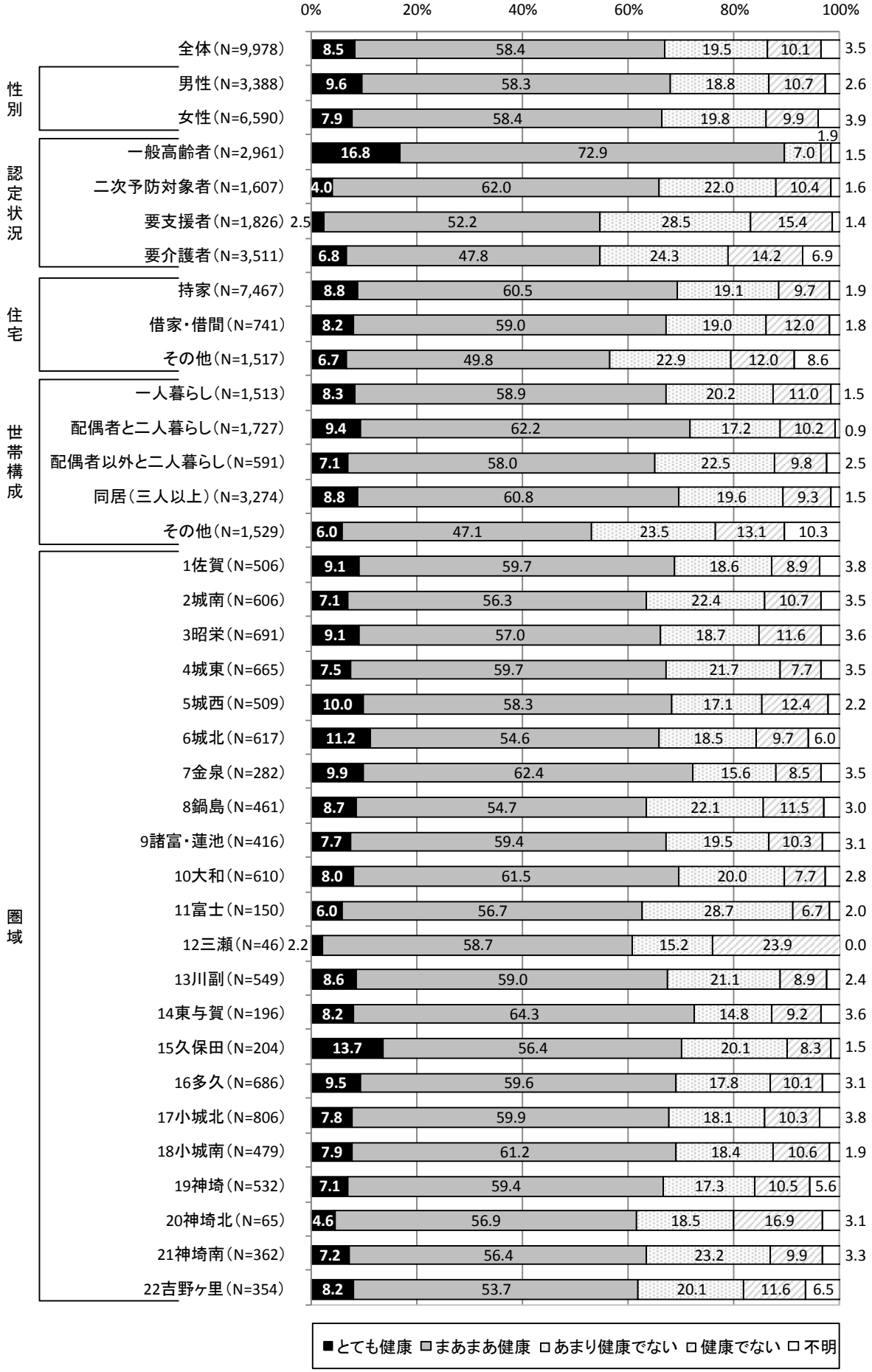
【佐賀中部の回答状況】

主観的健康感に関連する各設問に対する回答を、「健康群」と「不健康群」別にみると、両者で差が大きいのは、問８-Ｑ５・Q11・Q12・Q14などとなっており、服薬状況や抑うつ感が主観的健康感と関連していることがうかがえる。

（単位：%）

	設問内容（該当する回答）	健康群（N=6,674）		不健康群（N=2,957）		※健康群と不健康群の差
		とても健康（N=849）	まあまあ健康（N=5,825）	あまり健康でない（N=1,945）	健康でない（N=1,012）	
問1－Q4	現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか【「ややゆとりがある」または「ゆとりがある」】	44.5		35.1		9.4
		52.1	43.4	36.2	32.9	
問7－Q4	健康についての記事や番組に関心がありますか【はい】	76.8		62.6		14.2
		80.3	76.3	65.7	56.7	
問8－Q5	現在、医師の処方した薬を何種類飲んでいますか【3種類以下】	54.5		27.3		27.2
		68.4	53.0	29.1	23.8	
問8－Q6	現在、病院・医院（診療所、クリニック）に通院していますか【いいえ】	20.8		15.5		5.3
		36.5	18.6	14.6	17.4	
問8－Q10	（ここ2週間）毎日の生活に充実感がない【いいえ】	80.7		58.2		22.5
		84.4	80.2	62.8	49.3	
問8－Q11	（ここ2週間）これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった【いいえ】	87.7		62.1		25.6
		93.8	86.8	67.0	52.3	
問8－Q12	（ここ2週間）以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じられる【いいえ】	77.9		46.1		31.8
		91.8	75.9	50.5	37.4	
問8－Q13	（ここ2週間）自分が役に立つ人間だと思えない【いいえ】	83.0		60.4		22.6
		88.7	82.1	64.2	52.9	
問8－Q14	（ここ2週間）わけもなく疲れたような感じがする【いいえ】	80.4		49.0		31.4
		93.2	78.5	52.9	41.3	

図表　自分の健康感


0%
20%
40%
60%
80%
100%
全体（N=9,978） 8.5 58.4 19.5 10.1 3.5
性別
男性（N=3,388） 9.6 58.3 18.8 10.7 2.6
女性（N=6,590） 7.9 58.4 19.8 9.9 3.9
認定状況
一般高齢者（N=2,961） 16.8 72.9 7.0 1.9 1.5
二次予防対象者（N=1,607） 4.0 62.0 22.0 10.4 1.6
要支援者（N=1,826） 2.5 52.2 28.5 15.4 1.4
要介護者（N=3,511） 6.8 47.8 24.3 14.2 6.9
住宅
持家（N=7,467） 8.8 60.5 19.1 9.7 1.9
借家・借間（N=741） 8.2 59.0 19.0 12.0 1.8
その他（N=1,517） 6.7 49.8 22.9 12.0 8.6
世帯構成
一人暮らし（N=1,513） 8.3 58.9 20.2 11.0 1.5
配偶者と二人暮らし（N=1,727） 9.4 62.2 17.2 10.2 0.9
配偶者以外と二人暮らし（N=591） 7.1 58.0 22.5 9.8 2.5
同居（三人以上）（N=3,274） 8.8 60.8 19.6 9.3 1.5
その他（N=1,529） 6.0 47.1 23.5 13.1 10.3
圏域
1佐賀（N=506） 9.1 59.7 18.6 8.9 3.8
2城南（N=606） 7.1 56.3 22.4 10.7 3.5
3昭栄（N=691） 9.1 57.0 18.7 11.6 3.6
4城東（N=665） 7.5 59.7 21.7 7.7 3.5
5城西（N=509） 10.0 58.3 17.1 12.4 2.2
6城北（N=617） 11.2 54.6 18.5 9.7 6.0
7金泉（N=282） 9.9 62.4 15.6 8.5 3.5
8鍋島（N=461） 8.7 54.7 22.1 11.5 3.0
9諸富・蓮池（N=416） 7.7 59.4 19.5 10.3 3.1
10大和（N=610） 8.0 61.5 20.0 7.7 2.8
11富士（N=150） 6.0 56.7 28.7 6.7 2.0
12三瀬（N=46） 2.2 58.7 15.2 23.9 0.0
13川副（N=549） 8.6 59.0 21.1 8.9 2.4
14東与賀（N=196） 8.2 64.3 14.8 9.2 3.6
15久保田（N=204） 13.7 56.4 20.1 8.3 1.5
16多久（N=686） 9.5 59.6 17.8 10.1 3.1
17小城北（N=806） 7.8 59.9 18.1 10.3 3.8
18小城南（N=479） 7.9 61.2 18.4 10.6 1.9
19神埼（N=532） 7.1 59.4 17.3 10.5 5.6
20神埼北（N=65） 4.6 56.9 18.5 16.9 3.1
21神埼南（N=362） 7.2 56.4 23.2 9.9 3.3
22吉野ヶ里（N=354） 8.2 53.7 20.1 11.6 6.5
■とても健康 ■まあまあ健康 □あまり健康でない □健康でない □不明

Ⅵ　介護

１　介護・介助状態になった主な原因

介護・介助状態になった原因の調査結果のデータは、全調査対象者9,978人（男性:3,388人、女性:6,590人）の内、問１－Ｑ２「普段の生活で介護･介助が必要か」との問いに、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」または「現在、何らかの介護･介助を受けている」と回答した4,705人（男性:1,267人、女性:3,438人）を分析した。

(1)脳卒中

【佐賀中部広域連合の現状】

「脳卒中」が原因で介護･介助状態になったのは、全体で21.4%である。性別でみると、男性30.6%、女性18.0%で男性の方が女性より12.6ポイント高い。認定状況別では、要介護者26.6%、要支援者12.7%、一般高齢者8.3%、二次予防対象者8.1%の順になっている。住宅別では、持家18.3%、借家18.1%となっている。世帯構成別では、配偶者と二人暮らし26.2%、同居（三人以上）17.9%、配偶者以外と二人暮らし13.3%、一人暮らし11.9%の順となっている。

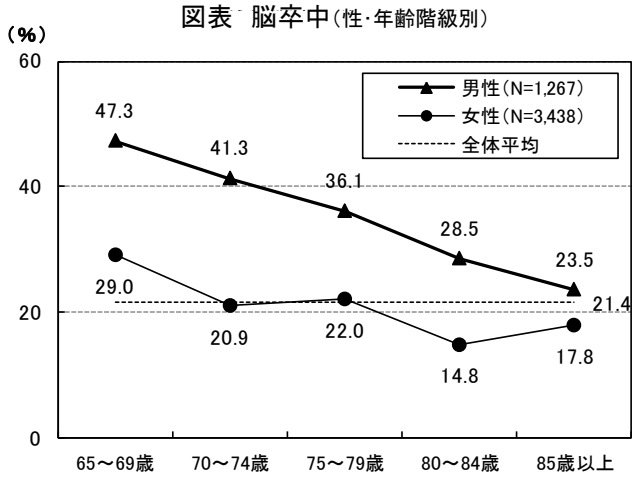
【佐賀中部内の圏域の現状】

圏域別では、三瀬38.9%で特に高く、次いで小城南27.1%、城北26.3%、城南25.8%で比較的高くなっている。また久保田は15.7%で低い。

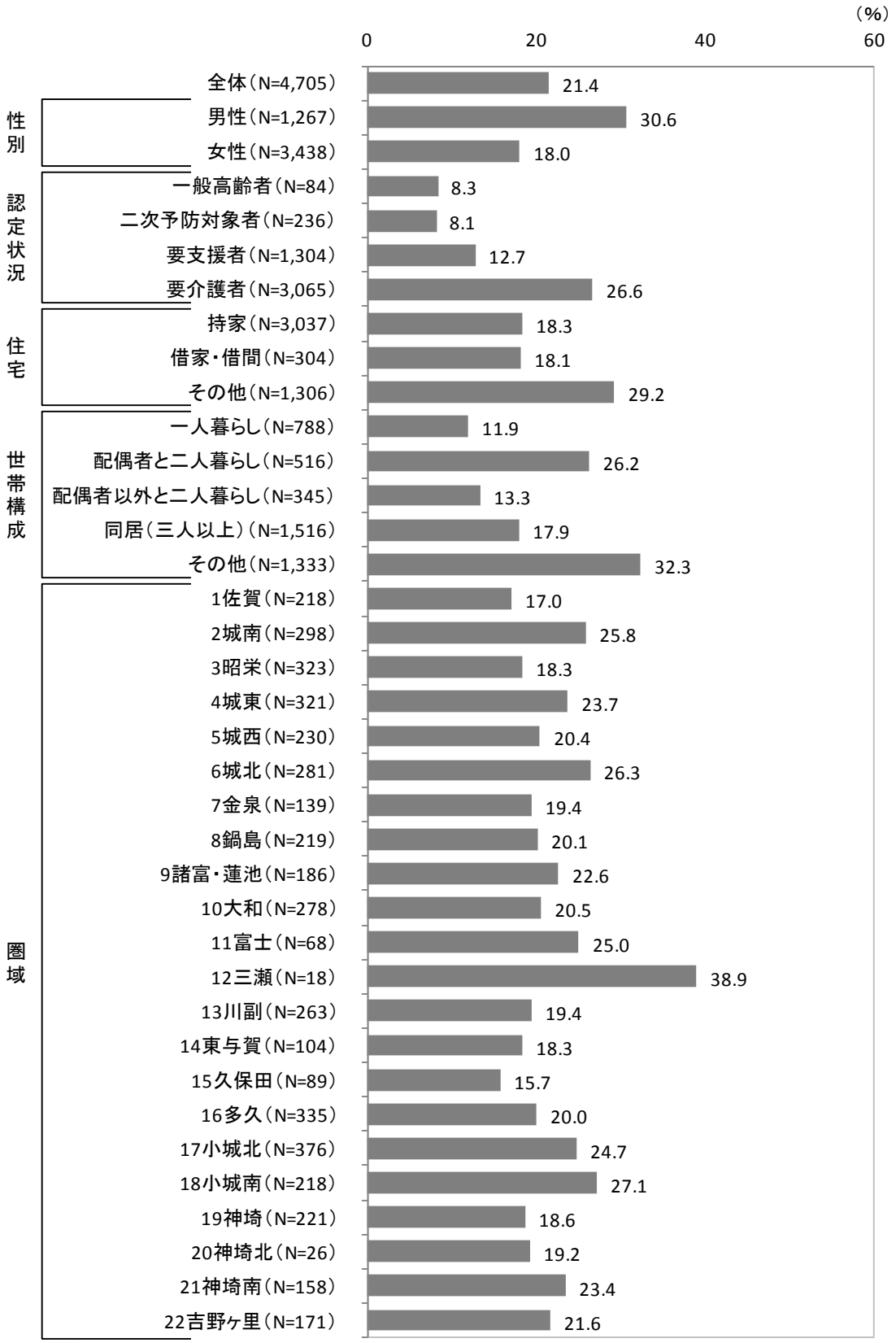
【佐賀中部の回答状況】

要介護状態になる原因で多い「脳卒中」については、全体で21.4%となっており、男性の方が女性よりその割合が高いが、ともにほぼ年齢が上がるほど低くなっている。

図表 脳卒中（性･年齢階級別）



図表　介護・介助状態になった原因（脳卒中）



(2)認知症

【佐賀中部広域連合の現状】

「認知症」が原因で介護･介助状態になったのは、全体で33.3%である。性別でみると、男性26.6%、女性35.7%で女性の方が9.1ポイント高い。認定状況別では、要介護者45.0%、要支援者11.7%、一般高齢者9.5%、二次予防対象者9.3%の順になっており、要介護者の割合が高い。住宅別では、持家26.7%、借家20.7%となっている。世帯構成別では、同居（三人以上）29.9%、配偶者以外と二人暮らし27.0%、一人暮らし24.1%、配偶者と二人暮らし20.0%の順となっている。

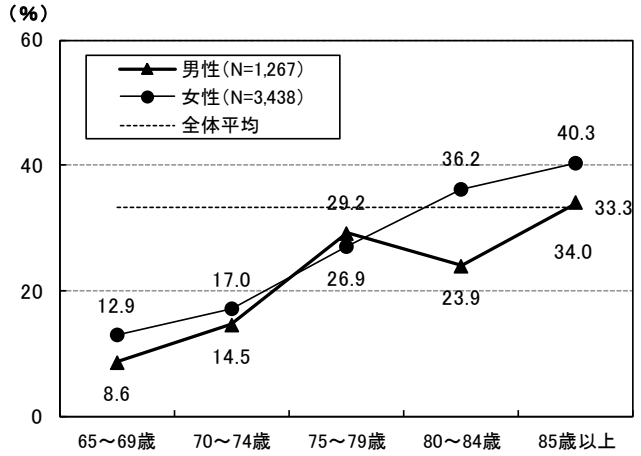
【佐賀中部内の圏域の現状】

圏域別では、大和42.4%、神埼北42.3%で高く、久保田は22.5%で「認知症」が原因で介護･介助状態になった割合が低い。

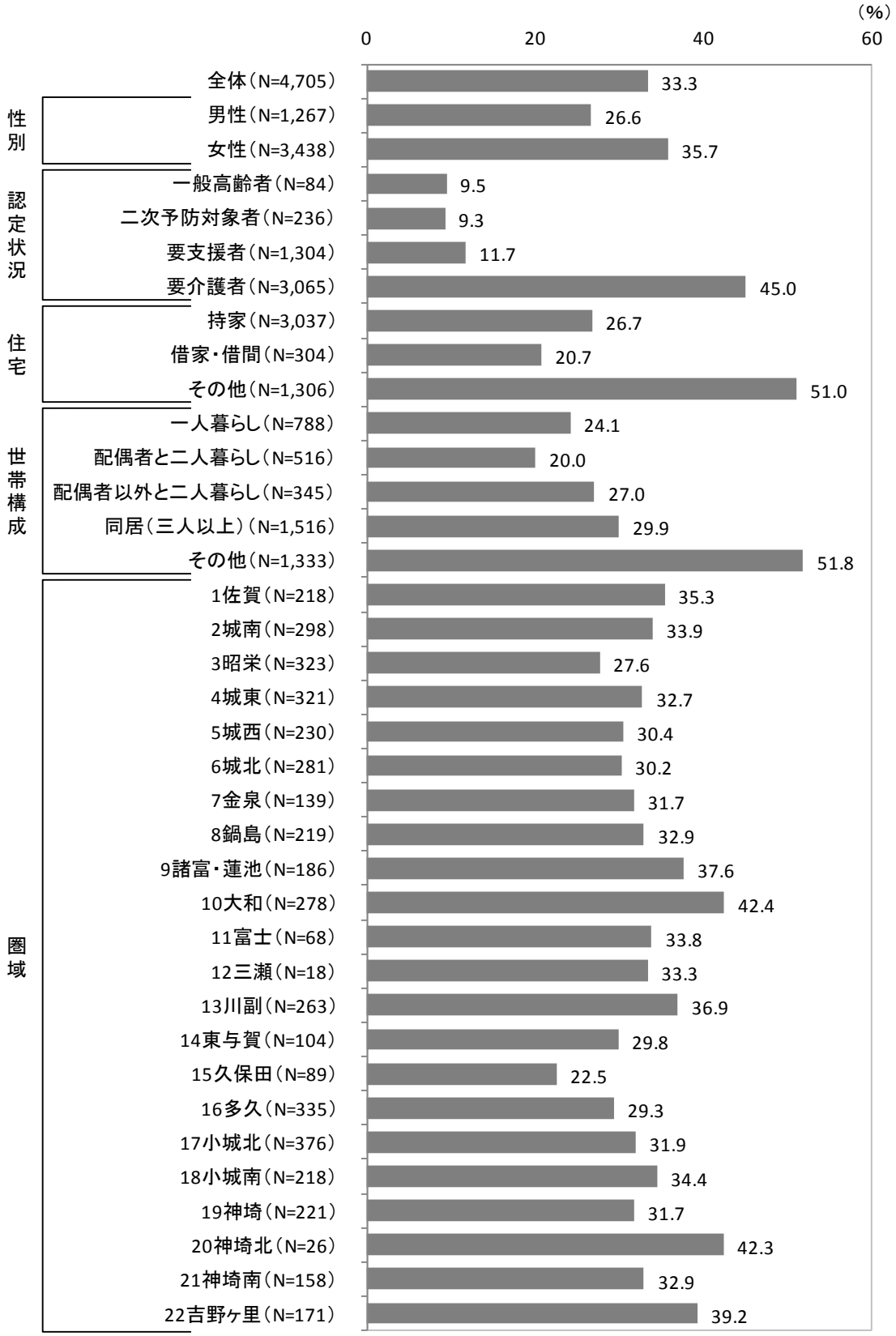
【佐賀中部の回答状況】

要介護状態になる原因の上位に位置する「認知症」については、全体で33.3%となっており、男女の差はあまり無く、概ね年齢が上がるほど高くなっている。

図表 認知症（性･年齢階級別）



図表　介護・介助状態になった原因（認知症）



(3) 骨折等

【佐賀中部広域連合の現状】

「骨折等」が原因で介護･介助状態になったのは、全体で25.9%である。性別でみると、男性16.1%、女性29.5%で女性の方が男性より13.4ポイント高い。認定状況別では、要支援者28.3%、要介護者26.0%、二次予防対象者18.2%、一般高齢者10.7%の順になっている。住宅別では、持家24.7%、借家23.7%となっている。世帯構成別では、配偶者以外と二人暮らし29.0%、一人暮らし27.9%、同居（三人以上）25.1%、配偶者と二人暮らし21.5%の順となっている。

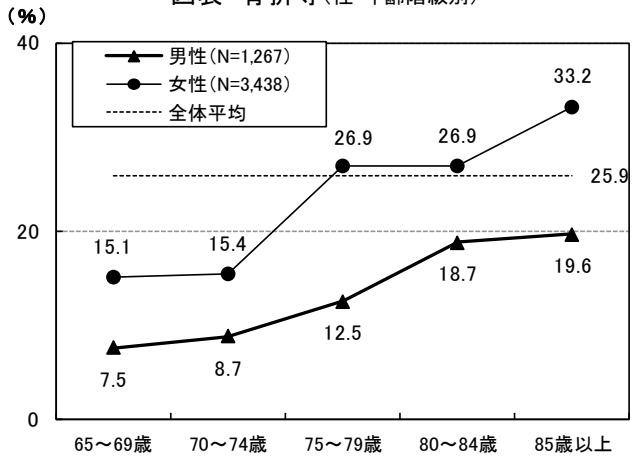
【佐賀中部内の圏域の現状】

圏域別では、神埼北34.6%、神埼南34.2%が高く、三瀬11.1%が特に低い。

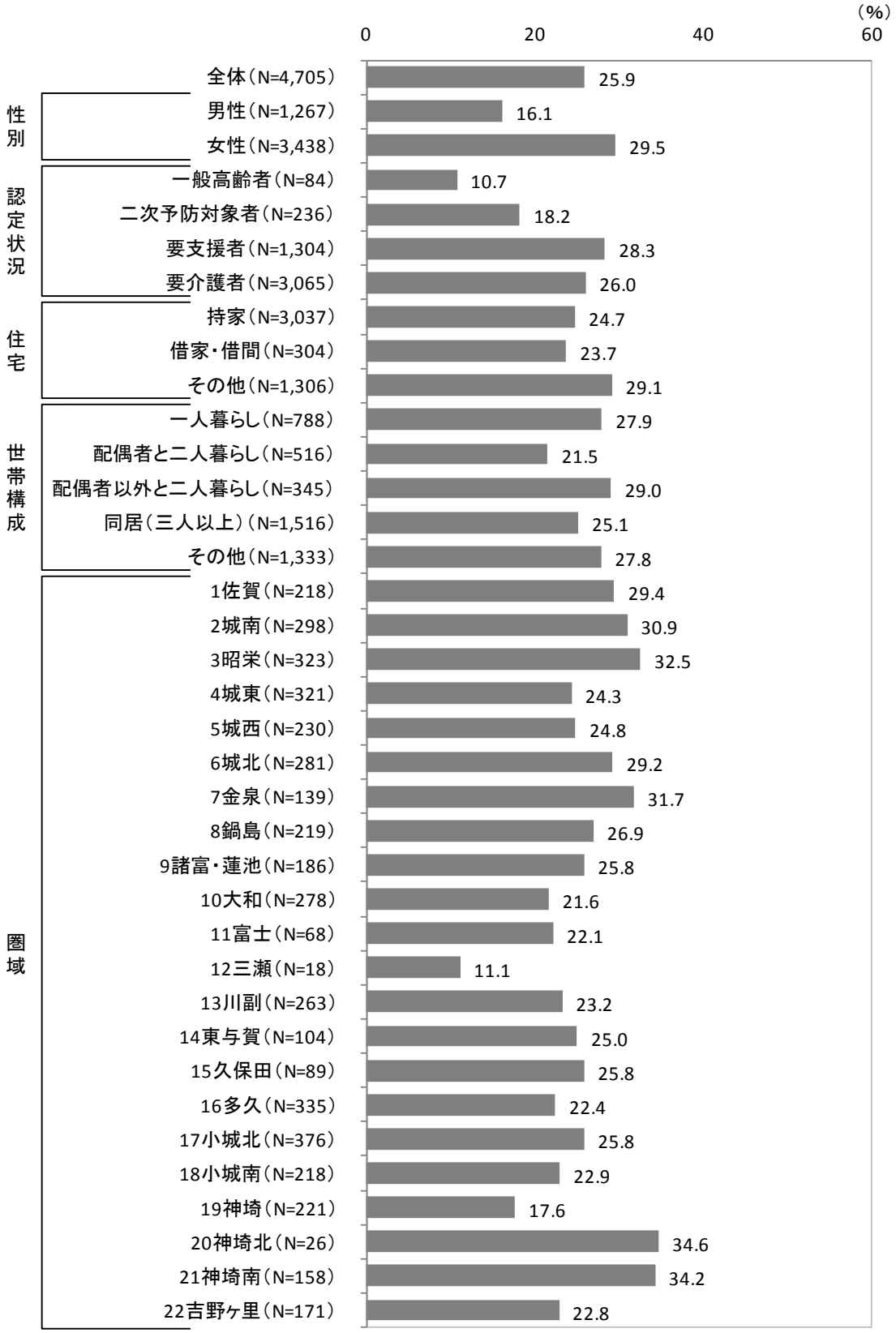
【佐賀中部の回答状況】

要介護状態になる原因の上位にある「骨折等」については、全体で25.9%となっており、女性の方が男性よりその割合が高く、ともに年齢が上がるほど高くなっている。

図表　骨折等（性･年齢階級別）



図表　介護・介助状態になった原因（骨折等）



２　介護の状況

(1) 介護の必要性

【佐賀中部広域連合の現状】

介護を必要としている該当者を性別でみると、男性37.4%、女性52.1%で女性の方が該当者割合が14.7ポイント高い。認定状況別では、要介護者87.3%、要支援者71.4%、二次予防対象者14.7%、一般高齢者2.8%の順になっている。住宅別では、借家40.7%、持家41.0%の順となっている。世帯構成別では、配偶者以外と二人暮らし58.3%、一人暮らし52.1%、同居（三人以上）46.3%、配偶者と二人暮らし29.9%の順となっている。

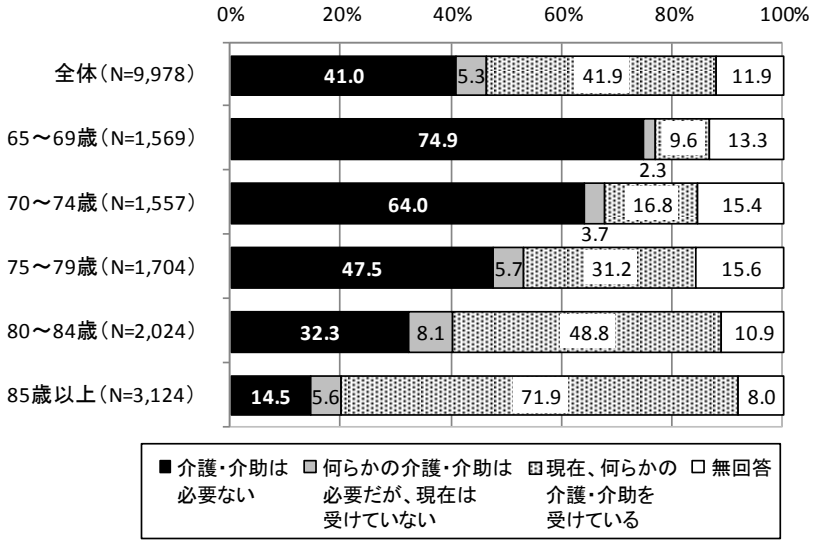
【佐賀中部内の圏域の現状】

圏域別では、東与賀53.1%で該当者割合が高く、三瀬39.1%で比較的低い。

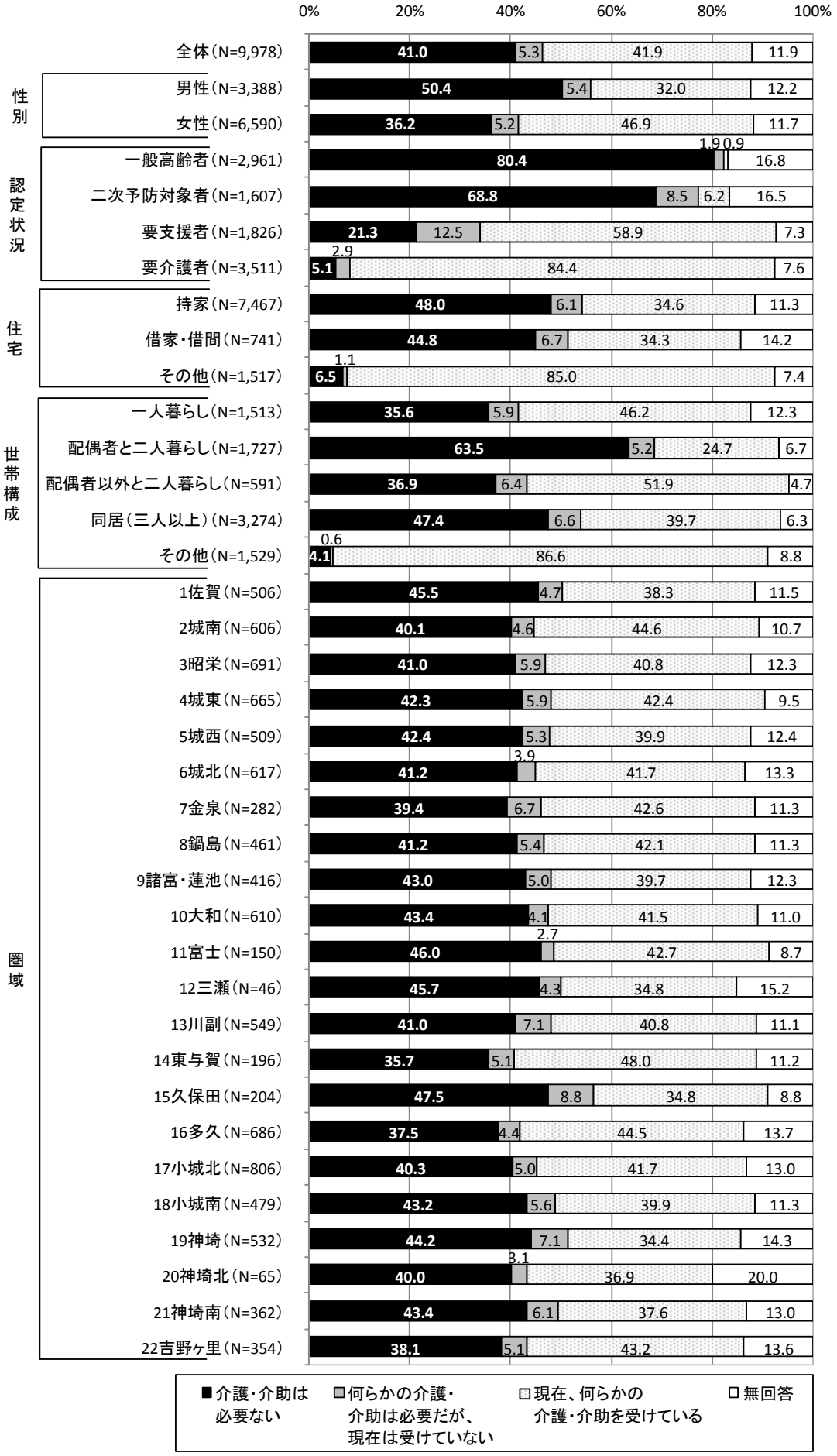
【佐賀中部の回答状況】

介護の必要性に関する設問（問１-Ｑ２）に対する回答を年齢別にみると、年齢が上がるほど「介護を受けている」の割合が高くなっている。

図表　介護必要性（年齢階級別）



図表　介護の必要性


0%
20%
40%
60%
80%
100%
全体（N=9,978） 41.0 5.3 41.9 11.9
性別
男性（N=3,388） 50.4 5.4 32.0 12.2
女性（N=6,590） 36.2 5.2 46.9 11.7
認定状況
一般高齢者（N=2,961） 80.4 1.9 0.9 16.8
二次予防対象者（N=1,607） 68.8 8.5 6.2 16.5
要支援者（N=1,826） 21.3 12.5 58.9 7.3
要介護者（N=3,511） 5.1 2.9 84.4 7.6
住宅
持家（N=7,467） 48.0 6.1 34.6 11.3
借家・借間（N=741） 44.8 6.7 34.3 14.2
その他（N=1,517） 6.5 1.1 85.0 7.4
世帯構成
一人暮らし（N=1,513） 35.6 5.9 46.2 12.3
配偶者と二人暮らし（N=1,727） 63.5 5.2 24.7 6.7
配偶者以外と二人暮らし（N=591） 36.9 6.4 51.9 4.7
同居（三人以上）（N=3,274） 47.4 6.6 39.7 6.3
その他（N=1,529） 4.1 0.6 86.6 8.8
圏域
1佐賀（N=506） 45.5 4.7 38.3 11.5
2城南（N=606） 40.1 4.6 44.6 10.7
3昭栄（N=691） 41.0 5.9 40.8 12.3
4城東（N=665） 42.3 5.9 42.4 9.5
5城西（N=509） 42.4 5.3 39.9 12.4
6城北（N=617） 41.2 3.9 41.7 13.3
7金泉（N=282） 39.4 6.7 42.6 11.3
8鍋島（N=461） 41.2 5.4 42.1 11.3
9諸富・蓮池（N=416） 43.0 5.0 39.7 12.3
10大和（N=610） 43.4 4.1 41.5 11.0
11富士（N=150） 46.0 2.7 42.7 8.7
12三瀬（N=46） 45.7 4.3 34.8 15.2
13川副（N=549） 41.0 7.1 40.8 11.1
14東与賀（N=196） 35.7 5.1 48.0 11.2
15久保田（N=204） 47.5 8.8 34.8 8.8
16多久（N=686） 37.5 4.4 44.5 13.7
17小城北（N=806） 40.3 5.0 41.7 13.0
18小城南（N=479） 43.2 5.6 39.9 11.3
19神埼（N=532） 44.2 7.1 34.4 14.3
20神埼北（N=65） 40.0 3.1 36.9 20.0
21神埼南（N=362） 43.4 6.1 37.6 13.0
22吉野ヶ里（N=354） 38.1 5.1 43.2 13.6
■介護・介助は必要ない
□何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
□現在、何らかの介護・介助を受けている
□無回答

(2)介護者（主にどなたの介護・介助をうけているか）

介護者の調査結果の基本データは、全調査対象者9,978人（男性:3,388人、女性:6,590人）の内、問１-Ｑ２「普段の生活で介護･介助が必要か」との問に、「現在、何らかの介護･介助を受けている」と回答した4,177人（男性:1,083人、女性:3,094人）を分析した。

【佐賀中部広域連合の現状】

性別でみると、男性は配偶者（夫･妻）42.1%、娘9.4%、介護サービスのヘルパー18.2%などとなっており、女性は介護サービスのヘルパー23.8%、娘16.3%、子の配偶者12.2%などとなっている。

【佐賀中部内の圏域の現状】

圏域別では、介護サービスのヘルパーの割合が三瀬62.5%、佐賀30.9%と他圏域と比べて比較的高く、久保田7.0%、富士9.4%で低い。

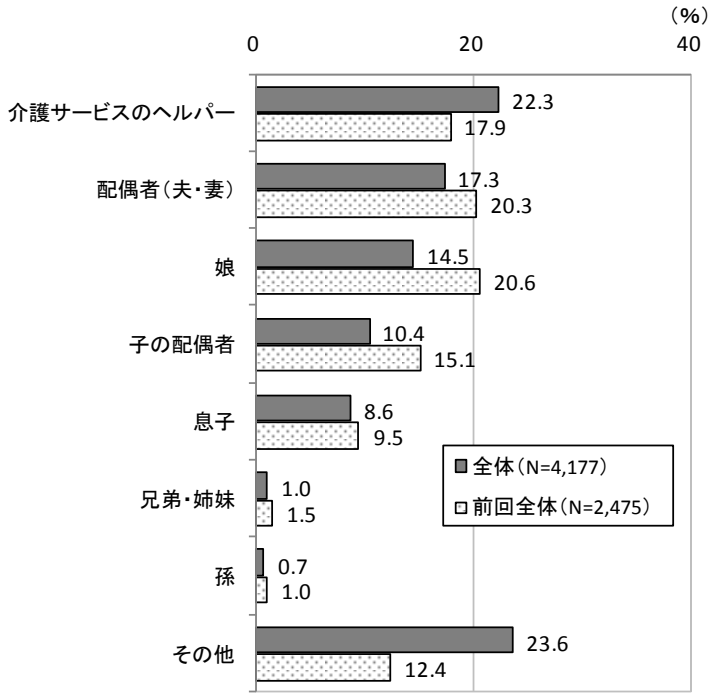
【佐賀中部の回答状況】

「介護を受けている」と回答した者の介護者は、介護サービスのヘルパー22.3%が最も多く、次いで配偶者（夫･妻）17.3%、娘14.5%となっている。

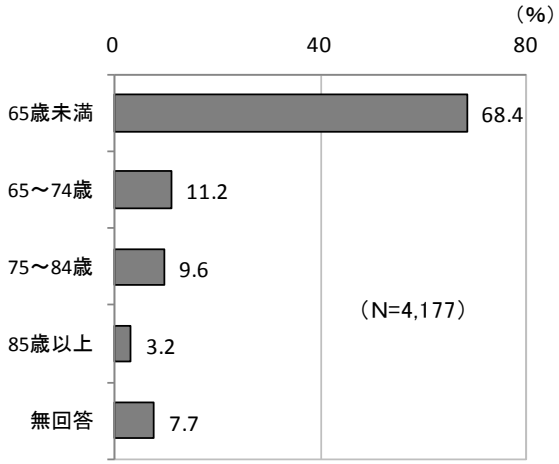
前回と比較すると、介護サービスのヘルパーは増加しているが、身内では減少している、

介護者の年齢は、65歳未満が68.4%と圧倒的に多く、次いで65～74歳11.2%、75～84歳9.6%、85歳以上3.2%となっている。いわゆる老老介護が全体の約４分の１となっている。

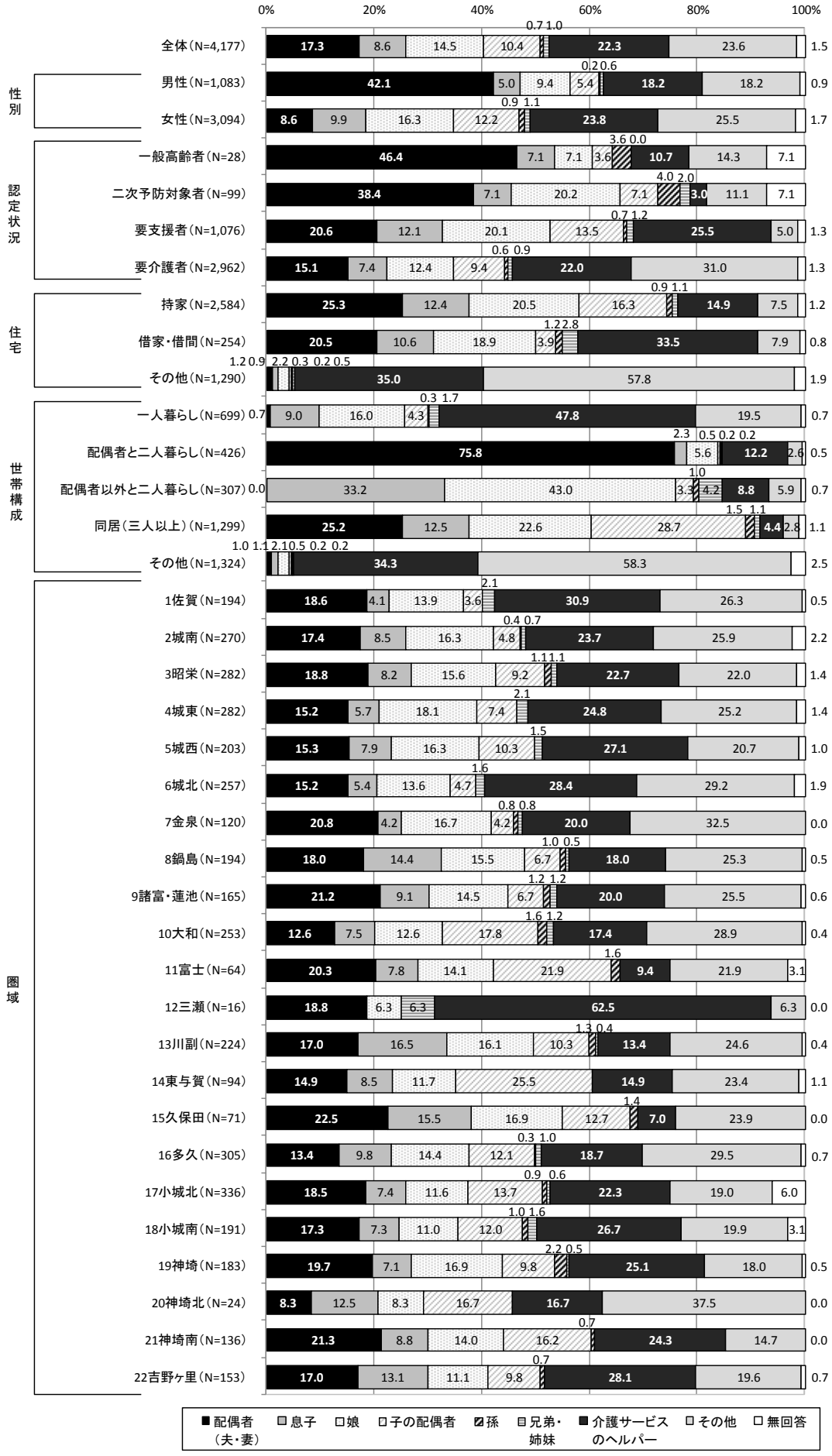
図表　介護者



図表　介護者の年齢



図表　主な介護者


0%
20%
40%
60%
80%
100%
性別
認定状況
住宅
世帯構成
圏域
全体（N=4,177）
男性（N=1,083）
女性（N=3,094）
一般高齢者（N=28）
二次予防対象者（N=99）
要支援者（N=1,076）
要介護者（N=2,962）
持家（N=2,584）
借家・借間（N=254）
その他（N=1,290）
一人暮らし（N=699）
配偶者と二人暮らし（N=426）
配偶者以外と二人暮らし（N=307）
同居（三人以上）（N=1,299）
その他（N=1,324）
1佐賀（N=194）
2城南（N=270）
3昭栄（N=282）
4城東（N=282）
5城西（N=203）
6城北（N=257）
7金泉（N=120）
8鍋島（N=194）
9諸富・蓮池（N=165）
10大和（N=253）
11富士（N=64）
12三瀬（N=16）
13川副（N=224）
14東与賀（N=94）
15久保田（N=71）
16多久（N=305）
17小城北（N=336）
18小城南（N=191）
19神埼（N=183）
20神埼北（N=24）
21神埼南（N=136）
22吉野ヶ里（N=153）
■配偶者（夫・妻）
■息子
□娘
□子の配偶者
■孫
■兄弟・姉妹
■介護サービスのヘルパー
□その他
□無回答

(3) 利用している在宅サービス

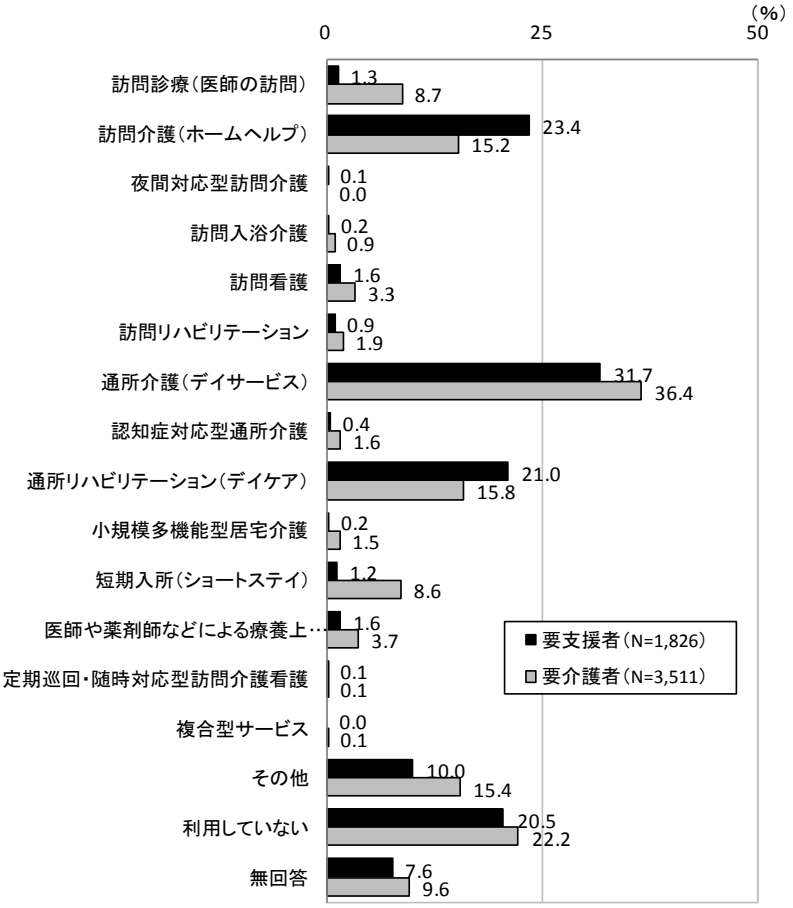
【佐賀中部広域連合の現状】

要介護認定者が利用している在宅サービスとしては、「通所介護（デイサービス）」が36.4%で最も多く、「通所リハビリテーション（デイケア）」15.8%、「訪問介護（ホームヘルプ）」15.2%、「訪問診療（医師の訪問）」8.7%、「短期入所（ショートステイ）」8.6%の順となっている。

【佐賀中部内の圏域の現状】

圏域別では、全圏域で「通所介護（デイサービス）」が１位で、神埼北24.6%、東与賀23.5%ではその割合が高い。次いで、どこの圏域でも「訪問介護（ホームヘルプ）」、「通所リハビリテーション（デイケア）」が２位か３位となっている。

図表　利用している在宅サービス（要介護・要支援別）



図表　利用している在宅サービス（圏域別）

（単位：%）

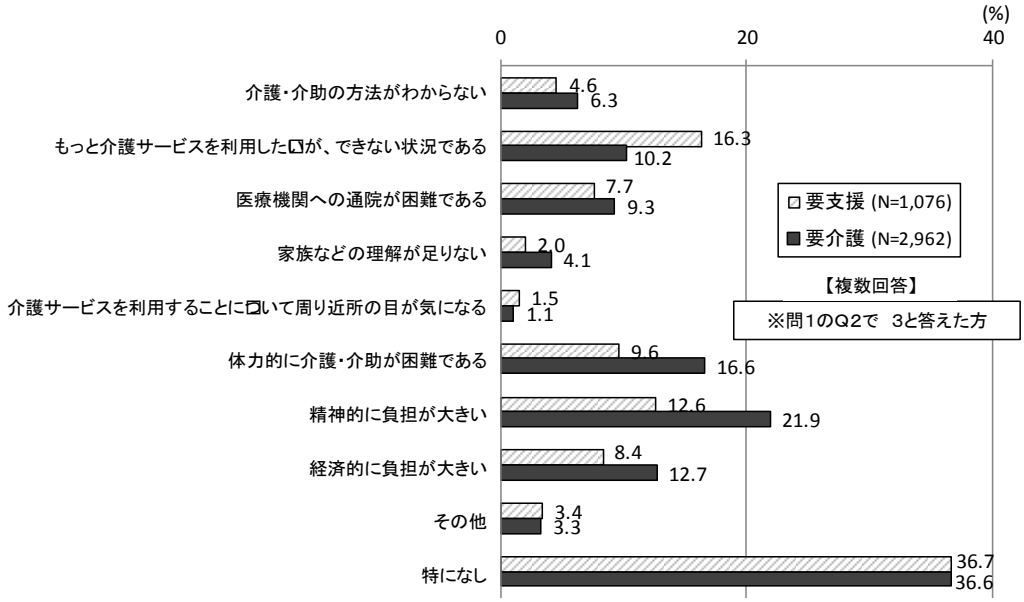
	1位		2位		3位	
佐賀広域連合全体	**通所介護（デイサービス）**	**19.0**	**訪問介護（ホームヘルプ）**	**9.7**	**通所リハビリテーション（デイケア）**	**9.6**
1 佐賀	通所介護（デイサービス）	16.4	訪問介護（ホームヘルプ）	15.2	通所リハビリテーション（デイケア）	6.1
2 城南	通所介護（デイサービス）	19.1	訪問介護（ホームヘルプ）	13.0	通所リハビリテーション（デイケア）	9.1
3 昭栄	通所介護（デイサービス）	20.7	訪問介護（ホームヘルプ）	13.6	通所リハビリテーション（デイケア）	7.1
4 城東	通所介護（デイサービス）	18.9	訪問介護（ホームヘルプ）	12.0	通所リハビリテーション（デイケア）	8.6
5 城西	通所介護（デイサービス）	18.7	訪問介護（ホームヘルプ）	12.0	通所リハビリテーション（デイケア）	7.7
6 城北	通所介護（デイサービス）	16.4	訪問介護（ホームヘルプ）	12.6	通所リハビリテーション（デイケア）	9.6
7 金泉	通所介護（デイサービス）	19.9	訪問介護（ホームヘルプ）	11.3	通所リハビリテーション（デイケア）	8.5
8 鍋島	通所介護（デイサービス）	18.0	訪問介護（ホームヘルプ）	10.2	通所リハビリテーション（デイケア）	9.5
9 諸富・蓮池	通所介護（デイサービス）	16.1	通所リハビリテーション（デイケア）	12.5	訪問介護（ホームヘルプ）	7.7
10 大和	通所介護（デイサービス）	21.3	通所リハビリテーション（デイケア）	9.3	訪問介護（ホームヘルプ）	6.4
11 富士	通所介護（デイサービス）	21.3	通所リハビリテーション（デイケア）	10.7	訪問介護（ホームヘルプ）	6.7
12 三瀬	通所介護（デイサービス）	10.9	通所リハビリテーション（デイケア）	8.7	訪問介護（ホームヘルプ）	8.7
13 川副	通所介護（デイサービス）	22.0	通所リハビリテーション（デイケア）	7.8	訪問介護（ホームヘルプ）	4.9
14 東与賀	通所介護（デイサービス）	23.5	通所リハビリテーション（デイケア）	12.2	訪問介護（ホームヘルプ）	6.1
15 久保田	通所介護（デイサービス）	14.7	通所リハビリテーション（デイケア）	11.3	訪問介護（ホームヘルプ）	4.9
16 多久	通所介護（デイサービス）	14.7	通所リハビリテーション（デイケア）	10.9	訪問介護（ホームヘルプ）	9.8
17 小城北	通所介護（デイサービス）	14.9	通所リハビリテーション（デイケア）	12.0	訪問介護（ホームヘルプ）	5.0
18 小城南	通所介護（デイサービス）	16.7	通所リハビリテーション（デイケア）	9.2	訪問介護（ホームヘルプ）	4.6
19 神埼	通所介護（デイサービス）	18.6	通所リハビリテーション（デイケア）	10.2	訪問介護（ホームヘルプ）	9.8
20 神埼北	通所介護（デイサービス）	24.6	通所リハビリテーション（デイケア）	10.8	短期入所（ショートステイ）	7.7
21 神埼南	通所介護（デイサービス）	22.4	通所リハビリテーション（デイケア）	8.8	短期入所（ショートステイ）	5.8
22 吉野ヶ里	通所介護（デイサービス）	15.3	通所リハビリテーション（デイケア）	12.1	訪問介護（ホームヘルプ）	7.9

(4)介護・介助をする上で困っていること【要支援者・要介護者のみ】

【佐賀中部広域連合の現状】

介護･介助をする上で困っていることは、「特になし」が最も多くなっているが、それ以外では要介護者で「精神的に負担が大きい」が21.9%で最も多く、次いで「体力的に介護･介助が困難である」16.6%となっている。要支援者では「もっと介護サービスを利用したいが、できない状況である」16.3%が最も多い。

図表 介護・介助をする上で困っていること



図表 介護・介助をする上で困っていること（性別・年齢別・介護度別）

	問11 Q1. 介護･介助している上で困っていること(複数回答) ※問1のQ2－2の該当者									
要支援:N=1,076 要介護:N=2,962 （合計）:N=4,038	介護・介助の方法がわからない	もっと介護サービスを利用したいが、できない状況がある	医療機関への通院が困難である	家族などの理解が足りない	介護サービスを利用することについて周り近所の目が気になる	体力的に介護・介助が困難である	精神的に負担が大きい	経済的に負担が大きい	その他	特になし
性別 男性	6.3	14.5	10.0	2.7	1.1	22.3	**22.4**	13.5	3.5	32.2
性別 女性	5.7	10.9	8.5	3.8	1.2	12.1	**18.4**	10.9	3.3	38.1
年齢別 65～69歳	5.5	14.8	9.4	3.1	0.8	17.2	**19.5**	17.2	4.7	31.3
年齢別 70～74歳	9.0	12.3	9.8	4.1	2.9	18.4	**23.4**	16.0	4.5	32.4
年齢別 75～79歳	6.9	13.3	10.5	4.2	1.0	17.3	**21.8**	12.9	3.0	30.0
年齢別 80～84歳	7.4	13.9	10.4	4.4	1.6	14.9	**18.1**	11.6	2.8	36.6
年齢別 85歳～	4.7	10.3	7.7	2.9	0.9	13.6	**19.0**	10.4	3.5	38.9
介護度別 要支援1	4.2	**16.6**	7.3	1.5	1.7	8.2	11.6	6.1	2.5	35.5
介護度別 要支援2	4.9	**15.9**	8.2	2.5	1.3	10.9	13.6	10.5	4.3	37.9
介護度別 要介護1	8.6	13.0	8.7	5.2	1.2	15.2	**23.9**	11.6	3.8	36.4
介護度別 要介護2	6.4	13.4	11.9	5.6	0.6	15.5	**24.8**	13.4	4.4	32.1
介護度別 要介護3	5.3	8.6	10.2	3.0	1.6	19.1	**21.2**	13.3	2.8	37.2
介護度別 要介護4	4.0	5.7	7.2	2.2	0.5	**18.3**	**18.3**	13.1	2.0	38.3
介護度別 要介護5	4.2	3.2	6.5	1.6	1.3	**16.5**	15.5	13.3	2.6	43.0

【佐賀中部内の圏域の現状】

圏域別でみると、広域連合全体では「特になし」を除くと「精神的に負担が大きい」が１位となっており、「精神的に負担が大きい」を１位にあげているのは22圏域のうち18圏域に上っている。金泉は「もっと介護サービスを利用したいが、できない状況である」、富士は「体力的に介護･介助が困難である」、神埼北は「医療機関への通院が困難である」を１位にあげている。

図表　介護・介助する上で困っていること（圏域別）

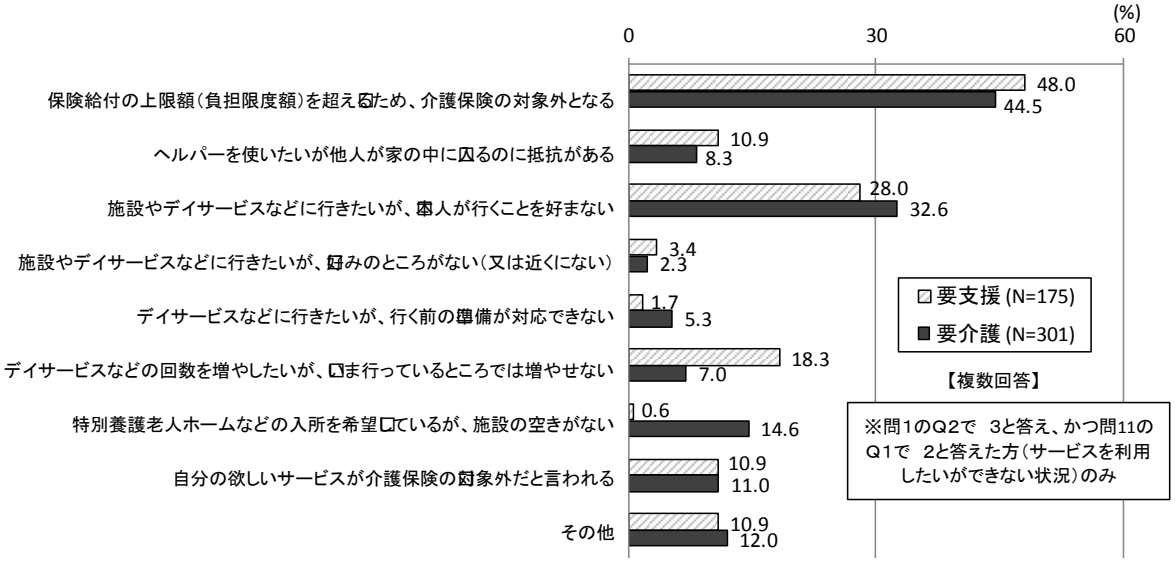
要支援:N=1,076 要介護:N=2,962 （合計）:N=4,038	問11 Q1. 介護･介助している上で困っていること(複数回答) ※問1のQ2で 3と答えた方									
	介護・介助の方法がわからない	もっと介護サービスを利用したいが、できない状況である	医療機関への通院が困難である	家族などの理解が足りない	介護サービスを利用することについて周り近所の目が気になる	体力的に介護・介助が困難である	精神的に負担が大きい	経済的に負担が大きい	その他	特になし
佐賀中部広域連合（全体）	237	476	358	142	48	595	785	467	136	1,478
	5.9	11.8	8.9	3.5	1.2	14.7	**19.4**	11.6	3.4	36.6
圏域 1 佐賀	3.7	12.8	13.8	2.1	0.5	12.8	**17.6**	8.0	4.3	40.4
2 城南	4.7	8.9	9.3	1.9	－	14.0	**18.7**	12.8	3.5	25.3
3 昭栄	5.1	10.3	7.4	2.9	1.5	12.5	**18.0**	9.9	4.0	44.5
4 城東	6.5	9.1	9.1	2.5	1.1	17.5	**18.5**	11.6	3.6	35.6
5 城西	7.0	13.5	9.0	4.0	1.0	20.5	**19.5**	8.5	2.5	39.0
6 城北	4.7	6.7	9.1	2.0	1.2	12.6	**15.8**	7.1	1.6	32.0
7 金泉	5.3	**20.4**	7.1	1.8	0.9	11.5	12.4	5.3	4.4	35.4
8 鍋島	4.3	12.8	10.1	4.8	－	17.0	**20.2**	10.6	4.8	36.2
9 諸富･蓮池	7.4	16.7	7.4	6.8	3.1	22.2	**35.8**	25.9	3.7	25.9
10 大和	4.0	12.1	6.5	2.8	0.8	11.7	**19.8**	6.9	2.8	44.5
11 富士	8.3	15.0	8.3	5.0	3.3	**25.0**	23.3	13.3	5.0	38.3
12 三瀬	－	－	7.1	－	－	－	－	－	－	92.9
13 川副	6.9	12.9	10.6	5.1	2.8	19.8	**23.0**	16.1	1.8	34.6
14 東与賀	3.3	8.8	15.4	8.8	－	15.4	**16.5**	13.2	5.5	46.2
15 久保田	14.9	23.9	7.5	4.5	4.5	22.4	**26.9**	22.4	6.0	25.4
16 多久	4.1	8.6	6.2	3.1	0.7	9.9	**17.1**	14.7	2.4	42.8
17 小城北	3.6	7.9	6.1	1.8	0.6	11.5	**11.8**	**11.8**	3.6	30.6
18 小城南	5.5	13.7	6.6	4.9	0.5	12.0	**20.8**	14.2	2.2	41.5
19 神埼	9.0	18.5	11.2	4.5	2.2	16.3	**21.3**	9.0	5.6	32.6
20 神埼北	4.5	4.5	**36.4**	－	－	9.1	18.2	4.5	9.1	22.7
21 神埼南	9.1	16.7	6.8	3.8	2.3	16.7	**23.5**	12.9	3.0	48.5
22 吉野ヶ里	7.4	7.4	8.7	5.4	1.3	14.1	**24.2**	10.1	2.0	32.2

(5) もっと介護サービスを利用したいができない状況【要支援者・要介護者のみ】

【佐賀中部広域連合の現状】

もっと介護サービスを利用したいができない理由は、要支援者、要介護者とも「保険給付の上限額（負担限度額）を超えるため、介護保険の対象外となる」が最も多く、次いで「施設やデイサービスなどに行きたいが、本人が行くことを好まない」となっている。「デイサービスなどの回数を増やしたいが、いま行っているところでは増やせない」は要支援者で特に多くなっている。

図表　利用したいができない状況



図表　利用したいができない状況（性別・年齢別・介護度別）

		問11 Q1-1. もっと介護サービスを利用したいができない状況（複数回答） ※問11のQ1のサービスを利用したいができない状況の該当者								
要支援:N=175 要介護:N=301 （合計）:N=476		保険給付の上限額（負担限度額）を超えるため、介護保険の対象外となる	ヘルパーを使いたいが他人が家の中に入るのに抵抗がある	施設やデイサービスなどに行きたいが、本人が行くことを好まない	施設やデイサービスなどに行きたいが、好みのところがない（又は近くにない）	デイサービスなどに行きたいが、行く前の準備が対応できない	デイサービスなどの回数を増やしたいが、いまこれ行っているところでは増やせない	特別養護老人ホームなどの入所を希望しているが、施設の空きがない	自分の欲しいサービスが介護保険の対象外だと言われる	その他
性別	男性	**48.3**	12.1	32.9	3.4	4.7	9.4	9.4	13.4	10.7
	女性	**44.6**	8.0	30.0	2.4	3.7	11.9	9.5	9.8	11.9
年齢別	65～69歳	**52.6**	15.8	15.8	－	－	5.3	5.3	15.8	21.1
	70～74歳	**50.0**	10.0	20.0	3.3	－	16.7	6.7	3.3	13.3
	75～79歳	**46.3**	6.0	29.9	4.5	3.0	6.0	4.5	14.9	9.0
	80～84歳	**40.9**	9.8	31.8	3.0	6.8	15.9	11.4	10.6	7.6
	85歳～	**47.4**	9.2	33.3	2.2	3.5	9.6	10.5	10.5	13.6
介護度別	要支援1	**50.6**	8.0	28.7	3.4	2.3	18.4	1.1	14.9	8.0
	要支援2	**45.5**	13.6	27.3	3.4	1.1	18.2	－	6.8	13.6
	要介護1	**42.2**	7.8	36.7	2.3	7.0	8.6	7.8	11.7	13.3
	要介護2	**52.3**	9.1	29.5	－	4.5	5.7	19.3	9.1	6.8
	要介護3	**46.2**	11.5	28.8	7.7	1.9	3.8	23.1	13.5	11.5
	要介護4	**26.1**	－	**26.1**	－	4.3	13.0	13.0	8.7	26.1
	要介護5	**40.0**	10.0	40.0	－	10.0	－	20.0	10.0	10.0

【佐賀中部内の圏域の現状】

広域連合全体では「保険給付の上限額（負担限度額）を超えるため、介護保険の対象外となる」が１位となっており、22圏域のうち16圏域で１位となっている。

図表　利用したいができない状況（圏域別）

	問11 Q1-1. もっと介護サービスを利用したいができない状況（複数回答） ※問11のQ1のサービスを利用したいができない状況の該当者								
要支援:N=175 要介護:N=301 （合計）:N=476	保険給付の上限額（負担限度額）を超えるため、介護保険の対象外となる	ヘルパーを使いたいが他人が家の中に入るのに抵抗がある	施設やデイサービスなどに行きたいが、本人が行くことを好まない	施設やデイサービスなどに行きたいが、好みのところがない（又は近くにない）	デイサービスなどに行きたいが、行く前の準備ができない	デイサービスなどの回数を増やしたいが、いまの行っているところでは増やせない	特別養護老人ホームなどの入所を希望しているが、施設の空きがない	自分の欲しいサービスが介護保険の対象外だと言われる	その他
佐賀中部広域連合（全体）	218	44	147	13	19	53	45	52	55
	45.8	9.2	30.9	2.7	4.0	11.1	9.5	10.9	11.6
圏域 1 佐賀	**41.7**	4.2	33.3	4.2	－	4.2	12.5	12.5	29.2
2 城南	**43.5**	8.7	30.4	－	－	17.4	8.7	4.3	8.7
3 昭栄	**57.1**	14.3	17.9	－	－	17.9	10.7	3.6	7.1
4 城東	**40.0**	12.0	28.0	8.0	4.0	16.0	4.0	20.0	8.0
5 城西	**55.6**	3.7	18.5	3.7	3.7	3.7	7.4	14.8	25.9
6 城北	**52.9**	11.8	17.6	5.9	－	5.9	5.9	5.9	5.9
7 金泉	**56.5**	13.0	26.1	4.3	8.7	4.3	－	8.7	－
8 鍋島	33.3	－	**45.8**	4.2	4.2	16.7	4.2	4.2	16.7
9 諸富・蓮池	**74.1**	7.4	25.9	－	－	7.4	3.7	7.4	14.8
10 大和	**43.3**	6.7	33.3	－	3.3	6.7	10.0	10.0	10.0
11 富士	**33.3**	11.1	22.2	－	11.1	－	11.1	－	22.2
12 三瀬	－	－	－	－	－	－	－	－	－
13 川副	39.3	10.7	**50.0**	－	3.6	－	14.3	10.7	14.3
14 東与賀	**62.5**	12.5	12.5	－	－	－	12.5	12.5	12.5
15 久保田	31.3	－	**37.5**	－	6.3	25.0	6.3	12.5	－
16 多久	**40.0**	4.0	32.0	－	4.0	4.0	8.0	8.0	16.0
17 小城北	**46.2**	26.9	30.8	11.5	－	26.9	7.7	19.2	11.5
18 小城南	24.0	4.0	**52.0**	－	12.0	8.0	20.0	12.0	12.0
19 神埼	**48.5**	15.2	30.3	3.0	6.1	15.2	6.1	15.2	9.1
20 神埼北	－	**100.0**	－	－	－	－	－	－	－
21 神埼南	**54.5**	4.5	22.7	－	9.1	13.6	18.2	18.2	4.5
22 吉野ヶ里	**45.5**	9.1	36.4	9.1	－	27.3	18.2	9.1	9.1

Ⅶ　普段の生活

全調査対象者9,978人（男性:3,388人、女性:6,590人）の内、無回答などを除く9,905人（男性:3,361人、女性:6,544人）を分析した。

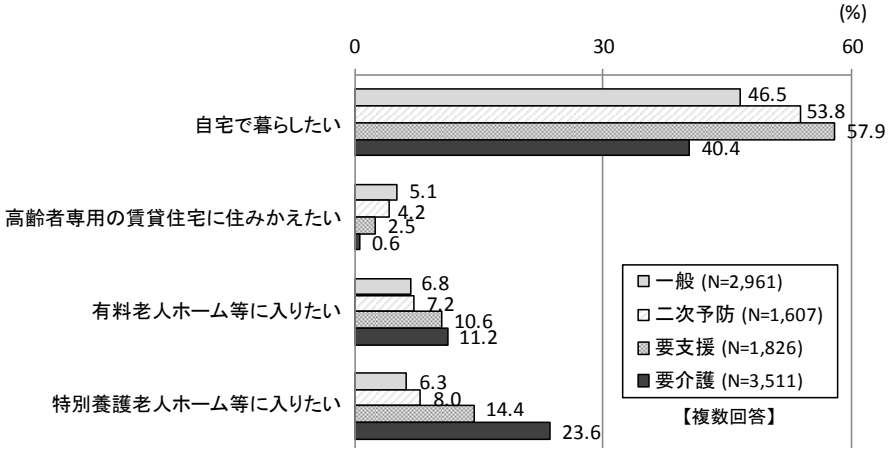
※一般・二次予防は問10

1　自分だけの力で普段の生活が難しくなった場合の住まい

【佐賀中部広域連合の現状】

自分だけの力で普段の生活が難しくなった場合に「自宅で暮らしたい」が最も多くなっているが、要介護者では40.4%と一般、二次予防者、要支援者より少なく、逆に「特別養護老人ホーム等に入りたい」が23.6%と他より多くなっている。

図表　自分だけの力で普段の生活が難しくなった場合の住まい



		問9Q1.自分だけの力だけで生活が難しくなった場合				
一般　:N=2,961 二次予防:N=1,607 要支援:N=1,826 要介護:N=3,511 （合計）:N=9,905		自宅で暮らしたい	高齢者専用の賃貸住宅に住みかえたい	有料老人ホーム等に入りたい	特別養護老人ホーム等に入りたい	無回答
性別	男性	51.6	2.8	8.4	11.0	26.1
	女性	45.6	2.9	9.5	15.8	26.2
年齢	65～69歳	43.1	5.6	7.9	8.5	34.8
	70～74歳	48.6	3.7	7.4	10.3	29.9
	75～79歳	50.3	3.5	8.1	10.5	27.6
	80～84歳	53.4	2.5	9.4	14.5	20.3
	85歳～	44.2	1.0	11.0	20.8	23.1
種別	一般	46.5	5.1	6.8	6.3	35.3
	二次予防	53.8	4.2	7.2	8.0	26.8
	要支援	57.9	2.5	10.6	14.4	14.5
	要介護	40.4	0.6	11.2	23.6	24.3

【佐賀中部内の圏域の現状】

どの圏域でも「自宅で暮らしたい」が５割前後で最も多くなっているが、「有料老人ホーム等に入りたい」は佐賀12.7%、鍋島12.7%、「特別養護老人ホーム等に入りたい」は神埼北23.4%、三瀬22.2%などで多くなっている。

図表　自分だけの力で普段の生活が難しくなった場合の住まい（圏域別）

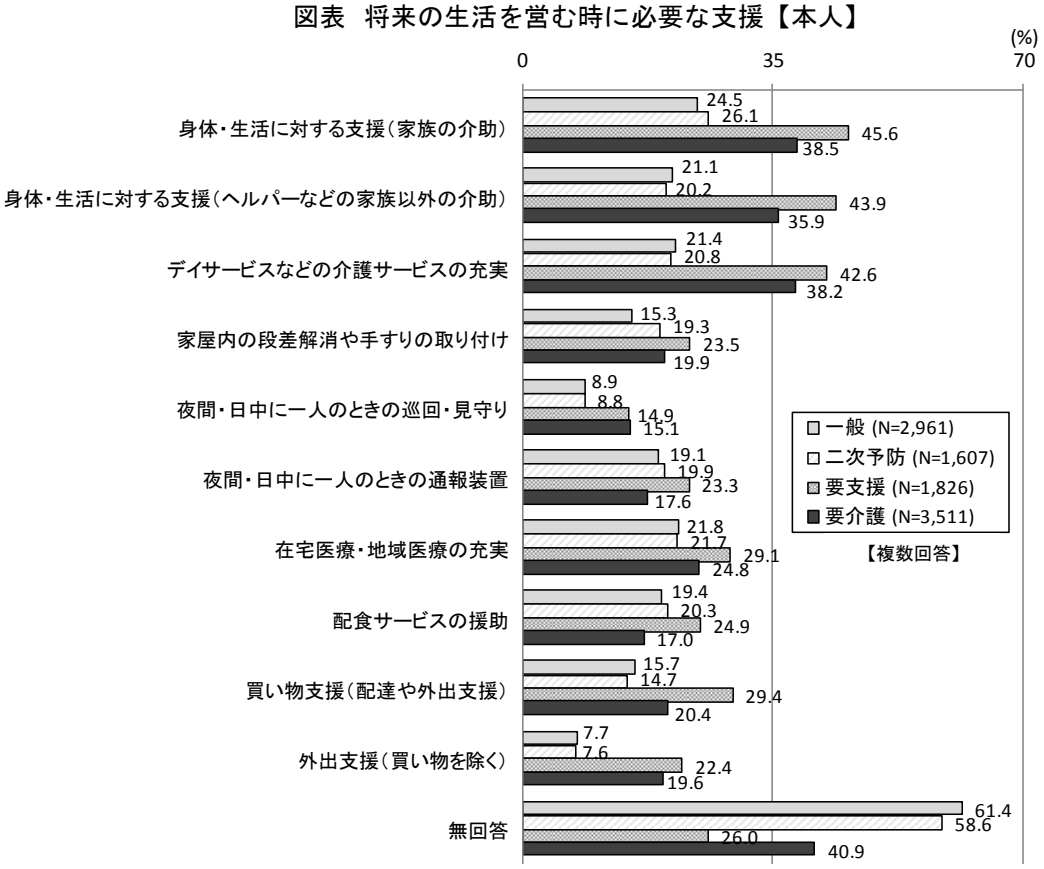
一般　:N=2,961 二次予防:N=1,607 要支援:N=1,826 要介護:N=3,511 （合計）:N=9,905		問9Q1.自分だけの力だけで生活が難しくなった場合				
		自宅で暮らしたい	高齢者専用の賃貸住宅に住みかえたい	有料老人ホーム等に入りたい	特別養護老人ホーム等に入りたい	無回答
佐賀中部広域連合（全体）		4,716 47.6	286 2.9	903 9.1	1,406 14.2	2,594 26.2
圏域	佐賀	47.2	5.6	12.7	12.3	22.2
	城南	44.5	4.0	10.8	11.0	29.7
	昭栄	47.7	2.0	10.9	16.4	23.0
	城東	45.7	4.1	10.9	11.3	28.1
	城西	48.4	4.0	8.3	13.5	25.8
	城北	45.6	4.6	10.9	9.8	29.2
	金泉	42.1	2.1	7.5	17.1	31.1
	鍋島	47.2	3.9	12.7	10.9	25.3
	諸富・蓮池	51.2	3.4	8.8	13.9	22.7
	大和	48.5	2.3	9.7	16.0	23.5
	富士	54.7	2.0	6.8	16.2	20.3
	三瀬	55.6	6.7	2.2	22.2	13.3
	川副	53.4	1.8	8.2	13.7	22.9
	東与賀	55.7	3.1	8.2	11.9	21.1
	久保田	57.6	2.0	6.9	14.3	19.2
	多久	44.9	1.5	8.7	18.5	26.4
	小城北	40.0	2.5	7.2	15.1	35.2
	小城南	49.3	1.7	5.7	17.2	26.2
	神埼	48.3	3.4	8.1	9.6	30.6
	神埼北	43.8	1.6	9.4	23.4	21.9
	神埼南	50.7	0.8	4.2	19.8	24.5
	吉野ヶ里	47.0	2.0	8.8	13.6	28.6

２　将来の生活を安心して営む時に必要な支援

【佐賀中部広域連合の現状】

介護されている本人が将来の生活を安心して営むために必要な支援として、「身体・生活に対する支援（家族の介助）」、「身体・生活に対する支援（ヘルパーなどの家族以外の介助）」、「デイサービスなどの介護サービスの充実」などが高くなっている。どの支援も要支援者で割合が高くなっている。

図表　将来の生活を営む時に必要な支援【本人】



※一般・二次予防への調査の問番号は問10です。 一般　:N=2,961 二次予防:N=1,607 要支援:N=1,826 要介護:N=3,511 （合計）:N=9,905		問9Q2【介護者】将来の生活で必要な支援（**複数回答**）										
		身体・生活に対する支援（家族の介助）	身体・生活に対する支援（ヘルパーなどの家族以外の介助）	デイサービスなどの介護サービスの充実	家屋内の段差解消や手すりの取り付け	夜間・日中に一人のときの巡回・見守り	夜間・日中に一人のときの通報装置	在宅医療・地域医療の充実	配食サービスの援助	買い物支援（配達や外出支援）	外出支援（買い物を除く）	無回答
性別	男性	13.0	16.0	16.5	9.3	7.4	8.7	13.3	8.8	9.3	9.5	77.1
	女性	17.6	22.2	22.5	12.6	11.7	11.6	17.4	11.6	12.1	11.8	69.5
年齢	65～69歳	3.2	3.9	3.9	2.2	1.6	2.4	3.6	2.2	2.3	2.2	94.0
	70～74歳	6.3	7.7	7.8	4.7	3.4	4.3	6.4	4.6	4.3	4.2	88.9
	75～79歳	12.1	15.4	15.1	8.0	7.0	8.1	11.5	8.1	9.2	8.9	80.0
	80～84歳	18.7	24.3	24.5	13.6	11.1	12.3	18.3	13.6	14.6	13.4	67.0
	85歳～	27.7	34.3	35.4	20.0	19.3	18.1	28.0	17.4	18.0	18.5	51.7
種別	一般	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	99.8
	二次予防	1.7	2.1	1.8	1.5	0.7	1.2	1.9	1.4	1.1	0.9	97.2
	要支援	18.7	22.9	22.9	12.0	9.1	11.0	15.9	13.1	12.8	11.2	66.0
	要介護	34.5	43.8	44.9	25.4	23.8	23.6	35.9	22.5	24.3	24.8	40.4

【佐賀中部内の圏域の現状】

圏域別では、「身体・生活に対する支援（家族の介助）」が22圏域のうち20圏域で１位となっており、城北と三瀬では「身体・生活に対する支援（ヘルパーなどの家族以外の介助）」が１位となっている。

図表　将来の生活を営む時に必要な支援（圏域別）【本人】

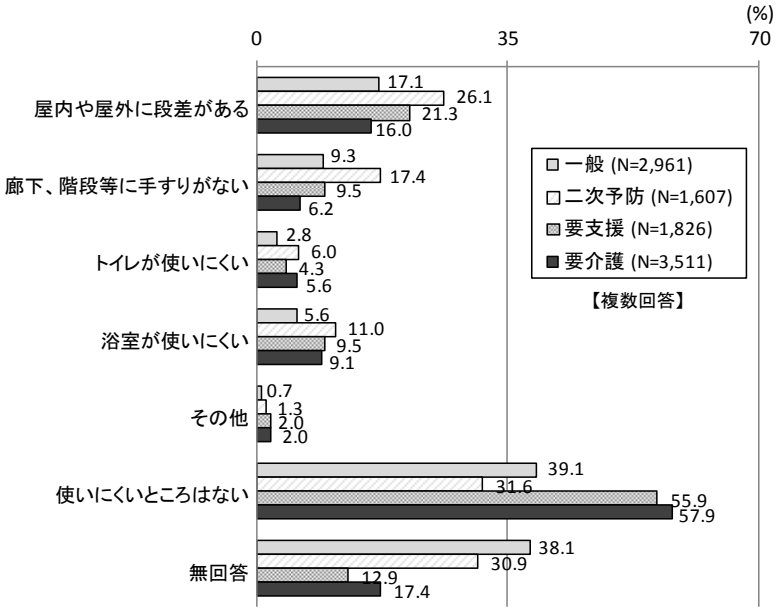
※一般・二次予防への調査の問番号は問10です。 一般　:N=2,961 二次予防:N=1,607 要支援:N=1,826 要介護:N=3,511 （合計）:N=9,905		問9Q2【介護者】将来の生活で必要な支援（複数回答）										
		身体・生活に対する支援（家族の介助）	身体・生活に対する支援（ヘルパーなどの家族以外の介助）	デイサービスなどの介護サービスの充実	家屋内の段差解消や手すりの取り付け	夜間・日中に一人のときの巡回・見守り	夜間・日中に一人のときの通報装置	在宅医療・地域医療の充実	配食サービスの援助	買い物支援（配達や外出支援）	外出支援（買い物を除く）	無回答
佐賀中部広域連合（全体）		1,586 16.0	1,993 20.1	2,027 20.5	1,137 11.5	1,016 10.3	1,051 10.6	1,586 16.0	1,054 10.6	1,108 11.2	1,092 11.0	7,141 72.1
圏域	佐賀	17.1	21.6	18.8	11.7	11.1	10.5	18.1	12.1	13.7	11.1	74.0
	城南	15.3	19.6	17.4	10.1	10.6	9.1	17.1	9.0	9.6	9.5	73.6
	昭栄	14.5	20.9	18.8	10.6	11.9	9.4	18.6	10.9	13.2	11.8	70.3
	城東	17.9	21.4	21.4	13.9	10.0	14.0	17.0	13.4	12.2	12.5	71.5
	城西	13.9	18.8	18.8	10.5	8.9	9.5	14.7	9.3	10.1	9.5	74.0
	城北	11.6	14.5	13.7	9.1	7.2	8.8	11.1	8.8	9.1	8.6	80.1
	金泉	17.1	22.1	23.6	11.8	11.8	10.7	15.7	8.9	11.4	11.8	70.4
	鍋島	19.2	21.8	22.9	15.9	11.8	11.1	16.8	12.2	12.4	12.4	71.8
	諸富・蓮池	17.3	22.2	26.3	12.7	14.9	12.7	20.7	13.2	15.1	14.4	70.0
	大和	12.3	16.9	19.7	9.0	9.7	8.2	11.5	8.9	7.7	8.1	73.4
	富士	18.9	25.0	23.6	14.9	9.5	12.8	23.0	11.5	12.2	12.2	70.3
	三瀬	－	6.7	6.7	2.2	－	－	4.4	4.4	－	2.2	86.7
	川副	18.5	23.0	23.6	13.9	12.8	11.2	18.3	13.0	13.7	12.4	68.2
	東与賀	22.7	28.4	30.9	12.9	12.4	13.4	21.6	19.6	17.5	13.9	59.3
	久保田	13.3	16.7	21.2	11.3	5.9	11.8	13.3	9.9	11.3	12.8	73.9
	多久	14.7	19.8	19.4	8.8	8.2	9.3	15.0	8.2	9.4	11.2	71.1
	小城北	12.1	14.1	14.6	8.7	6.7	6.7	11.7	7.6	7.9	6.9	78.6
	小城南	18.7	21.4	22.6	14.5	13.4	13.8	18.9	12.2	11.7	12.4	71.5
	神埼	13.6	18.3	17.7	8.5	9.1	10.8	11.3	7.7	8.5	8.9	74.5
	神埼北	10.9	15.6	14.1	7.8	1.6	7.8	7.8	7.8	6.3	7.8	75.0
	神埼南	21.7	20.6	22.8	13.6	11.4	11.1	19.8	10.6	10.9	12.8	71.0
	吉野ヶ里	17.0	20.4	21.8	13.9	11.3	13.6	13.9	11.3	13.6	14.4	71.1

３　現在お住まいの住居で使いにくいところ

【佐賀中部広域連合の現状】

現在の住まいで使いにくいところでは、「使いにくいところはない」が最も多かったが、それ以外では「屋内や屋外に段差がある」「廊下、階段等に手すりがない」が続き、どの項目も二次予防者で多くなっている。「使いにくいところはない」は要支援者と要介護者で多く、年齢が上るほど多くなっている。

図表　いまの住居で使いにくいところ



※一般・二次予防への調査の問番号は問10です。 一般　:N=2,961 二次予防:N=1,607 要支援:N=1,826 要介護:N=3,511 （合計）:N=9,905		問9Q3(1)住んでいる住居で使いにくいところ（複数回答）						
		屋内や屋外に段差がある	廊下、階段等に手すりがない	トイレが使いにくい	浴室が使いにくい	その他	使いにくいところはない	無回答
性別	男性	20.1	10.1	4.4	8.4	1.4	45.3	26.2
	女性	18.4	9.2	4.7	8.5	1.5	48.9	24.3
年齢	65～69歳	17.3	9.4	4.6	6.9	1.3	40.9	34.3
	70～74歳	21.2	11.8	4.9	8.5	1.0	39.2	31.9
	75～79歳	20.7	11.7	4.5	10.2	1.5	41.0	27.4
	80～84歳	20.8	10.3	4.5	9.0	1.8	51.1	19.5
	85歳～	16.5	6.8	4.5	7.9	1.5	56.6	18.9
種別	一般	17.1	9.3	2.8	5.6	0.7	39.1	38.1
	二次予防	26.1	17.4	6.0	11.0	1.3	31.6	30.9
	要支援	21.3	9.5	4.3	9.5	2.0	55.9	12.9
	要介護	16.0	6.2	5.6	9.1	2.0	57.9	17.4

【佐賀中部内の圏域の現状】

「屋内や屋外に段差がある」「廊下、階段等に手すりがない」は神埼北で高くなっており、「使いにくいところはない」は三瀬で高くなっている。

図表　いまの住居で使いにくいところ（圏域別）

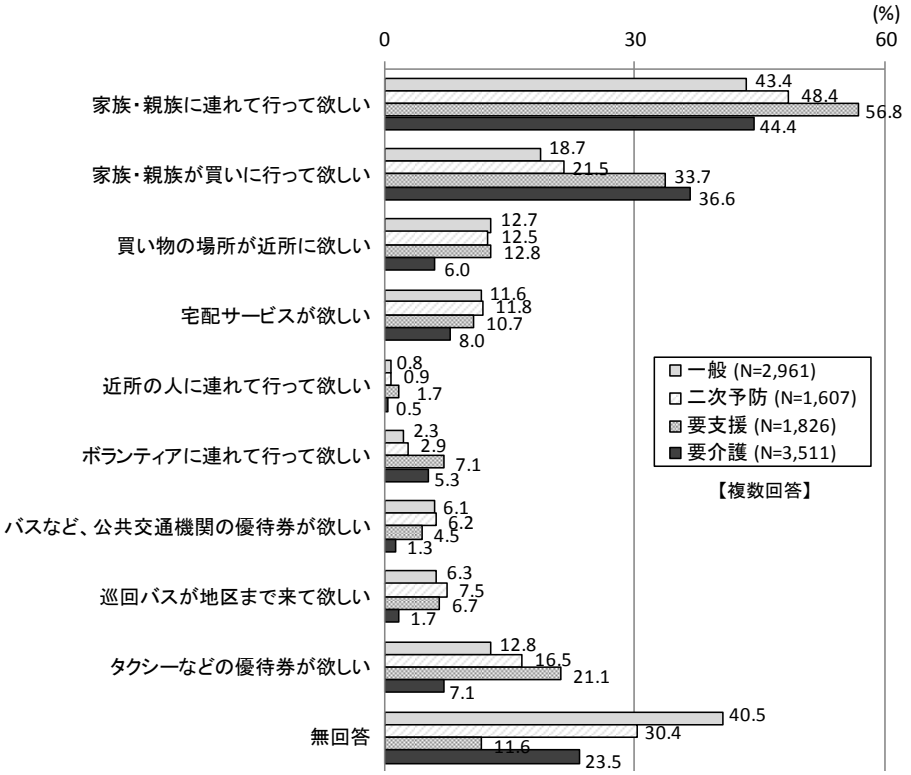
※一般・二次予防への調査の問番号は問10です。 一般　:N=2,961 二次予防:N=1,607 要支援:N=1,826 要介護:N=3,511 （合計）:N=9,905		問9Q3(1)住んでいる住居で使いにくいところ(複数回答)						
		屋内や屋外に段差がある	廊下、階段等に手すりがない	トイレが使いにくい	浴室が使いにくい	その他	使いにくいところはない	無回答
佐賀中部広域連合（全体）		1,877 19.0	944 9.5	454 4.6	838 8.5	146 1.5	4,719 47.6	2,471 24.9
圏域	佐賀	17.7	7.7	4.2	9.7	1.8	50.2	21.6
	城南	18.1	10.8	4.5	9.1	1.5	46.3	25.9
	昭栄	18.2	7.7	4.2	10.3	3.1	48.0	22.7
	城東	18.9	11.0	3.9	8.3	2.1	47.2	24.7
	城西	17.5	8.1	4.4	7.3	1.0	49.4	26.2
	城北	15.5	9.4	3.4	8.6	1.8	48.4	28.0
	金泉	19.3	13.2	6.1	9.3	1.4	46.1	24.6
	鍋島	18.6	8.7	3.1	8.3	2.0	48.9	24.0
	諸富・蓮池	19.5	12.9	5.4	10.2	0.5	49.3	22.7
	大和	17.6	7.4	5.3	9.0	0.7	50.5	22.7
	富士	25.0	7.4	4.1	8.1	0.7	50.7	20.3
	三瀬	22.2	8.9	2.2	2.2	－	60.0	13.3
	川副	21.4	10.8	6.8	9.0	2.2	46.1	23.6
	東与賀	15.5	7.2	5.7	7.7	1.0	57.2	21.6
	久保田	23.2	10.8	4.9	12.3	2.5	50.2	19.7
	多久	20.0	10.6	5.0	7.2	1.3	46.8	25.8
	小城北	16.1	8.7	3.4	5.9	0.7	42.1	35.4
	小城南	23.9	8.8	5.7	8.4	0.4	45.1	23.1
	神埼	20.9	10.6	4.5	9.6	2.3	40.4	28.5
	神埼北	34.4	14.1	3.1	9.4	1.6	45.3	17.2
	神埼南	18.7	9.5	6.4	6.4	0.6	49.6	23.7
	吉野ヶ里	18.4	9.1	3.1	6.5	1.1	47.0	28.6

4　日用品の買い物をしたいときほしい援助

【佐賀中部広域連合の現状】

日用品の買い物の際にほしい援助として、要支援者では「家族・親族に連れて行ってほしい」が56.8%と最も高く、次いで「家族・親族が買いに行ってほしい」33.7%、「タクシーなどの優待券が欲しい」21.1%となっている。要介護者では「家族・親族に連れて行ってほしい」44.4%が最も高くなってはいるものの要支援者より12.4ポイント低い。

図表　日用品の買い物をしたいときほしい援助



※一般・二次予防への調査の問番号は問10です。 一般　:N=2,961 二次予防:N=1,607 要支援:N=1,826 要介護:N=3,511 （合計）:N=9,905		問9Q4(2)オ. 日用品の買い物でほしい援助（複数回答）									
		家族・親族に連れて行って欲しい	家族・親族が買いに行って欲しい	買い物の場所が近所に欲しい	宅配サービスが欲しい	近所の人に連れて行って欲しい	ボランティアに連れて行って欲しい	バスなど、公共交通機関の優待券が欲しい	巡回バスが地区まで来て欲しい	タクシーなどの優待券が欲しい	無回答
性別	男性	43.6	28.4	9.1	10.4	0.8	4.1	4.0	3.9	12.4	31.2
	女性	48.8	28.2	10.9	10.1	0.9	4.5	4.2	5.5	13.2	25.6
年齢	65～69歳	41.9	19.2	10.6	14.4	0.8	3.6	5.5	5.7	12.2	38.6
	70～74歳	45.8	21.5	12.5	11.3	0.8	3.9	6.2	6.6	14.5	34.8
	75～79歳	48.4	24.5	11.2	10.3	0.8	4.1	4.1	5.8	15.5	28.7
	80～84歳	51.8	30.5	11.7	9.6	1.5	4.6	4.2	5.9	14.5	20.4
	85歳～	46.4	36.8	7.6	7.8	0.6	4.9	2.4	2.7	10.1	22.3
種別	一般	43.4	18.7	12.7	11.6	0.8	2.3	6.1	6.3	12.8	40.5
	二次予防	48.4	21.5	12.5	11.8	0.9	2.9	6.2	7.5	16.5	30.4
	要支援	56.8	33.7	12.8	10.7	1.7	7.1	4.5	6.7	21.1	11.6
	要介護	44.4	36.6	6.0	8.0	0.5	5.3	1.3	1.7	7.1	23.5

【佐賀中部内の圏域の現状】

「家族・親族に連れて行ってほしい」は神埼北60.9%、富士59.5%で高く、「買い物の場所が近所に欲しい」や「宅配サービスが欲しい」は久保田で他の圏域に比べて高くなっている。

図表　日用品の買い物をしたいときほしい援助（圏域別）

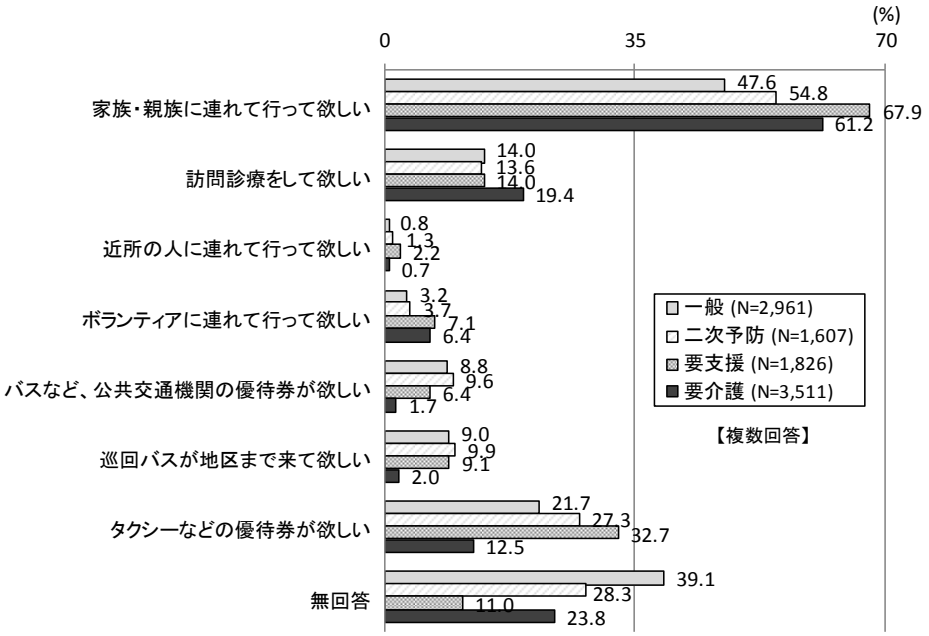
※一般・二次予防への調査の問番号は問10です。 一般　:N=2,961 二次予防:N=1,607 要支援:N=1,826 要介護:N=3,511 （合計）:N=9,905		問9Q4(2)オ. 日用品の買い物でほしい援助(M)									
		家族・親族に連れて行って欲しい	家族・親族が買いに行って欲しい	買い物の場所が近所に欲しい	宅配サービスが欲しい	近所の人に連れて行って欲しい	ボランティアに連れて行って欲しい	バスなど、公共交通機関の優待券が欲しい	巡回バスが地区まで来て欲しい	タクシーなどの優待券が欲しい	無回答
佐賀中部広域連合（全体）		4,658	2,801	1,018	1,008	87	430	409	491	1,281	2,724
		47.0	28.3	10.3	10.2	0.9	4.3	4.1	5.0	12.9	27.5
圏域	佐賀	43.1	31.3	12.3	14.9	1.0	4.4	4.4	4.4	16.7	27.2
	城南	41.4	24.9	12.8	10.3	0.5	4.5	3.3	4.2	12.5	31.2
	昭栄	46.8	29.5	12.2	12.1	0.4	3.2	5.8	6.5	18.3	22.5
	城東	45.2	28.2	12.2	12.7	0.6	3.6	3.6	4.4	14.2	28.2
	城西	44.8	25.6	10.9	9.5	1.2	2.6	3.4	3.6	13.9	27.2
	城北	44.0	24.3	8.8	11.6	0.5	4.7	4.1	4.1	14.0	31.8
	金泉	46.4	30.4	14.3	10.4	0.4	2.9	4.3	3.9	10.0	28.2
	鍋島	49.3	31.2	8.5	12.0	1.3	5.0	7.2	6.3	17.5	26.4
	諸富・蓮池	47.8	29.8	8.3	11.2	1.2	6.6	5.4	6.8	14.1	24.9
	大和	51.2	28.6	11.8	11.0	1.2	3.9	4.9	7.2	11.2	22.5
	富士	59.5	29.7	7.4	13.5	0.7	3.4	7.4	8.1	12.8	20.9
	三瀬	53.3	22.2	15.6	6.7	2.2	22.2	2.2	6.7	6.7	13.3
	川副	49.4	30.9	10.1	11.9	0.7	5.3	3.1	6.0	11.9	25.0
	東与賀	57.7	31.4	9.8	8.2	1.5	8.8	3.1	3.1	7.2	22.2
	久保田	55.7	34.5	15.8	15.8	1.0	4.9	2.5	9.9	15.3	20.2
	多久	47.0	20.4	9.8	7.5	1.3	4.6	3.5	4.4	11.5	30.1
	小城北	39.3	24.8	6.9	7.5	0.5	2.7	2.5	2.6	9.0	38.9
	小城南	48.0	37.1	9.4	5.7	1.7	4.8	5.5	4.0	11.1	24.3
	神埼	46.2	26.6	10.8	8.1	1.1	4.3	4.2	6.6	14.3	31.3
	神埼北	60.9	31.3	9.4	10.9	－	7.8	6.3	6.3	6.3	18.8
	神埼南	55.2	30.1	8.9	6.7	1.1	3.6	3.1	3.6	6.7	25.6
	吉野ヶ里	49.6	25.8	6.5	7.9	0.3	3.1	4.2	4.8	15.9	29.7

５　通院したいときほしい援助

【佐賀中部広域連合の現状】

通院の際にほしい援助として、「家族・親族に連れて行ってほしい」が最も高く、特に要支援者67.9%、要介護者61.2%で高い。「タクシーなどの優待券が欲しい」も要介護者以外で高くなっている。

図表　通院したいときほしい援助



※一般・二次予防への調査の問番号は問10です。 一般　:N=2,961 二次予防:N=1,607 要支援:N=1,826 要介護:N=3,511 （合計）:N=9,905		問9Q4(2)カ. 通院でほしい援助（複数回答）							
		家族・親族に連れて行って欲しい	訪問診療をして欲しい	近所の人に連れて行って欲しい	ボランティアに連れて行って欲しい	バスなど、公共交通機関の優待券が欲しい	巡回バスが地区まで来て欲しい	タクシーなどの優待券が欲しい	無回答
性別	男性	55.1	15.9	0.9	5.1	6.0	5.4	20.8	30.2
	女性	58.5	15.8	1.2	5.1	5.9	7.4	21.7	24.9
年齢	65～69歳	46.9	16.0	0.7	4.1	8.0	8.4	21.5	37.7
	70～74歳	52.8	14.5	1.0	4.9	8.9	8.9	23.3	33.5
	75～79歳	53.8	14.7	1.2	5.6	6.4	7.0	23.9	28.0
	80～84歳	63.0	15.5	1.8	5.6	6.0	7.6	24.4	19.1
	85歳～	63.1	17.3	0.9	5.2	3.2	4.0	17.1	22.1
種別	一般	47.6	14.0	0.8	3.2	8.8	9.0	21.7	39.1
	二次予防	54.8	13.6	1.3	3.7	9.6	9.9	27.3	28.3
	要支援	67.9	14.0	2.2	7.1	6.4	9.1	32.7	11.0
	要介護	61.2	19.4	0.7	6.4	1.7	2.0	12.5	23.8

【佐賀中部内の圏域の現状】

「家族・親族に連れて行って欲しい」はどの圏域でも最も高く、神埼北75.0%、東与賀69.1%で特に高くなっている。「ボランティアに連れて行ってほしい」は全体で5.1%だが、三瀬26.7%では特に高くなっている。

図表　通院したいときの援助（圏域別）

※一般・二次予防への調査の問番号は問10です。 一般　:N=2,961 二次予防:N=1,607 要支援:N=1,826 要介護:N=3,511 （合計）:N=9,905		問9Q4(2)カ. 通院でほしい援助（複数回答）							
		家族・親族に連れて行って欲しい	訪問診療をして欲しい	近所の人に連れて行って欲しい	ボランティアに連れて行って欲しい	バスなど、公共交通機関の優待券が欲しい	巡回バスが地区まで来て欲しい	タクシーなどの優待券が欲しい	無回答
佐賀中部広域連合（全体）		5,678 57.3	1,570 15.9	111 1.1	507 5.1	590 6.0	662 6.7	2,119 21.4	2,648 26.7
圏域	佐賀	55.8	17.7	2.2	5.2	5.4	6.5	28.6	25.0
	城南	49.0	19.1	0.7	6.1	5.5	5.1	24.6	29.6
	昭栄	54.9	18.2	0.7	3.8	8.6	7.4	28.5	22.1
	城東	57.2	15.5	0.5	4.1	6.0	6.2	22.3	27.5
	城西	52.8	15.1	1.6	4.6	7.1	5.6	24.6	26.2
	城北	48.4	16.4	0.7	5.2	5.9	6.8	23.5	31.9
	金泉	53.9	13.6	0.7	4.3	5.7	5.7	18.9	28.9
	鍋島	57.9	18.3	2.6	5.5	10.5	7.0	25.5	25.5
	諸富・蓮池	56.1	19.0	0.7	6.6	5.6	8.8	23.4	24.1
	大和	63.0	14.8	1.2	6.6	6.3	9.0	21.2	22.4
	富士	62.8	16.2	2.0	5.4	6.8	14.9	14.9	20.9
	三瀬	64.4	13.3	4.4	26.7	6.7	8.9	11.1	13.3
	川副	60.3	19.4	0.7	6.2	5.7	8.4	19.0	23.9
	東与賀	69.1	16.5	3.1	8.2	6.2	6.2	18.6	20.1
	久保田	65.0	24.1	2.5	4.9	5.4	11.8	19.2	19.2
	多久	57.9	12.3	1.2	5.4	4.6	6.5	16.7	28.6
	小城北	51.1	10.8	0.5	2.6	4.6	3.7	16.5	37.8
	小城南	65.4	15.1	1.5	5.0	5.7	5.9	18.0	24.1
	神埼	57.5	15.1	0.8	4.2	5.5	6.8	21.1	31.1
	神埼北	75.0	15.6	－	7.8	6.3	3.1	10.9	17.2
	神埼南	64.6	12.5	1.4	4.5	4.5	6.7	14.2	24.8
	吉野ヶ里	59.2	13.0	0.3	2.3	5.9	5.9	24.6	29.5

Ⅷ　介護予防【一般高齢者・二次予防対象者のみ】

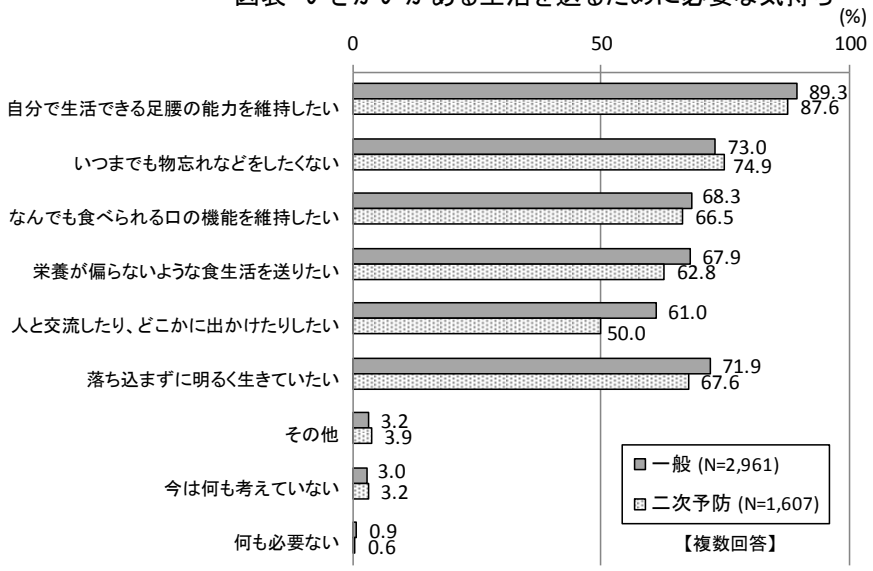
●全調査対象者9,978人（男性:3,388人、女性:6,590人）の内、一般高齢者・二次予防対象者4,568人（男性:2,002人、女性:2,566人）を分析した。

1　生きがいがある生活を送るために必要な気持ち

【佐賀中部広域連合の現状】

生きがいがある生活のために「自分で生活できる足腰の能力を維持したい」とする人が一般で89.3%、二次予防で87.6%と最も高くなっている。どの項目でも高い割合となっているが、男性より女性、二次予防者より一般でその割合は高い。

図表　いきがいがある生活を送るために必要な気持ち



	一般　:N=2,961 二次予防:N=1,607 （合計）:N=4,568	問9Q1. 生きがいがある生活を送るために必要な気持ち（複数回答） 自分で生活できる足腰の能力を維持したい	いつまでも物忘れなどをしたくない	なんでも食べられる口の機能を維持したい	栄養が偏らないような食生活を送りたい	人と交流したり、どこかに出かけたりしたい	落ち込まずに明るく生きていたい	その他	今は何も考えていない	何も必要ない
性別	男性	**88.5**	67.9	65.3	60.0	52.8	62.9	2.5	4.1	1.3
	女性	**88.9**	78.1	69.4	70.8	60.5	76.2	4.1	2.2	0.4
年齢別	65～69歳	**87.3**	68.3	61.5	61.9	57.8	67.6	2.2	4.5	0.4
	70～74歳	**89.9**	74.6	69.6	68.3	57.7	71.0	3.5	2.2	1.0
	75～79歳	**89.6**	75.8	69.0	67.4	59.6	71.8	3.4	2.7	1.0
	80～84歳	**89.4**	78.1	74.2	70.2	55.8	72.8	5.3	2.1	1.2
	85歳～	**85.7**	77.0	69.0	63.0	46.7	70.3	4.7	3.0	0.7
	一般	**89.3**	73.0	68.3	67.9	61.0	71.9	3.2	3.0	0.9
	二次予防	**87.6**	74.9	66.5	62.8	50.0	67.6	3.9	3.2	0.6

【佐賀中部内の圏域の現状】

「自分で生活できる足腰の能力を維持したい」はどの圏域でも８割を超え最も高くなっている。圏域ごとの大きな傾向の違いはみられない。

図表　いきがいがある生活を送るために必要な気持ち（圏域別）

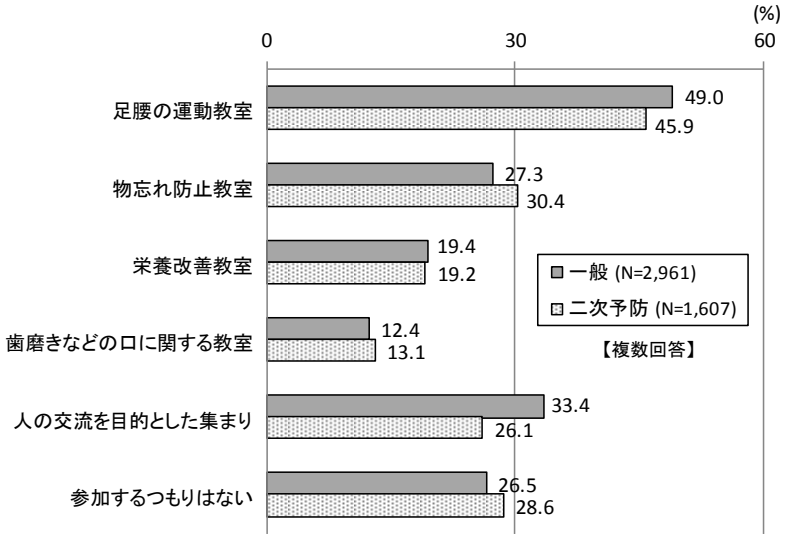
一般　:N=2,961 二次予防:N=1,607 （合計）:N=4,568	問9Q1. 生きがいがある生活を送るために必要な気持ち（複数回答）								
	自分で生活できる足腰の能力を維持したい	いつまでも物忘れなどをしたくない	なんでも食べられる口の機能を維持したい	栄養が偏らないような食生活を送りたい	人と交流したり、どこかに出かけたりしたい	落ち込まずに明るく生きていたい	その他	今は何も考えていない	何も必要ない
佐賀中部広域連合（全体）	4,052	3,364	3,090	3,020	2,610	3,214	156	140	37
	88.7	73.6	67.6	66.1	57.1	70.4	3.4	3.1	0.8
圏域 1 佐賀	**90.3**	77.7	75.2	73.5	59.7	78.2	4.2	2.9	0.4
2 城南	**89.7**	75.0	71.7	71.3	59.9	69.5	6.3	3.7	0.4
3 昭栄	**88.9**	71.0	65.1	67.0	54.9	69.4	3.1	3.1	0.9
4 城東	**88.7**	72.7	69.1	67.8	55.0	71.4	3.2	2.6	1.0
5 城西	**91.6**	70.7	74.5	72.8	58.6	70.7	6.3	1.3	1.7
6 城北	**92.2**	74.1	69.0	70.4	63.6	73.5	4.1	2.4	1.0
7 金泉	**87.1**	70.5	69.7	63.6	60.6	68.2	3.0	5.3	0.8
8 鍋島	**88.3**	75.1	66.7	70.9	55.9	73.2	1.4	2.8	0.5
9 諸富・蓮池	**86.2**	72.5	64.0	64.6	52.9	64.0	2.6	2.6	1.1
10 大和	**89.8**	72.4	67.6	63.1	53.6	70.3	3.4	4.1	0.3
11 富士	**86.8**	79.4	72.1	61.8	60.3	76.5	2.9	－	－
12 三瀬	**92.3**	65.4	69.2	53.8	57.7	73.1	－	3.8	－
13 川副	**86.1**	74.3	63.7	60.4	55.5	65.7	4.1	4.5	0.4
14 東与賀	**86.4**	76.5	65.4	61.7	65.4	67.9	2.5	2.5	－
15 久保田	**91.3**	76.0	64.4	62.5	58.7	76.0	3.8	3.8	1.0
16 多久	**86.7**	71.2	62.5	58.2	51.4	63.5	3.1	4.0	1.9
17 小城北	**89.8**	75.1	65.1	66.9	58.0	71.1	2.9	2.6	0.3
18 小城南	**89.9**	75.0	71.9	63.6	57.9	69.3	2.2	4.4	1.3
19 神埼	**85.9**	74.7	66.8	66.0	60.6	73.0	2.9	2.9	0.4
20 神埼北	**81.3**	68.8	59.4	65.6	62.5	71.9	3.1	－	－
21 神埼南	**89.4**	78.2	65.9	65.9	54.1	72.9	2.4	2.4	－
22 吉野ヶ里	**84.8**	69.5	65.2	61.6	54.9	67.7	2.4	1.8	2.4

２　生きがいがある生活を送るために、参加したいもの

【佐賀中部広域連合の現状】

生きがいのある生活のために参加したいものとして「足腰の運動教室」が最も高く、一般49.0%、二次予防者45.9%となっている。次いで、一般では「人の交流を目的とした集まり」33.4%、二次予防者では「物忘れ防止教室」30.4%となっている。どの項目も男性より女性の方が高いが、「参加するつもりはない」は男性と、年齢では85歳以上で高くなっている。

図表　いきがいがある生活を送るために参加したいもの



		問9Q2. 生きがいがある生活を送るために参加したいこと（複数回答）					
一般　:N=2,961 二次予防:N=1,607 **（合計）:N=4,568**		足腰の運動教室	物忘れ防止教室	栄養改善教室	歯磨きなどの口に関する教室	人の交流を目的とした集まり	参加するつもりはない
性別	男性	**44.2**	22.6	14.0	10.4	28.3	32.8
	女性	**50.9**	32.9	23.4	14.3	32.9	22.9
年齢別	65～69歳	**51.2**	23.9	18.6	11.5	33.0	27.8
	70～74歳	**50.9**	29.3	21.0	13.5	31.9	24.9
	75～79歳	**47.3**	31.7	20.4	13.6	29.8	25.3
	80～84歳	**43.0**	30.7	18.0	12.6	30.7	27.9
	85歳～	34.3	29.7	14.7	11.0	20.3	**38.7**
	一般	**49.0**	27.3	19.4	12.4	33.4	26.5
	二次予防	**45.9**	30.4	19.2	13.1	26.1	28.6

【佐賀中部内の圏域の現状】

「足腰の運動教室」は富士60.3%、神埼北59.4%で高く、三瀬で34.6%と低くなっている。また、神埼北は「参加するつもりはない」が15.6%と比較的少なくなっている。

図表　いきがいがある生活を送るために参加したいもの（圏域別）

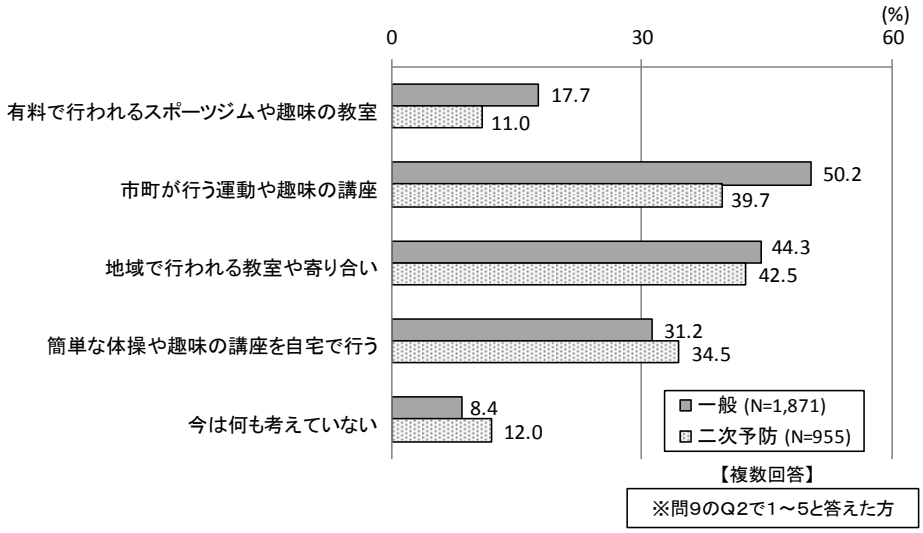
一般　:N=2,961 二次予防:N=1,607 **（合計）:N=4,568**		問9Q2. 生きがいがある生活を送るために参加したいこと（複数回答）					
		足腰の運動教室	物忘れ防止教室	栄養改善教室	歯磨きなどの口に関する教室	人の交流を目的とした集まり	参加するつもりはない
佐賀中部広域連合（全体）		2,190	1,298	881	577	1,410	1,244
		47.9	28.4	19.3	12.6	30.9	27.2
圏域	1 佐賀	**44.1**	25.2	13.9	10.9	35.3	30.3
	2 城南	**46.7**	27.6	16.9	8.8	26.8	26.5
	3 昭栄	**46.3**	26.2	15.4	11.1	28.4	28.4
	4 城東	**45.3**	23.2	18.3	8.0	30.2	32.2
	5 城西	**50.2**	29.3	19.2	14.2	33.5	25.9
	6 城北	**52.4**	27.9	19.4	13.3	34.7	28.6
	7 金泉	**53.8**	28.0	22.0	15.9	34.8	25.0
	8 鍋島	**48.8**	26.3	18.8	10.3	31.5	24.4
	9 諸富・蓮池	**43.9**	28.0	18.5	11.1	32.3	29.6
	10 大和	**49.1**	29.0	21.2	14.3	27.3	25.9
	11 富士	**60.3**	35.3	22.1	14.7	27.9	19.1
	12 三瀬	**34.6**	19.2	23.1	11.5	26.9	**34.6**
	13 川副	**49.0**	35.1	23.3	18.4	32.2	22.4
	14 東与賀	**42.0**	35.8	19.8	13.6	25.9	33.3
	15 久保田	**41.3**	28.8	18.3	11.5	28.8	35.6
	16 多久	**43.0**	22.0	15.2	9.6	26.0	28.5
	17 小城北	**48.8**	28.9	19.4	11.0	33.1	27.8
	18 小城南	**44.3**	32.5	22.8	18.0	28.5	32.0
	19 神埼	**51.5**	34.9	22.8	15.8	36.5	24.5
	20 神埼北	**59.4**	34.4	28.1	9.4	21.9	15.6
	21 神埼南	**51.8**	34.1	25.9	20.0	34.1	18.8
	22 吉野ヶ里	**53.0**	25.0	18.3	10.4	28.7	22.6

３　参加するために必要なところ

【佐賀中部広域連合の現状】

あればいいと思うところとして、一般では「市町が行う運動や趣味の講座」50.2%、「地域で行われる教室や寄り合い」44.3%となっており、二次予防では順位が逆転して「地域で行われる教室や寄り合い」42.5%、「市町が行う運動や趣味の講座」39.7%となっている。

図表　参加するために必要なところ



		問9Q3. 生きがいがある生活を送るために、どういった所があれば（複数回答）※問9Q2で1～5を答えた方				
一般 :N=1,871 二次予防:N=955 **（合計）:N=2,826**		有料で行われるスポーツジムや趣味の教室	市町が行う運動や趣味の講座	地域で行われる教室や寄り合い	簡単な体操や趣味の講座を自宅で行う	今は何も考えていない
性別	男性	17.5	**43.1**	36.4	34.4	12.0
	女性	13.8	**48.5**	48.2	30.5	7.9
年齢別	65～69歳	19.6	**53.3**	36.8	29.2	9.4
	70～74歳	16.3	**47.8**	45.4	30.6	8.8
	75～79歳	12.6	43.0	**47.2**	33.8	10.8
	80～84歳	11.2	38.3	**49.0**	37.0	8.7
	85歳～	6.9	30.6	**41.7**	36.8	11.8
	一般	17.7	**50.2**	44.3	31.2	8.4
	二次予防	11.0	39.7	**42.5**	34.5	12.0

【佐賀中部内の圏域の現状】

「市町が行う運動や趣味の講座」は22圏域のうち14圏域で１位、「地域で行われる教室や寄り合い」は８圏域で１位となっている。神埼北では「簡単な体操や趣味の講座を自宅で行う」が47.6％で最も高くなっている。

図表　参加するために必要なところ（圏域別）

一般　:N=1,871 二次予防:N=955 （合計）:N=2,826		問9Q3．生きがいがある生活を送るために、どういった所があれば（複数回答）※問9Q2で1～5を答えた方				
		有料で行われるスポーツジム や趣味の教室	市町が行う運動や趣味の講座	地域で行われる教室や寄り合い	簡単な体操や趣味の講座を自宅で行う	今は何も考えていない
佐賀中部広域連合（全体）		437	1,319	1,235	913	273
		15.5	**46.7**	43.7	32.3	9.7
圏域	1 佐賀	22.0	**43.3**	41.3	34.0	6.0
	2 城南	18.5	**46.4**	38.1	34.5	8.9
	3 昭栄	17.8	41.6	**45.2**	27.9	11.2
	4 城東	16.1	45.2	**48.9**	23.7	10.8
	5 城西	16.2	39.0	**43.5**	37.0	13.6
	6 城北	20.4	**46.2**	45.2	29.6	8.1
	7 金泉	16.9	43.8	**46.1**	36.0	12.4
	8 鍋島	16.3	**41.8**	39.7	37.6	8.5
	9 諸富・蓮池	13.6	**50.0**	48.2	30.9	9.1
	10 大和	18.2	**42.8**	36.9	34.8	11.8
	11 富士	－	**51.1**	48.9	23.4	8.5
	12 三瀬	7.1	**71.4**	50.0	21.4	－
	13 川副	11.5	47.4	**48.1**	35.3	10.9
	14 東与賀	11.1	**48.9**	**48.9**	13.3	15.6
	15 久保田	8.6	**46.6**	43.1	31.0	8.6
	16 多久	12.8	**44.4**	37.4	32.1	11.8
	17 小城北	12.6	**50.6**	43.9	32.2	8.4
	18 小城南	14.0	40.4	**47.8**	39.0	7.4
	19 神埼	17.9	**61.1**	45.1	29.0	7.4
	20 神埼北	14.3	38.1	42.9	**47.6**	19.0
	21 神埼南	13.6	40.0	**42.7**	34.5	8.2
	22 吉野ヶ里	8.6	**61.0**	36.2	29.5	5.7

Ⅸ　災害時の対応【要支援者・要介護者のみ】

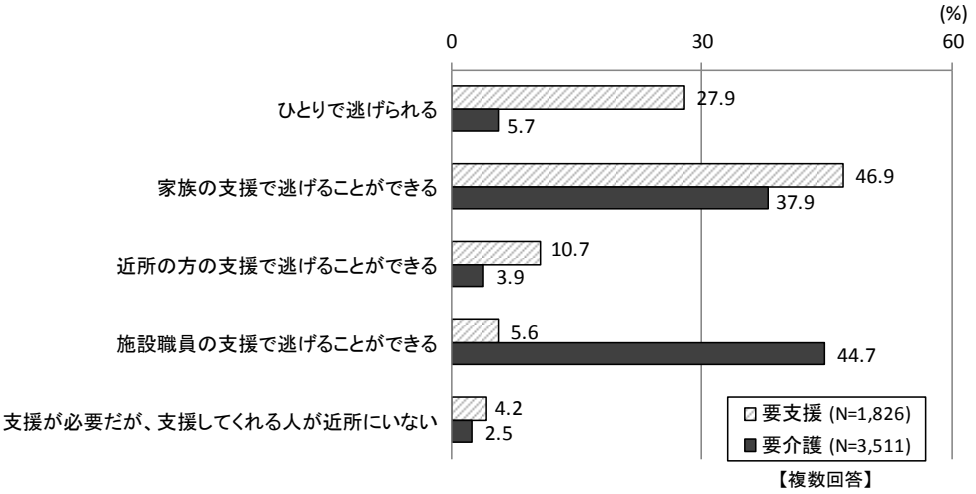
全調査対象者9,978人（男性:3,388人、女性:6,590人）の内、【要支援・要介護】で、問１−Ｑ２「普段の生活で介護･介助が必要か」との問いに、「現在、何らかの介護･介助を受けている」と回答した5,337人（男性:1,359人、女性:3,978人）を分析した。

１　火災等が起きた場合の避難の仕方

【佐賀中部広域連合の現状】

火災等が起きた場合、要支援者は「家族の支援で逃げることができる」46.9%、「ひとりで逃げられる」27.9%となっているが、要介護者では「施設職員の支援で逃げることができる」44.7%、「家族の支援で逃げることができる」37.9%となっている。

図表　火災等が起きた場合の避難の仕方



	要支援:N=1,826 要介護:N=3,511 （合計）:N=5,337	問10Q1. 火災時の避難の仕方 ひとりで逃げられる	家族の支援で逃げることができる	近所の方の支援で逃げることができる	施設職員の支援で逃げることができる	支援が必要だが、支援してくれる人が近所にいない
性別	男性	16.7	**42.9**	6.0	25.4	4.0
	女性	12.1	**40.3**	6.3	33.4	2.7
年齢別	65～69歳	15.8	**40.4**	4.7	28.1	5.8
	70～74歳	14.3	**45.7**	6.1	24.1	4.9
	75～79歳	16.8	**38.3**	6.9	27.0	5.2
	80～84歳	17.4	**43.1**	7.7	23.8	3.4
	85歳～	10.1	**40.1**	5.5	37.0	2.0
介護度別	要支援1	32.5	**42.6**	11.4	4.4	3.8
	要支援2	21.9	**52.5**	9.8	7.3	4.6
	要介護1	11.5	**52.3**	5.6	23.4	3.8
	要介護2	4.5	**46.8**	6.0	36.8	1.6
	要介護3	2.2	31.4	2.0	**57.2**	1.5
	要介護4	1.1	14.5	1.3	**71.6**	1.9
	要介護5	0.3	10.7	0.8	**77.2**	2.2

【佐賀中部内の圏域の現状】

「家族の支援で逃げることができる」は22圏域のうち18圏域で１位となっているが、施設等の居住者の多い三瀬、神埼北、金泉などでは「施設職員の支援で逃げることができる」の割合が高くなっている。

図表　火災等が起きた場合の避難の仕方（圏域別）

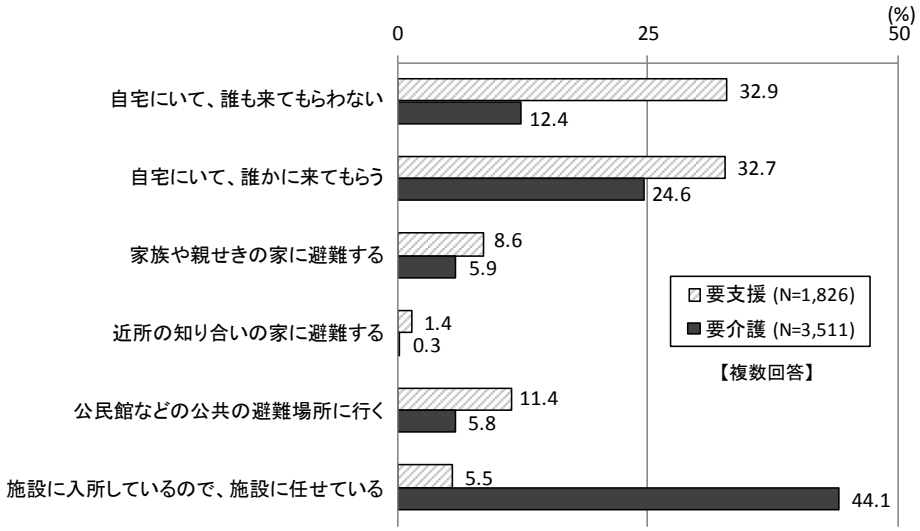
要支援：N=1,826 要介護：N=3,511 （合計）：N=5,337		問10Q1. 火災時の避難の仕方				
		ひとりで逃げられる	家族の支援で逃げることができる	近所の方の支援で逃げることができる	施設職員の支援で逃げることができる	支援が必要だが、支援してくれる人が近所にいない
佐賀中部広域連合（全体）		708	2,186	333	1,672	163
		13.3	**41.0**	6.2	31.3	3.1
圏域	1 佐賀	16.5	**32.7**	10.2	31.2	3.4
	2 城南	10.6	**38.5**	8.8	33.3	3.6
	3 昭栄	12.9	**39.0**	8.2	29.7	4.1
	4 城東	12.8	**36.6**	8.0	33.0	3.7
	5 城西	14.0	**41.5**	7.9	26.8	4.2
	6 城北	16.3	31.9	7.2	**36.9**	3.8
	7 金泉	11.5	34.5	4.1	**41.9**	4.1
	8 鍋島	15.5	**40.4**	5.3	31.8	2.9
	9 諸富・蓮池	13.1	**49.3**	6.8	27.1	1.4
	10 大和	14.6	**41.6**	6.3	32.1	1.9
	11 富士	22.5	**36.3**	7.5	27.5	－
	12 三瀬	26.3	21.1	－	**52.6**	－
	13 川副	11.9	**46.7**	4.3	25.5	3.0
	14 東与賀	8.8	**49.6**	3.5	31.9	1.8
	15 久保田	11.1	**56.6**	5.1	20.2	3.0
	16 多久	12.6	**41.1**	3.4	36.0	3.1
	17 小城北	14.5	**35.9**	5.7	30.9	2.4
	18 小城南	10.4	**48.2**	2.8	32.5	1.6
	19 神埼	14.9	**39.4**	7.3	30.8	3.5
	20 神埼北	－	37.5	12.5	**46.9**	3.1
	21 神埼南	10.1	**55.0**	2.1	27.0	2.6
	22 吉野ヶ里	12.7	**40.2**	4.2	35.4	4.2

２　台風が近づいた場合の対応

【佐賀中部広域連合の現状】

台風が近づいた場合に、要支援者では「自宅にいて誰にも来てもらわない」32.9%、自宅にいて誰かに来てもらう」32.7%となっているが、要介護者では「施設に入所しているので、施設に任せている」44.1%、「自宅にいて、誰かに来てもらう」24.6%となっている。

図表　台風が近づいた場合の対応



		問10Q2. 台風が近づいてきた場合の対応					
要支援:N=1,826 要介護:N=3,511 （合計）:N=5,337		自宅にいて、誰も来てもらわない	自宅にいて、誰かに来てもらう	家族や親せきの家に避難する	近所の知り合いの家に避難する	公民館などの公共の避難場所に行く	施設に入所しているので、施設に任せている
性別	男性	**25.8**	25.4	6.6	0.4	8.9	25.7
	女性	17.2	28.0	6.9	0.8	7.3	**32.7**
年齢別	65～69歳	26.9	24.0	5.8	0.6	8.8	**27.5**
	70～74歳	**26.5**	24.1	7.9	0.3	10.4	23.8
	75～79歳	22.9	26.0	7.1	0.7	9.2	**27.0**
	80～84歳	24.1	**30.6**	6.6	0.8	7.1	23.5
	85歳～	15.1	26.8	6.8	0.7	7.2	**36.4**
介護度別	要支援1	**34.6**	31.2	8.4	1.0	12.1	4.5
	要支援2	30.6	**34.6**	8.9	2.0	10.7	6.8
	要介護1	20.3	**34.0**	8.3	0.4	7.7	23.5
	要介護2	12.1	30.1	8.2	0.3	6.6	**36.8**
	要介護3	8.2	20.2	3.5	0.6	5.4	**55.1**
	要介護4	4.1	10.0	2.8	0.2	3.0	**70.1**
	要介護5	4.2	7.3	1.1	－	1.4	**77.0**

【佐賀中部内の圏域の現状】

「施設に入所しているので、施設に任せている」がほとんどの圏域で最も高くなっている。「公民館などの公共の避難場所に行く」は富士18.8％で比較的高い。

図表　台風が近づいた場合の対応（圏域別）

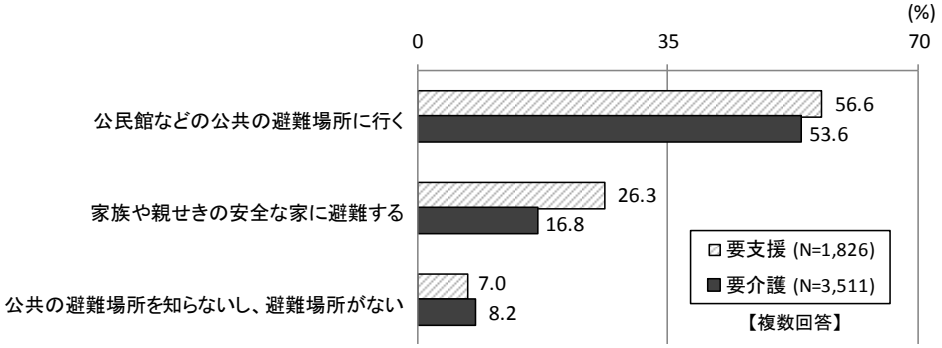
要支援：N=1,826 要介護：N=3,511 （合計）：N=5,337		問10Q2. 台風が近づいてきた場合の対応					
		自宅にいて、誰も来てもらわない	自宅にいて、誰かに来てもらう	家族や親せきの家に避難する	近所の知り合いの家に避難する	公民館などの公共の避難場所に行く	施設に入所しているので、施設に任せている
佐賀中部広域連合（全体）		1,036	1,460	364	38	411	1,648
		19.4	27.4	6.8	0.7	7.7	**30.9**
圏域	1 佐賀	28.2	24.4	3.4	1.5	4.9	**29.3**
	2 城南	22.7	22.1	6.7	0.9	8.8	**32.7**
	3 昭栄	22.3	22.8	7.1	0.5	11.0	**28.3**
	4 城東	19.9	24.7	6.8	0.3	6.8	**33.2**
	5 城西	25.7	**26.4**	5.3	0.4	8.3	**26.4**
	6 城北	21.9	21.6	6.6	0.9	7.5	**36.6**
	7 金泉	18.9	23.0	6.1	－	3.4	**42.6**
	8 鍋島	21.6	26.1	6.5	0.8	7.3	**30.6**
	9 諸富・蓮池	20.8	**32.6**	8.1	0.9	8.6	26.7
	10 大和	20.6	30.5	4.1	1.0	5.7	**31.4**
	11 富士	22.5	16.3	10.0	1.3	18.8	**23.8**
	12 三瀬	5.3	15.8	10.5	5.3	10.5	**47.4**
	13 川副	13.9	**35.4**	6.6	0.7	6.6	24.5
	14 東与賀	8.8	**38.1**	8.8	0.9	4.4	31.9
	15 久保田	16.2	**36.4**	10.1	1.0	12.1	20.2
	16 多久	17.6	27.7	7.0	0.6	6.7	**37.4**
	17 小城北	11.9	**32.1**	4.8	0.2	7.1	30.6
	18 小城南	16.5	25.7	6.8	0.4	11.6	**30.9**
	19 神埼	18.3	24.2	8.3	－	10.4	**30.8**
	20 神埼北	9.4	18.8	15.6	－	9.4	**46.9**
	21 神埼南	13.8	**37.6**	8.5	1.6	5.3	28.0
	22 吉野ヶ里	16.9	24.3	11.1	0.5	5.8	**35.4**

３　台風などの災害で避難が必要な場合の場所

【佐賀中部広域連合の現状】

避難場所は、「公民館などの公共の避難場所に行く」が要支援者56.6％も要介護者53.6％も最も高くなっているが、「公共の避難場所を知らないし、避難場所がない」は要支援者7.0％、要介護者8.2％と要介護者でやや高い。「家族や親せきの安全な家に避難する」は介護度が上がるほど減っている。

図表　台風などの災害で避難が必要な場合の場所



		問10Q3. 災害時の避難場所		
	要支援：N=1,826 要介護：N=3,511 （合計）：N=5,337	公民館などの公共の避難所に行く	家族や親せきの安全な家に避難する	公共の避難場所を知らないし、避難場所がない
性別	男性	**57.7**	18.0	8.6
	女性	**53.6**	20.8	7.5
年齢別	65～69歳	**50.9**	15.8	15.8
	70～74歳	**55.8**	18.9	7.3
	75～79歳	**57.1**	17.8	7.9
	80～84歳	**55.3**	21.7	8.9
	85歳～	**53.7**	20.2	6.7
介護度別	要支援1	**58.6**	24.8	5.6
	要支援2	**54.0**	28.3	8.6
	要介護1	**57.5**	21.5	8.7
	要介護2	**54.3**	20.7	7.4
	要介護3	**50.6**	14.5	8.8
	要介護4	**49.1**	10.6	8.7
	要介護5	**50.0**	4.8	6.2

【佐賀中部内の圏域の現状】

富士では「公民館などの公共の避難所に行く」70.0％が他の圏域より高く、「家族や親せきの安全な家に避難する」7.5％は特に低い。「公共の避難場所を知らないし、避難場所がない」が久保田では14.1％で高くなっている。

図表　台風などの災害で避難が必要な場合の場所（圏域別）

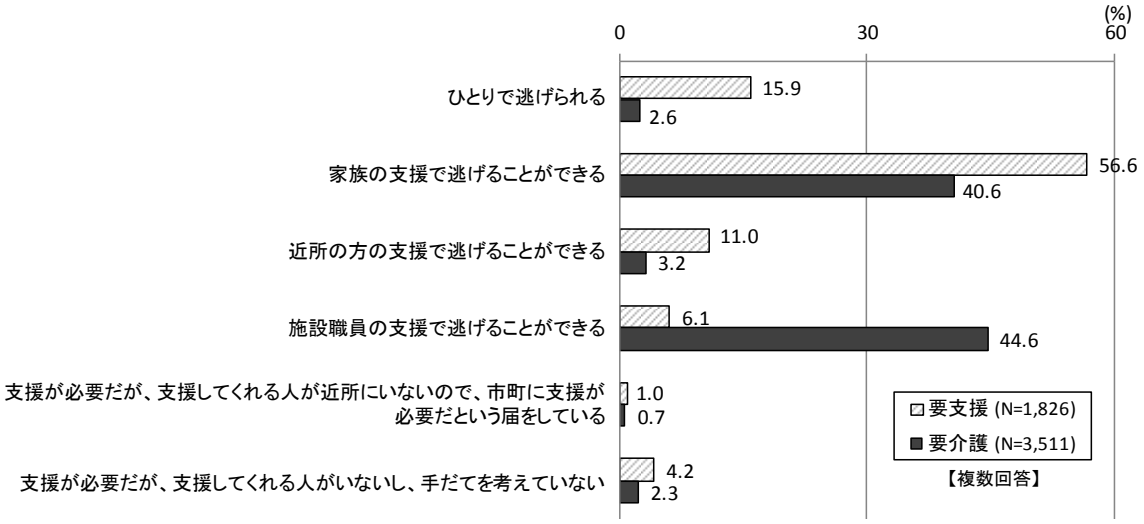
要支援：N=1,826 要介護：N=3,511 （合計）：N=5,337		問10Q3. 災害時の避難場所 公民館などの公共の避難所に行く	家族や親せきの安全な家に避難する	公共の避難場所を知らないし、避難場所がない
佐賀中部広域連合（全体）		2,915	1,071	414
		54.6	20.1	7.8
圏域	1 佐賀	**57.1**	20.3	8.6
	2 城南	**55.8**	16.1	9.4
	3 昭栄	**56.6**	21.4	8.0
	4 城東	**52.0**	19.0	9.1
	5 城西	**54.7**	21.9	9.1
	6 城北	**49.7**	17.8	6.3
	7 金泉	**48.0**	20.9	7.4
	8 鍋島	**57.6**	19.6	7.8
	9 諸富・蓮池	**62.0**	19.9	8.6
	10 大和	**51.1**	22.5	6.0
	11 富士	**70.0**	7.5	8.8
	12 三瀬	**63.2**	15.8	5.3
	13 川副	**55.6**	23.2	6.3
	14 東与賀	**56.6**	27.4	5.3
	15 久保田	**51.5**	23.2	14.1
	16 多久	**52.8**	20.4	10.6
	17 小城北	**49.6**	19.0	7.8
	18 小城南	**64.7**	18.9	5.6
	19 神埼	**51.2**	17.3	6.9
	20 神埼北	**59.4**	18.8	9.4
	21 神埼南	**57.1**	20.6	6.3
	22 吉野ヶ里	**51.9**	19.6	2.1

4　台風などの災害で避難が必要な場合の避難の仕方

【佐賀中部広域連合の現状】

災害等で避難が必要な場合に、要支援者では「家族の支援で逃げることができる」56.6%、「ひとりで逃げられる」15.9%だが、要介護者では「施設職員の支援で逃げることができる」44.6%、「家族の支援で逃げることができる」40.6%となっている。

図表　台風などの災害で避難が必要な場合の避難の仕方



		問10Q4. 災害時の避難の仕方					
	要支援:N=1,826 要介護:N=3,511 （合計）:N=5,337	ひとりで逃げられる	家族の支援で逃げることができる	近所の方の支援で逃げることができる	施設職員の支援で逃げることができる	支援が必要だが、支援してくれる人が近所にいないので、市町に支援が必要だという届を出している	支援が必要だが、支援してくれる人が近所にいないし、手だてを考えていない
性別	男性	10.3	**46.9**	6.0	25.8	0.9	4.3
	女性	6.1	**45.8**	5.8	33.4	0.8	2.5
年齢別	65～69歳	7.6	**46.2**	4.7	28.7	－	6.4
	70～74歳	11.6	**47.9**	4.9	23.2	1.2	5.2
	75～79歳	8.2	**45.0**	7.2	27.7	0.6	5.1
	80～84歳	9.2	**49.5**	7.6	24.1	1.2	3.0
	85歳～	5.3	**44.5**	4.9	36.9	0.6	2.0
介護度別	要支援1	18.7	**53.0**	12.2	5.0	1.1	4.5
	要支援2	12.3	**61.3**	9.5	7.6	1.0	3.8
	要介護1	4.5	**58.1**	5.1	23.4	0.6	3.9
	要介護2	2.4	**49.8**	3.6	37.2	0.7	1.5
	要介護3	1.9	30.8	1.9	**56.4**	1.5	1.2
	要介護4	0.2	15.6	1.3	**71.0**	－	2.2
	要介護5	0.6	10.4	0.6	**78.1**	－	1.1

【佐賀中部内の圏域の現状】

「家族の支援で逃げることができる」が22圏域のうち18圏域で１位となっているが、火災時の避難の仕方と同じように、施設等の居住者の多い三瀬、神埼北、金泉などでは「施設職員の支援で逃げることができる」の割合が高くなっている。

図表　台風などの災害で避難が必要な場合の避難の仕方（圏域別）

要支援：N=1,826 要介護：N=3,511 （合計）：N=5,337		問10Q4. 災害時の避難の仕方					
		ひとりで逃げられる	家族の支援で逃げることができる	近所の方の支援で逃げることができる	施設職員の支援で逃げることができる	支援が必要だが、支援してくれる人が近所にいないので、市町に支援が必要だという届を出している	支援が必要だが、支援してくれる人が近所にいないし、手だてを考えていない
佐賀中部広域連合（全体）		381	2,459	313	1,678	42	158
		7.1	**46.1**	5.9	31.4	0.8	3.0
圏域	1 佐賀	9.4	**38.7**	9.4	31.2	0.8	5.3
	2 城南	6.1	**42.4**	8.8	33.0	1.5	3.0
	3 昭栄	7.7	**44.0**	7.4	28.8	0.5	4.9
	4 城東	8.2	**38.9**	7.4	32.7	1.4	4.3
	5 城西	7.5	**45.7**	8.7	27.2	0.8	4.5
	6 城北	8.8	35.9	7.8	**38.4**	0.3	4.7
	7 金泉	10.8	36.5	3.4	**41.9**	－	2.7
	8 鍋島	8.6	**44.5**	7.3	31.8	0.4	2.4
	9 諸富・蓮池	8.1	**52.0**	6.8	27.6	1.8	0.9
	10 大和	7.0	**48.6**	4.8	32.1	1.0	2.5
	11 富士	20.0	**38.8**	6.3	27.5	1.3	－
	12 三瀬	10.5	26.3	5.3	**52.6**	－	5.3
	13 川副	4.6	**52.6**	5.0	24.8	0.7	2.3
	14 東与賀	6.2	**52.2**	5.3	31.0	0.9	－
	15 久保田	5.1	**65.7**	3.0	19.2	－	2.0
	16 多久	7.3	**45.8**	3.4	36.0	0.8	2.0
	17 小城北	3.6	**46.6**	5.5	31.4	－	1.2
	18 小城南	4.4	**53.8**	0.4	33.3	0.8	1.6
	19 神埼	6.2	**48.4**	6.6	30.4	0.7	3.5
	20 神埼北	－	43.8	6.3	**46.9**	－	3.1
	21 神埼南	5.8	**55.6**	2.6	28.6	0.5	3.2
	22 吉野ヶ里	8.5	**43.9**	3.2	35.4	0.5	4.8

X　資　料　編

○用語説明

※1 ○基本チェックリスト

65歳以上の男女を対象に、厚生労働省が作成した介護予防のためのチェックリスト。介護の原因となりやすい生活機能の低下の危険性はないかという視点で、運動、閉じこもり、栄養、口腔、うつなど25項目の問いに、「はい」、「いいえ」などで回答を記入していく。

※厚労省「地域支援事業実施要綱」から

※2 ○日常生活動作（ADL）と手段的日常生活動作（IADL）

ADLとは、日常生活動作（Activities of Daily Living）の略で、食事、排泄、着脱衣、入浴、移動、寝起きなど、日常の生活を送るために必要な基本動作のことで、高齢者の身体活動能力や障害の程度をはかる上で重要な指標の一つとなっている

一方IADL とは、手段的日常生活動作（Instrumental Activity of Daily Living ）の略で、ADLを基本にした日常生活上の複雑な動作のことをいう。具体的には、買い物や洗濯、電話、薬の管理、金銭管理、乗り物等で、最近は趣味活動も含めるようになっている。

※公益財団法人長寿科学振興財団のホームページから

※3 ○老研式活動能力指標

老研式活動能力指標は、ADLの測定ではとらえられない次の生活能力を評価するために開発された13 項目の多次元尺度である。これらの尺度は、「手段的自立」「知的能動性（状況対応の語を内容に即して改変）」「社会的役割」の3つの活動能力を測定するもので、各質問項目の因子所属は、項番1～5 が「手段的自立」、項番6～9 が「知的能動性」、項番10～13 が「社会的役割」である。

またこの尺度は、「手段的自立」より上位の水準の活動能力を評価できる測度がほとんどないなかで、「社会的役割」の水準を含む貴重な測度であって、在宅老人の生活機能の評価に適したものと考えられる。

老研式活動能力指標は、自記式の尺度として開発されたもので、知的機能の著しく低下した高齢者でなければ，調査票への記入が可能である。家族など日常をよく知っている者による評定も可能である。面接にて聴き取る場合には、回答者が本人であっても他の者による回答であっても、調査員が自分の判断で説明を加えたり、誘導したりすることのないよう十分に注意する必要がある。

※東京都健康長寿医療センターのホームページから

※4 ○認知機能障害程度（CPS）

認知機能障害程度（Cognitive Performance Scale）とは、理解力、判断力、計算力、見当識などの認知機能に、どの程度の障害が見られるかを判断するための指標。「その日の活動を自分で判断できるか」や、「人に自分の考えをうまく伝えられるか」など、日常生活や社会活動などに関する設問に回答してもらい、0レベルから6レベルまでの7段階で評価する。

※認知症介護研究・研修センターのホームページから

※5 ○知的能動性、社会的役割

老研式活動能力指標で設定された項目。老研式では、IADL（手段的日常生活動作。電話の応対や金銭管理など、ADLより複雑な日常生活動作を含む）に知的能動性、社会的役割の2項目を追加。より広範囲で対象者の生活機能を把握することが目的である。知的能動性の設問で状況に対応する能力等を、社会的役割で社会への関わり方等を評価する。

※東京都健康長寿医療センターのホームページから

※6 ○バーセルインデックス

高齢者や障がい者が日常生活で行っている動作について、その機能を数値で示したもの。食事、入浴、トイレ動作、階段昇降、更衣など10項目に渡る動作を評価。各項目で自立、部分介助など2から4段階までの評価基準を設置、100点満点で採点する。バーセル指数ともいい、ADL（日常生活動作）の評価指標としてよく使用される。

※財団法人パブリックヘルスリサーチセンターのホームページから

○資料説明

（注1）基本チェックリスト25項目の設問

項番	生活機能別	設　問　内　容	選　択　肢	
1	虚弱（5問）	問6　Q1．バスや電車で一人で外出していますか（自家用車でもかまいません）	**1．できるし、している**	2．できるけど、していない 3．できない
2		問6　Q2．日用品の買物をしていますか	**1．できるし、している**	2．できるけど、していない 3．できない
3		問6　Q5．預貯金の出し入れをしていますか	**1．できるし、している**	2．できるけど、していない 3．できない
4		問7　Q5．友人の家を訪ねていますか	**1．はい**	2．いいえ
5		問7　Q6．家族や友人の相談にのっていますか	**1．はい**	2．いいえ
6	運動器（5問）	問2　Q1．階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか	**1．はい**	2．いいえ
7		問2　Q2．いすに座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	**1．はい**	2．いいえ
8		問2　Q3．15分位続けて歩いていますか	**1．はい**	2．いいえ
9		問3　Q1．この1年間に転んだことがありますか	1．はい	**2．いいえ**
10		問3　Q2．転倒に対する不安は大きいですか	1．はい	**2．いいえ**
11	栄養（2問）	問4　Q1．6カ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	1．はい	**2．いいえ**
12		問4　Q2．身長（cm）、体重（kg）をご記入ください　18.5未満	1．はい	**2．いいえ**
13	口腔（3問）	問4　Q3．半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1．はい	**2．いいえ**
14		問4　Q4．お茶や汁物等でむせることがありますか	1．はい	**2．いいえ**
15		問4　Q5．口の渇きが気になりますか	1．はい	**2．いいえ**
16	閉じこもり予防（2問）	問2　Q5．週に1回以上は外出していますか	**1．はい**	2．いいえ
17		問2　Q6．昨年と比べて外出の回数が減っていますか	1．はい	**2．いいえ**
18	認知症予防（3問）	問5　Q1．周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあると言われますか	1．はい	**2．いいえ**
19		問5　Q2．自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	**1．はい**	2．いいえ
20		問5　Q3．今日が何月何日かわからないときがありますか	1．はい	**2．いいえ**
21	うつ予防（5問）	問8　Q10．（ここ2週間）毎日の生活に充実感がない	1．はい	**2．いいえ**
22		問8　Q11．（ここ2週間）これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった	1．はい	**2．いいえ**
23		問8　Q12．（ここ2週間）以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じられる	1．はい	**2．いいえ**
24		問8　Q13．（ここ2週間）自分が役に立つ人間だとは思えない	1．はい	**2．いいえ**
25		問8　Q14．（ここ2週間）わけもなく疲れたような感じがする	1．はい	**2．いいえ**

※**太字**：リスクなし　細字：リスクあり

・虚弱（介護予防） ・運動器 ・栄養 ・口腔	項番1～20　細字に10個以上回答、リスクあり（二次予防該当者） 項番6～10　細字に3個以上回答、リスクあり（二次予防該当者） 項番11～12　細字に2個回答、リスクあり（二次予防該当者） 項番13～15　細字に2個以上回答、リスクあり（二次予防該当者）	※一つでも該当すれば、二次予防対象者

・閉じこもり	項番16　細字に1個回答、リスクあり（該当者）
・転倒	項番9　細字に1個回答、リスクあり（該当者）
・認知症予防	項番18～20　細字に1個以上回答、リスクあり（該当者）
・うつ予防	項番21～25　細字に2個以上回答、リスクあり（該当者）

（注2）老研式活動能力指標（IADL）の13項目による、生活機能総合評価

項番	設　問　内　容	選　択　肢		判定内容	
1	問6　Q1．バスや電車で一人で外出していますか（自家用車でもかまいません）	**1．できるし、している**	**2．できるけど、していない** 3．できない	①手段的自立度（5問で、各1点で満点を5点）	生活機能総合評価
2	問6　Q2．日用品の買物をしていますか	**1．できるし、している**	**2．できるけど、していない** 3．できない		
3	問6　Q3．自分で食事の用意をしていますか	**1．できるし、している**	**2．できるけど、していない** 3．できない		
4	問6　Q4．請求書の支払をしていますか	**1．できるし、している**	**2．できるけど、していない** 3．できない		
5	問6　Q5．預貯金の出し入れをしていますか	**1．できるし、している**	**2．できるけど、していない** 3．できない		
6	問7　Q1．年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか	**1．はい**	2．いいえ	②知的能動性（4問で、各1点で満点を4点）	
7	問7　Q2．新聞を読んでいますか	**1．はい**	2．いいえ		
8	問7　Q3．本や雑誌を読んでいますか	**1．はい**	2．いいえ		
9	問7　Q4．健康についての記事や番組に関心がありますか	**1．はい**	2．いいえ		
10	問7　Q5．友人の家を訪ねていますか	**1．はい**	2．いいえ	③社会的役割（4問で、各1点で満点を4点）	
11	問7　Q6．家族や友人の相談にのっていますか	**1．はい**	2．いいえ		
12	問7　Q7．病人を見舞うことができますか	**1．はい**	2．いいえ		
13	問7　Q8．若い人に自分から話しかけることがありますか	**1．はい**	2．いいえ		

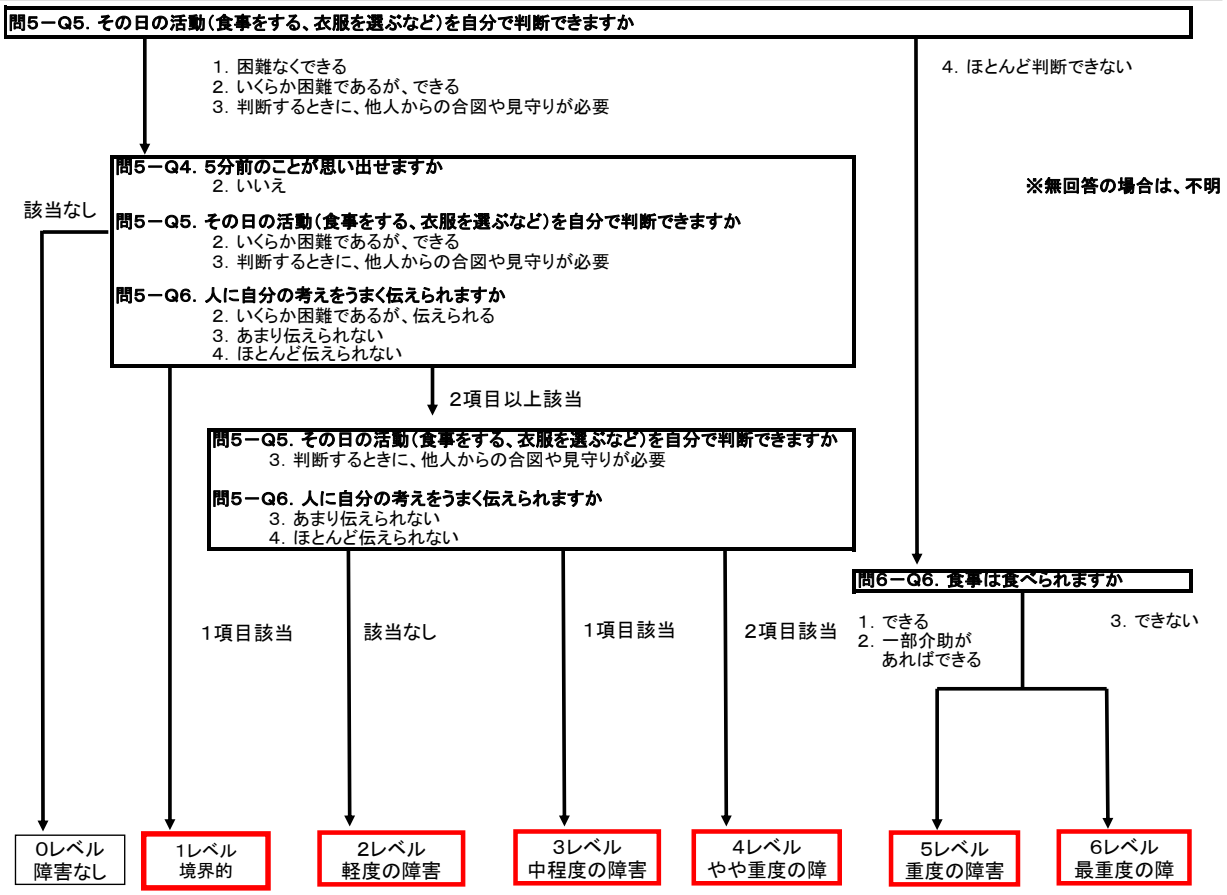
※**太字**（リスクなし）に回答の場合1点。最高得点は、13点　　※**太字**：リスクなし　細字：リスクあり

（注3）日常生活動作　（ADL）の自立者の算出方法

	問番号及び設問内容	選択肢	
		「自立」該当者	「自立」非該当者
1　食事	問6　Q6．食事は自分で食べられますか	**1．できる**	2．一部介助があればできる 3．できない
2　移動	問6　Q7．寝床に入るとき、何らかの介助を受けますか	**1．受けない**	2．一部介助があればできる 3．全面的な介助が必要
3　整容	問6　Q9．自分で洗面や歯磨きができますか	**1．できる**	2．一部介助があればできる 3．できない
4　トイレ	問6　Q10．自分でトイレができますか	**1．できる**	2．一部介助があればできる 3．できない
5　入浴	問6　Q11．自分で入浴ができますか	**1．できる**	2．一部介助があればできる 3．できない
6　歩行	問6　Q12．50m以上歩けますか	**1．できる**	2．一部介助があればできる 3．できない
7　階段昇降	問6　Q13．階段を昇り降りできますか	**1．できる**	2．介助があれぎできる 3．できない
8　着替え	問6　Q14．自分で着替えができますか	**1．できる**	2．介助があれぎできる 3．できない
9　排便	問6　Q15．大便の失敗がありますか	**1．ない**	2．ときどきある 3．よくある
10　排尿	問6　Q16．尿もれや尿失禁がありますか	**1．ない**	2．ときどきある 3．よくある
総　合		**1～10全て該当**	

（注4）認知機能の障害程度の評価方法（CPS）

設問に対する回答内容により、0レベル（障害なし）から6レベル（最重度の障害があり）まで評価する。



（注5）日常生活動作 （ADL）の評価方法

	問番号及び設問内容	配点	選択肢
1 食事	問6 Q6. 食事は自分で食べられますか	**10：**	**1．できる**
		5：	2．一部介助があればできる
		0：	3．できない
2 ベッドでの移動	問6 Q7. 寝床に入るとき、何らかの介助を受けますか	**15：**	**1．受けない**
		10：	2．一部介助があればできる
		5：	3．全面的な介助が必要 （問6 Q8. 座っていることができますか） 1．できる 2．支えが必要
		0：	3．全面的な介助が必要 （問6 Q8. 座っていることができますか） 3．できない
3 整容	問6 Q9. 自分で洗面や歯磨きができますか	**5：**	**1．できる**
		0：	2．一部介助があればできる
		0：	3．できない
4 トイレ	問6 Q10. 自分でトイレができますか	**10：**	**1．できる**
		5：	2．一部介助があればできる
		0：	3．できない
5 入浴	問6 Q11. 自分で入浴ができますか	**5：**	**1．できる**
		0：	2．一部介助があればできる
		0：	3．できない
6 歩行	問6 Q12. 50m以上歩けますか	**15：**	**1．できる**
		10：	2．一部介助があればできる
		0	3．できない
7 階段昇降	問6 Q13. 階段を昇り降りできますか	**10：**	**1．できる**
		5：	2．介助があれぎできる
		0：	3．できない
8 着替え	問6 Q14. 自分で着替えができますか	**10：**	**1．できる**
		5：	2．介助があれぎできる
		0：	3．できない
9 排便	問6 Q15. 大便の失敗がありますか	**10：**	**1．ない**
		5：	2．ときどきある
		0：	3．よくある
10 排尿	問6 Q16. 尿もれや尿失禁がありますか	**10：**	**1．ない**
		5：	2．ときどきある
		0：	3．よくある

※総合は、1（食事）～10（排尿）の得点の合計　　**※太字：自立**

※バーセル指数

完全自立	（100点）
一部介助	（65～90点）
起居移動中心介助	（45～60点）
介助	（40点以下）